

---

---

# 仙 台 市

## 地 域 経 済 動 向 調 査 報 告

( 47 )

---

---

平成 22 年 7 月 ~ 9 月 期 ( 今 期 ) 実 績  
平成 22 年 10 月 ~ 12 月 期 ( 来 期 ) 見 通 し

平成 2 2 年 1 1 月

仙 台 市 経 済 局

# 目次

1 . 調査の概要.....	1
2 . 調査結果の総括.....	2
< 仙台市企業経営動向調査結果 ( D I ) の総括表 > .....	2
< 業況判断 ( 事業所の業況 ) D I の動向 >      仙台市における業種別業況判断の動向.....	3
< 業況判断 ( 事業所の業況 ) D I の動向 >      仙台市・東北・全国の業況判断 D I の比較.....	4
3 . 企業経営動向調査結果 ( D I ) の概要.....	5
設問 1 - 1 売上高.....	5
設問 1 - 2 販売数量.....	6
設問 1 - 3 経常利益.....	7
設問 2 - 1 製 ( 商 ) 品単価.....	8
設問 2 - 2 原材料 ( 仕入 ) 価格.....	9
設問 3 - 1 製 ( 商 ) 品在庫.....	10
設問 3 - 2 労働力.....	11
設問 3 - 3 生産・営業用設備.....	12
設問 3 - 4 資金繰り.....	13
設問 4 - 1 正規従業員数.....	14
設問 4 - 2 非正規従業員数.....	15
設問 4 - 3 生産・営業用設備 ( 予定 ) .....	16
設問 5 - 1 事業所の業況 ( 業況のよし悪し ) .....	17
設問 6 - 1 事業所の業況 ( 業況の変化 ) .....	18
設問 7 - 1 経営上の課題.....	19
4 . 業界ヒアリング調査結果.....	20
5 . 参考 : 市内中小企業向け相談窓口での状況について 【(財)仙台市産業振興事業団】 ...	24
資料編.....	25
( 1 ) 企業経営動向調査結果 ( D I ) の詳細	
規模別 D I .....	27
業種別 D I .....	32
経営の課題.....	46
( 2 ) 東北、全国の調査結果	
東北.....	47
全国.....	49
( 3 ) 主要経済指標	
主要経済指標グラフ.....	50
主要経済指標一覧表.....	54
( 4 ) 調査票.....	60

## 企業経営動向調査結果（DI）の用語について

### DI について

DI とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略であり、「良い/悪い」「増加/減少」などの定性的な判断を指標として集計加工した指数。分析にあたっては、DI 値のみではなく、回答の構成比、前回調査からの DI 値の変化に留意する必要がある。

### 本調査における DI の算出方法

**売上高、販売数量、経常利益**「増加」と答えた事業所の割合 - 「減少」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど状況は良いということになる。

**製（商）品単価、原材料（仕入）価格**「上昇」と答えた事業所の割合 - 「下降」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど、価格の上昇感が強いということになる。

**製（商）品在庫、労働力、生産・営業用設備**「過剰・やや過剰」と答えた事業所の割合 - 「不足・やや不足」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど、過剰感が強いということになる。

**資金繰り**「楽である・やや楽である」と答えた事業所の割合 - 「苦しい・やや苦しい」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど資金繰りが容易ということになる。

**正規従業員数、非正規従業員数**「増員」と答えた事業所の割合 - 「減員」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど増員予定の事業所が減員予定の事業所に比べ、多いということになる。

**生産・営業用設備（予定）**「増強」と答えた事業所の割合 - 「縮小」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど増強予定の事業所が縮小予定の事業所に比べ、多いということになる。

**事業所の業況、業況の変化**「良い、好転」と答えた事業所の割合 - 「悪い、悪化」と答えた事業所の割合

DI 値が大きいほど業況判断は良いということになる。

- DI 値の算出においては、事業所規模の大小に基づくウェイト付けは行っており、一社一票の単純平均の形をとっている。

今期 = 平成 22 年 7 月 ~ 9 月期

来期 = 平成 22 年 10 月 ~ 12 月期

前期比 = 前 3 ヶ月間との比較

前年同期比 = 1 年前の同期間との比較

### 事業所の規模

中小企業基本法の基準を参考に、業種毎に、従業者数をもとに、事業所の規模を下表のように区分している。

業種	製造業、建設業、運輸業、 不動産業	卸売業、 サービス業（個人向け）、 サービス業（法人向け・ほか）	小売業、 飲食店・宿泊業
規模			
大規模事業所	300 人以上	100 人以上	50 人以上
中規模事業所	20 人以上 300 人未満	5 人以上 100 人未満	5 人以上 50 人未満
小規模事業所	20 人未満	5 人未満	5 人未満

# 1. 調査の概要

## (1) 調査目的

仙台市の経済動向を把握し、適切かつ効果的な施策を推進するための基礎的な資料とするため、仙台市が調査を実施する。

また、調査結果については、各関係機関に対し、本市経済の動向を把握する基礎資料として提供する。

## (2) 調査時期

本調査は、企業経営動向調査、業界ヒアリング調査、主要経済指標の動向調査により構成しており、四半期毎に実施している。今回の調査は平成 22 年 9 月から 10 月にかけて実施した。

## (3) 調査方法

### 企業経営動向調査 (D I)

事業所・企業統計調査対象事業所名簿から、業種や規模別に無作為に抽出した仙台市内の事業所 1,000 社に対して、郵送によりアンケート調査を実施した。

(調査期間：平成 22 年 9 月 15 日～10 月 4 日)

業種	従業員規模			
	全規模計	大規模	中規模	小規模
全業種計 (有効回収率：%)	698 69.8	135 67.5	285 71.3	278 69.5
製造業	133	3	55	75
非製造業	565	132	230	203
建設業	77	1	43	33
運輸業	75	1	37	37
卸売業	75	17	37	21
小売業	61	28	17	16
飲食店・宿泊業	58	17	27	14
不動産業	75	0	23	52
サービス業(個人向け)	68	32	20	16
サービス業(法人向け・ほか)	76	36	26	14

### 業界ヒアリング調査

仙台市内の主な業種毎の事業所 10 社に対し、景気動向の現状や、各事業所における課題等について仙台市職員が聞き取りを行った。調査は、平成 22 年 10 月 4 日～14 日にかけて実施した。

### 主要経済指標の動向調査

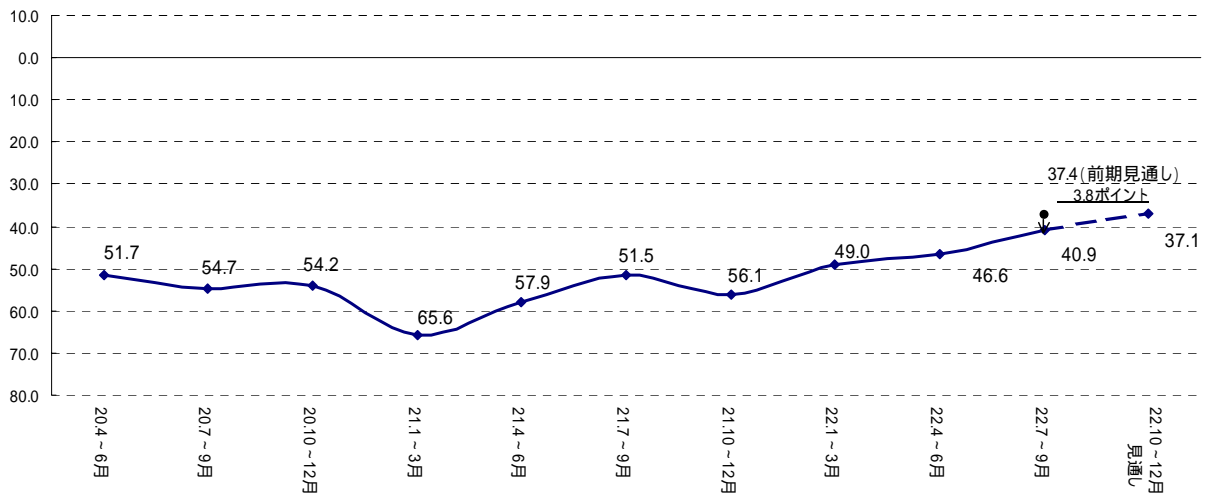
仙台市の産業関連資料、国、県、金融機関等の経済関係資料を集約し、本市域の経済活動の推移を見るための資料として、グラフと一覧表にまとめた。

## 2. 調査結果の総括

今期の市内事業所の業況判断は、前期に比べ、上昇した。業種別では、サービス業（個人向け）サービス業（法人向け・ほか）では下降、製造業で横ばい、これら以外の業種では上昇した。

来期は、上昇する見通しであり、業種別では、建設業、サービス業（個人向け）で下降、運輸業、不動産業で横ばい、それ以外の業種で上昇するものと見込まれる。

業況判断(事業所の景気)DIの推移



### < 仙台市企業経営動向調査結果 (DI) の総括表 >

調査項目 (DI)	今期実績 (前回調査実績との比較)		来期見通し (今期実績との比較)	
売上高	上昇した	↗	上昇する見通し	↗
販売数量	上昇した	↗	上昇する見通し	↗
経常利益	上昇した	↗	ほぼ横ばいの見通し	⇔
製(商)品単価	上昇した	↗	上昇する見通し	↗
原材料(仕入)価格*	下降した	↘	ほぼ横ばいの見通し	⇔
製(商)品在庫*	上昇した	↗		
労働力*	下降した	↘		
生産・営業用設備*	下降した	↘		
資金繰り	ほぼ横ばい	⇔		
正規従業員数	上昇した	↗		
非正規従業員数	上昇した	↗		
生産・営業用設備(予定)	ほぼ横ばい	⇔		
事業所の業況 (業況の良し悪し)	上昇した	↗	上昇する見通し	↗
事業所の業況 (業況の変化)	上昇した	↗		





上昇     
 横ばい     
 下降

DI = 「上昇」(「増加」「過剰」「良い」と答えた事業所の割合(%))  
 - 「下降」(「減少」「不足」「悪い」と答えた事業所の割合(%))  
 表中の今期はH22年7～9月、来期はH22年10～12月をあらわす。  
 表中の\*印は、DIがマイナス値である方が、好況、好転を示す。  
 調査結果の詳細についてはP5～P19、P25～P46参照

## ＜業況判断（事業所の業況）D Iの動向＞

～ 仙台市企業経営動向調査結果（D I）より ～

### 仙台市における業種別業況判断（D I）の動向

業種	状 況	今期実績	来期見通し
製造業	今期のDI値は 47.8と、前期に比べてほぼ横ばいであった。来期見通しでは 41.7と、今期に比べて6.1ポイント上昇する見通しである。		
建設業	今期のDI値は 47.4と、前期に比べて19.3ポイント上昇した。来期見通しでは 48.7と、今期に比べて1.3ポイント下降する見通しである。		
運輸業	今期のDI値は 41.4と、前期に比べて10.0ポイント上昇した。来期見通しでは 40.9と、今期に比べてほぼ横ばいの見通しである。		
卸売業	今期のDI値は 31.1と、前期に比べて21.1ポイント上昇した。来期見通しでは 23.6と、今期に比べて7.5ポイント上昇する見通しである。		
小売業	今期のDI値は 39.4と、前期に比べて11.3ポイント上昇した。来期見通しでは 28.8と、今期に比べて10.6ポイント上昇する見通しである。		
飲食店・宿泊業	今期のDI値は 50.0と、前期に比べて2.4ポイント上昇した。来期見通しでは 38.6と、今期に比べて11.4ポイント上昇する見通しである。		
不動産業	今期のDI値は 35.6と、前期に比べて4.9ポイント上昇した。来期見通しでは 34.7と、今期に比べてほぼ横ばいの見通しである。		
サービス業 (個人向け)	今期のDI値は 30.3と、前期に比べて6.8ポイント下降した。来期見通しでは 34.4と、今期に比べて4.1ポイント下降する見通しである。		
サービス業 (法人向け・ほか)	今期のDI値は 40.8と、前期に比べて9.4ポイント下降した。来期見通しでは 36.0と、今期に比べて4.8ポイント上昇する見通しである。		



上 昇

 横ばい



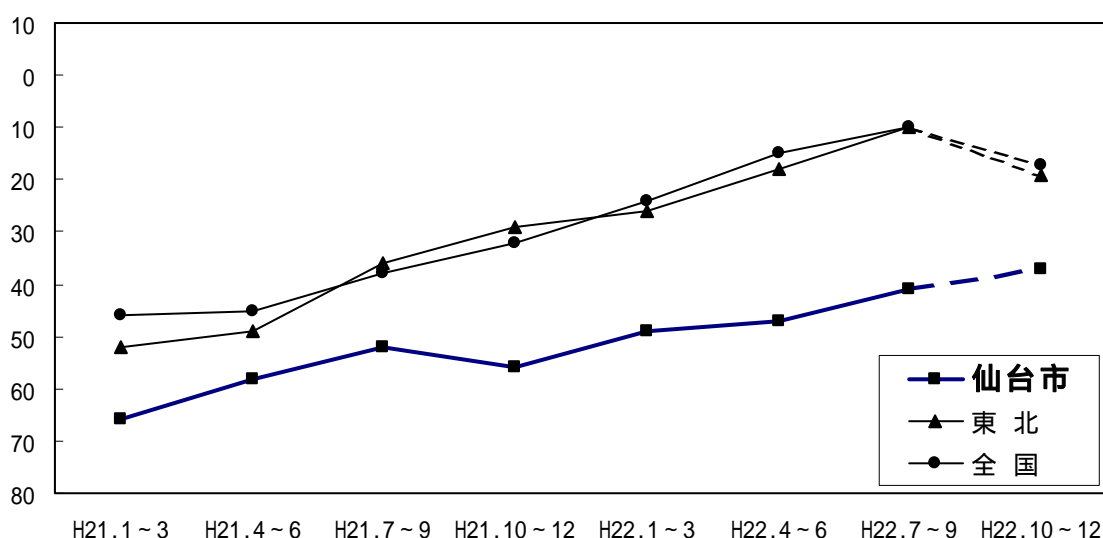
下 降

D I = 「良い」と答えた事業所の割合(%) - 「悪い」と答えた事業所の割合(%)  
 表中の前期はH22年4～6月、今期はH22年7～9月、来期はH22年10～12月をあらわす。  
 本調査における業況判断（事業所の業況）D Iとは、事業所の業況（業況の良し悪し）D Iをいう。  
**調査結果の詳細については資料編のP44参照**

## 仙台市、東北、全国の業況判断D Iの比較

今期（平成22年7～9月）における仙台市の業況判断D Iは、前期（平成22年4～6月）に比べ、上昇した。来期（平成22年10～12月）の見通しは、仙台市で上昇し、東北、全国で下降すると捉えられている。

仙台市、東北、全国の業況判断D I比較（全業種）



H22.10～12については見通し

全国地域別の業況判断D I

		21/3月	21/6月	21/9月	21/12月	22/3月	22/6月	22/9月		22/12月
								22/6月比 ポイント差	予測	
全業種	仙台市	66	58	52	56	49	47	41	6	37
	東北	52	49	36	29	26	18	10	8	19
	全国	46	45	38	32	24	15	10	5	17

D I = 「良い」と答えた事業所の割合(%) - 「悪い」と答えた事業所の割合(%)

値が小さいほど、業況判断は悪いということになる。 はマイナスを表す。

仙台市については本調査における**事業所の業況（業況の良し悪し）D I値**（ P17参照）

東北については、日銀仙台支店発表の日銀全国企業短観調査(東北地区6県)におけるD I値。

全国については、日銀全国企業短観調査（平成22年9月）におけるD I値。

日銀全国企業短観調査の調査対象は、資本金2千万円以上の民間企業(金融機関を除く)であり、本調査の対象とは異なる。

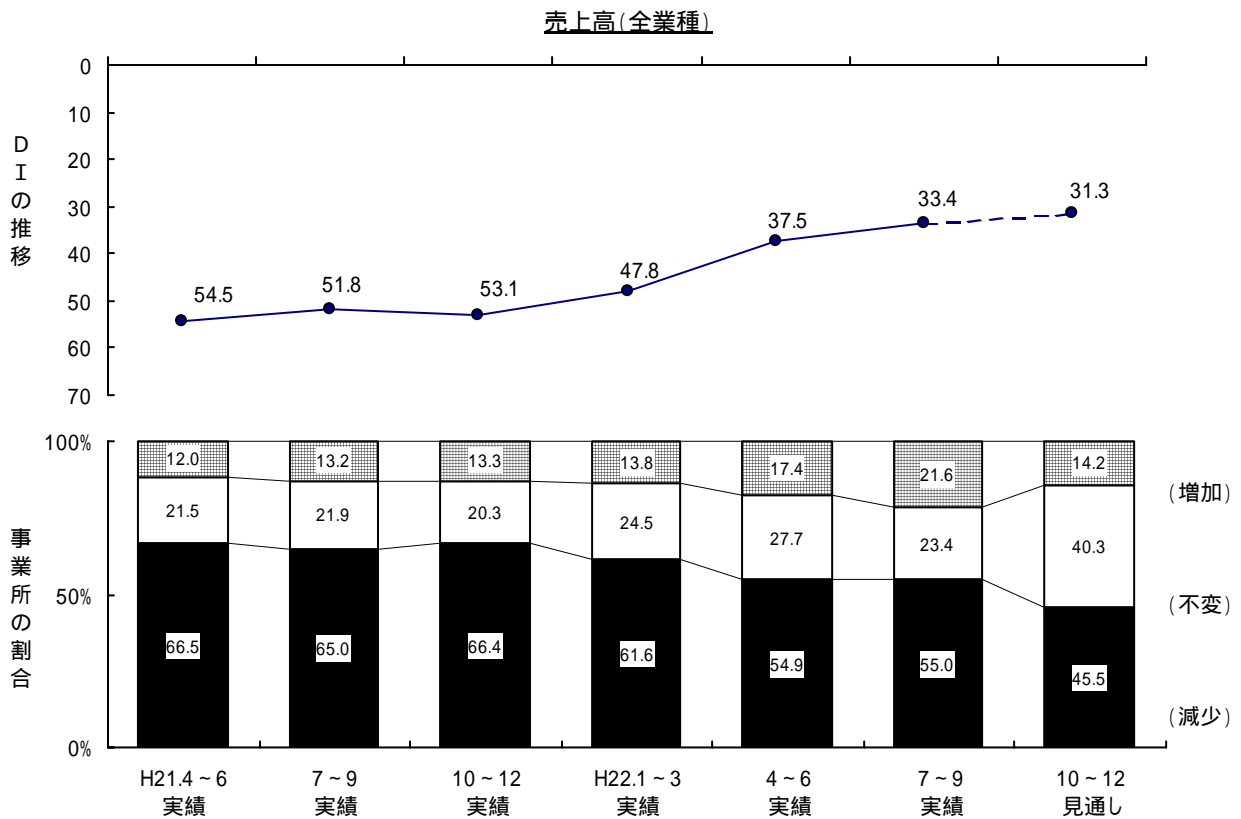
### 3. 企業経営動向調査結果（D I）の概要

用語の説明については目次裏参照

#### 設問 1 - 1 売上高（前年同期比）

今期の売上高のD Iは 33.4（前期比+4.1）と、やや上昇した。来期の売上高のD Iは、やや上昇する見通しである。今期の売上高のD Iを業種別で見ると、製造業、不動産業、サービス業（個人向け）、サービス業（法人向け・ほか）では下降し、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP27、P32 参照



今期の売上高のD I（「増加」と答えた事業所の割合 - 「減少」と答えた事業所の割合）は、今期実績で 33.4 と、平成 22 年 6 月調査（以下、前回調査）時の 4~6 月期（以下、前期実績）D I の 37.5 と比べやや上昇した。前回調査時の平成 22 年 7~9 月期見通し（以下、今期見通し）D I が 30.0 であったことから、売上高のD I はほぼ予想どおり上昇した。

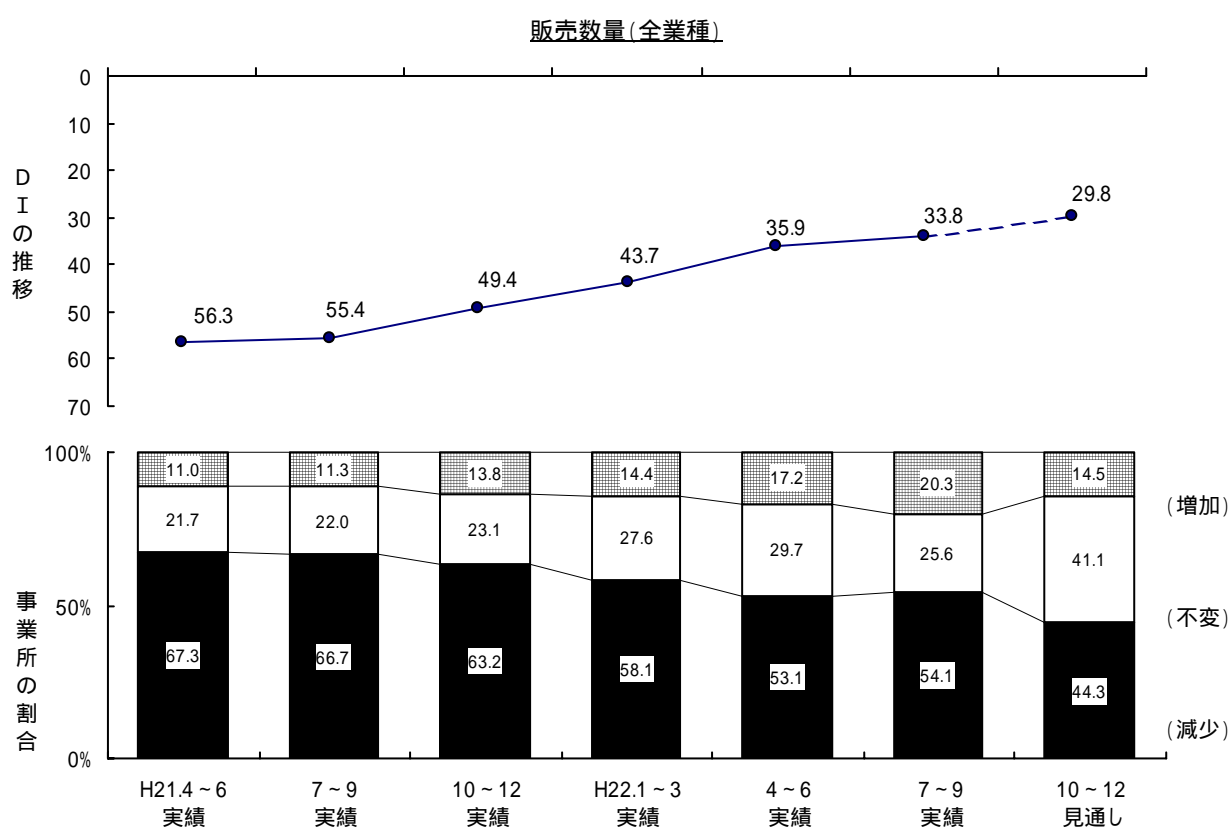
来期の見通しは、D I が 31.3 とやや上昇する見通しである。



設問 1 - 2 販売数量（前年同期比）

今期の販売数量のD Iは 33.8（前期比+2.1）と、やや上昇した。来期の販売数量のD Iは、やや上昇する見通しである。今期の販売数量のD Iを業種別で見ると、建設業、卸売業、小売業、不動産業では上昇し、運輸業でほぼ横ばい、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP27、P33 参照

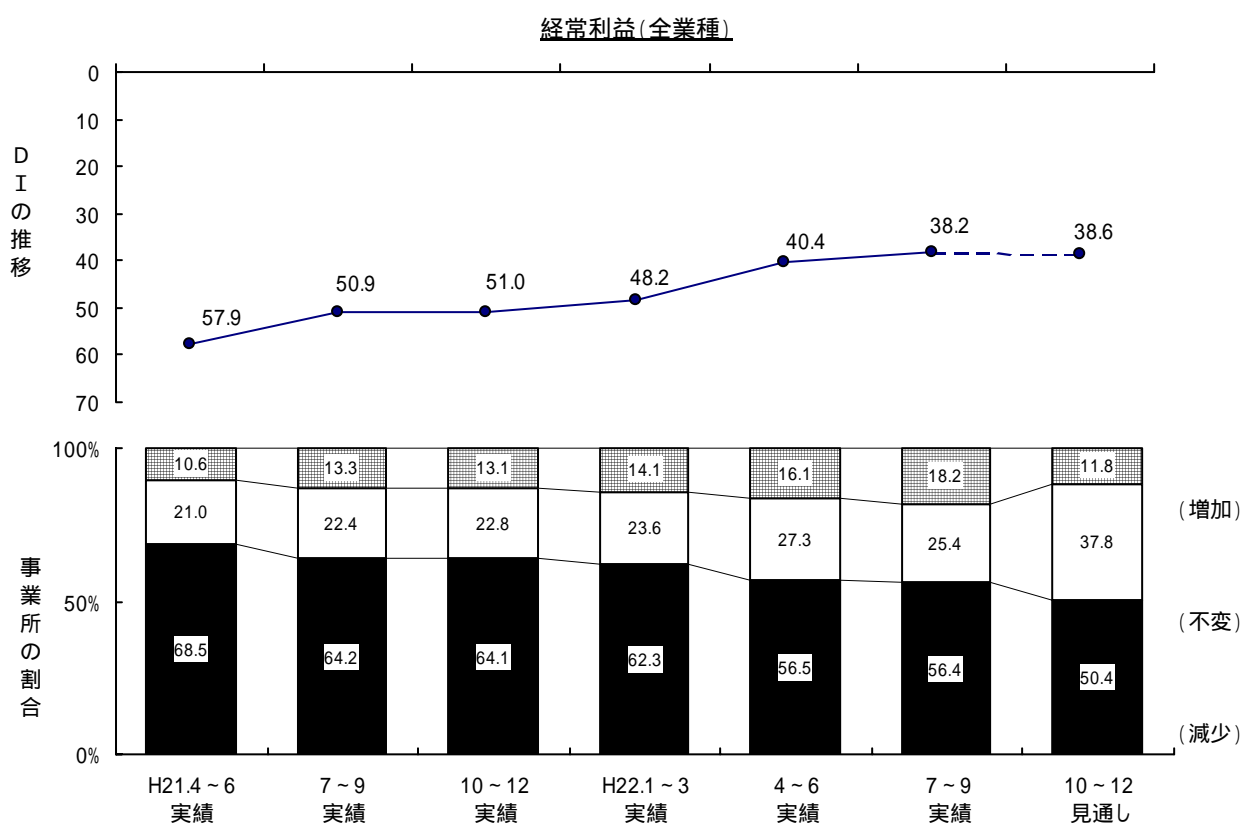


今期の販売数量のD I（「増加」と答えた事業所の割合 - 「減少」と答えた事業所の割合）は、今期実績で 33.8 と、前期実績D Iの 35.9 と比べ、やや上昇した。今期見通しD Iが 27.2 であったことから、販売数量のD Iは予想ほど上昇しなかった。来期の見通しは、D Iが 29.8 とやや上昇する見通しである。

設問 1 - 3 経常利益（前年同期比）

今期の経常利益のD Iは 38.2（前期比+2.2）と、やや上昇した。来期の経常利益のD Iは、ほぼ横ばいの見通しである。今期の経常利益のD Iを業種別で見ると、建設業、卸売業、小売業、サービス業（個人向け）では上昇し、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP27、P34 参照



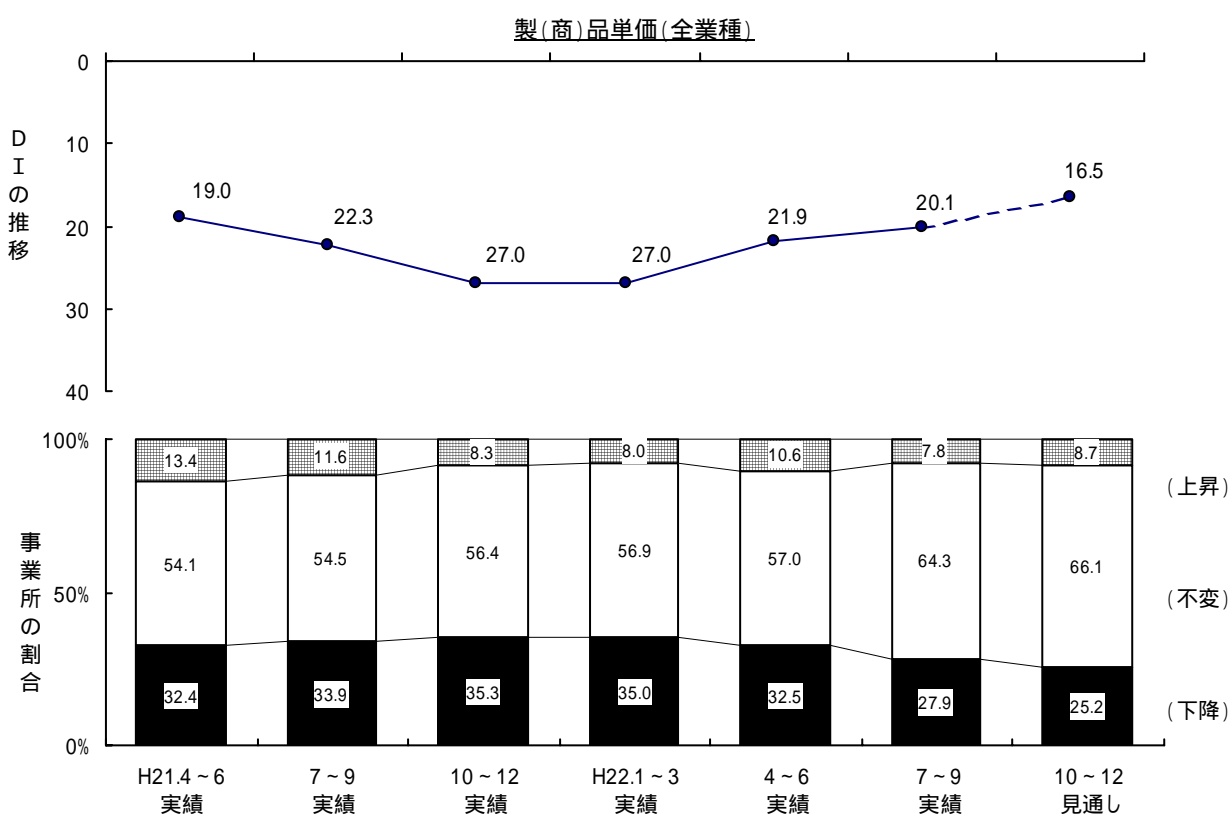
今期の経常利益のD I（「増加」と答えた事業所の割合 - 「減少」と答えた事業所の割合）は、今期実績で 38.2 と、前期実績D Iの 40.4 と比べ、やや上昇した。今期見通しD Iが 35.4であったことから、経常利益のD Iはほぼ予想通り上昇した。

来期の見通しは、D Iが 38.6 とほぼ横ばいの見通しである。

設問 2 - 1 製(商)品単価(前期比)

今期の製(商)品単価のD Iは 20.1(前期比+1.8)と、やや上昇した。来期の製(商)品単価のD Iは、やや上昇する見通しである。今期の製(商)品単価のD Iを業種別で見ると、製造業、運輸業、不動産業では下降し、卸売業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP28、P35 参照



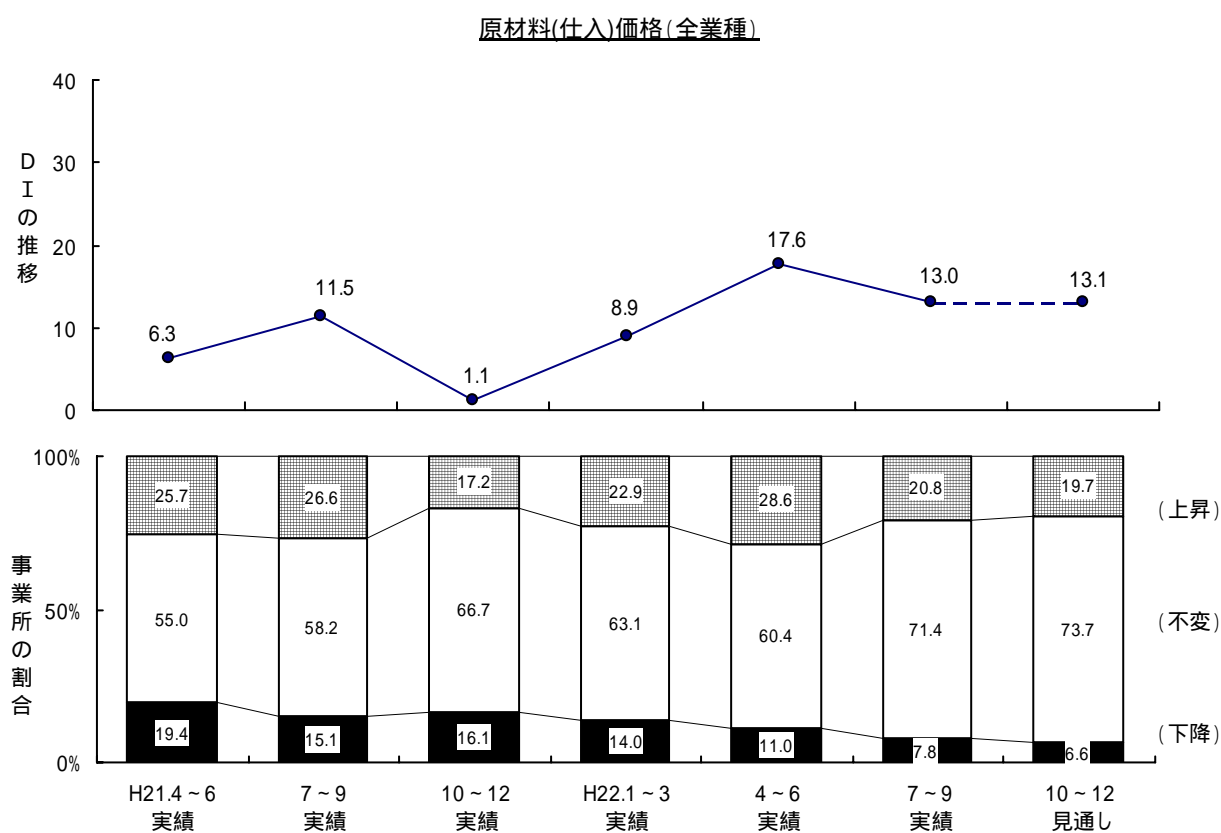
今期の製(商)品単価のD I(「上昇」と答えた事業所の割合 - 「下降」と答えた事業所の割合)は、今期実績で 20.1 と、前期実績D Iの 21.9 と比べ、やや上昇した。今期見通しD Iが 14.8 であったことから、製(商)品単価のD Iは予想ほど上昇しなかった。

来期の見通しは、D Iが 16.5 とやや上昇する見通しである。

設問 2 - 2 原材料(仕入)価格(前期比)

今期の原材料(仕入)価格のD Iは13.0(前期比 4.6)と、やや下降した。来期の原材料(仕入)価格のD Iは、ほぼ横ばいの見通しである。今期の原材料(仕入)価格のD Iを業種別で見ると、建設業、飲食店・宿泊業、サービス業(法人向け・ほか)では上昇し、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP28、P36 参照



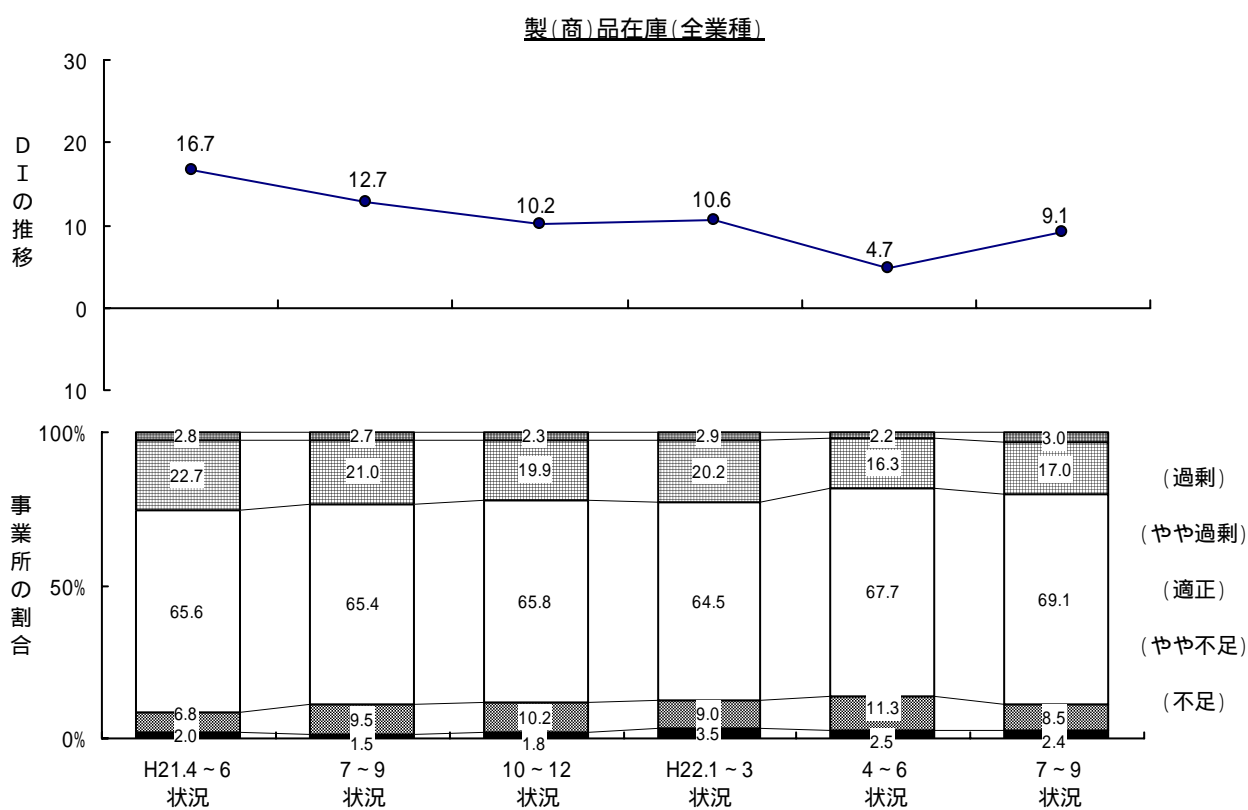
今期の原材料(仕入)価格のD I(「上昇」と答えた事業所の割合 - 「下降」と答えた事業所の割合)は、今期実績で13.0と、前期実績D Iの17.6と比べ下降した。今期見通しD Iが18.5であったことから、原材料(仕入)価格のD Iは予想に反して下降した。

来期の見通しは、D Iが13.1とほぼ横ばいの見通しである。

設問 3 - 1 製(商)品在庫 (今期の状況)

製(商)品在庫のD Iは9.1(前期比+4.4)と、やや上昇した。業種別で見ると、運輸業、小売業、飲食店・宿泊業、サービス業(個人向け)では下降し、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP28、P37 参照

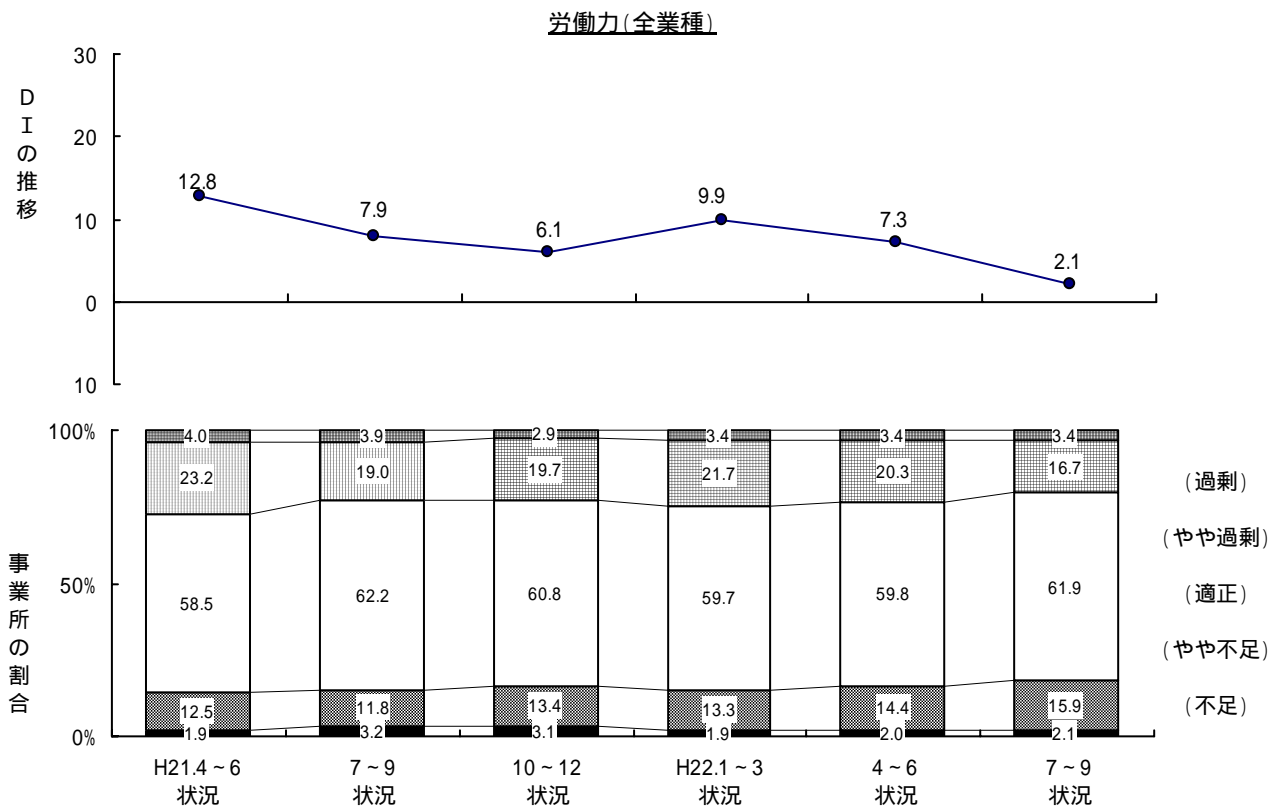


製(商)品在庫のD I(『過剰』(過剰+やや過剰)と答えた事業所の割合 - 『不足』(不足+やや不足)と答えた事業所の割合)は9.1と、前期実績D Iの4.7と比べやや上昇した。

設問 3 - 2 労働力（今期の状況）

労働力のD Iは2.1（前期比 5.2）と、下降した。業種別で見ると、製造業、飲食店・宿泊業では上昇し、卸売業でほぼ横ばい、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP29、P38 参照

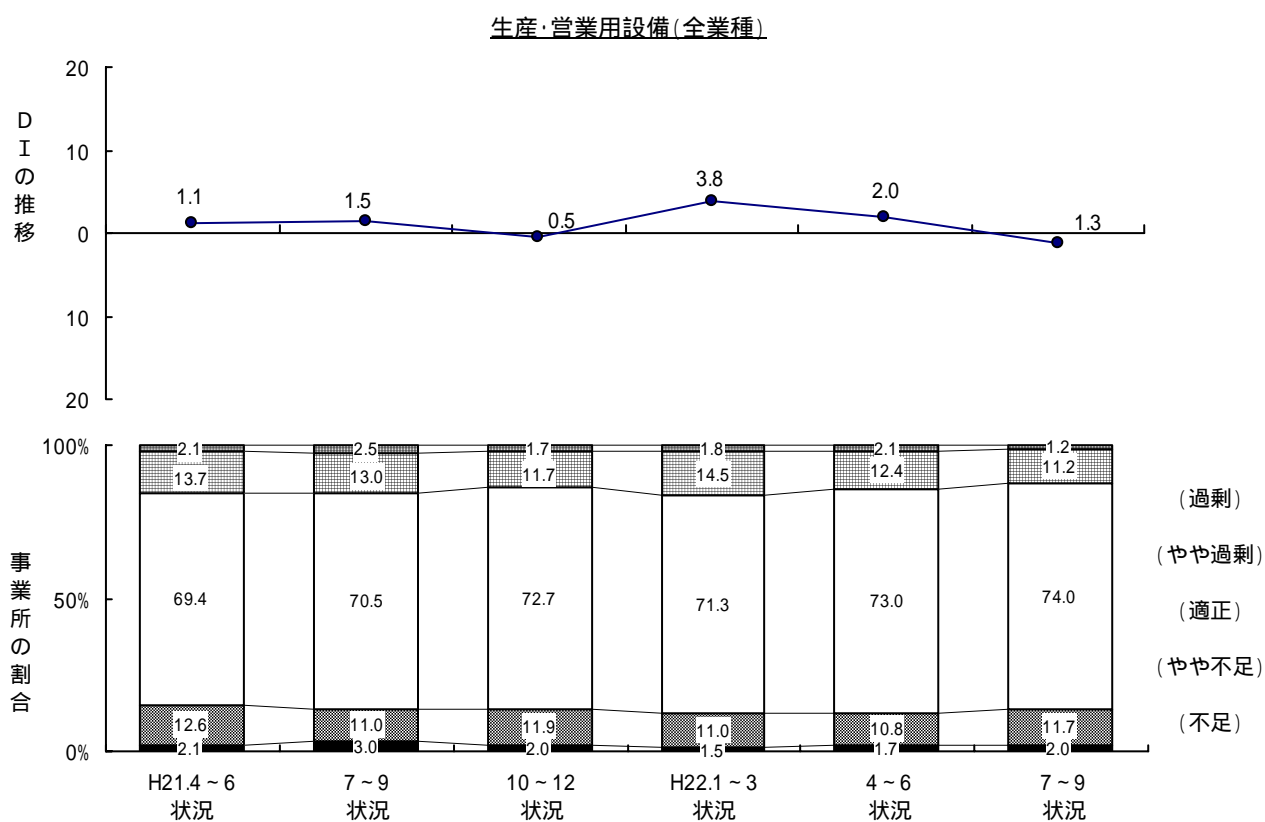


労働力のD I（『過剰』（過剰+やや過剰）と答えた事業所の割合 - 『不足』（不足+やや不足）と答えた事業所の割合）は2.1と、前期実績D Iの7.3と比べ下降した。

設問 3 - 3 生産・営業用設備（今期の状況）

生産・営業用設備のD Iは 1.3（前期比 3.3）と、やや下降した。業種別で見ると、製造業、小売業、飲食店・宿泊業、サービス業（個人向け）では上昇し、これら以外の業種では下降した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP29、P39 参照

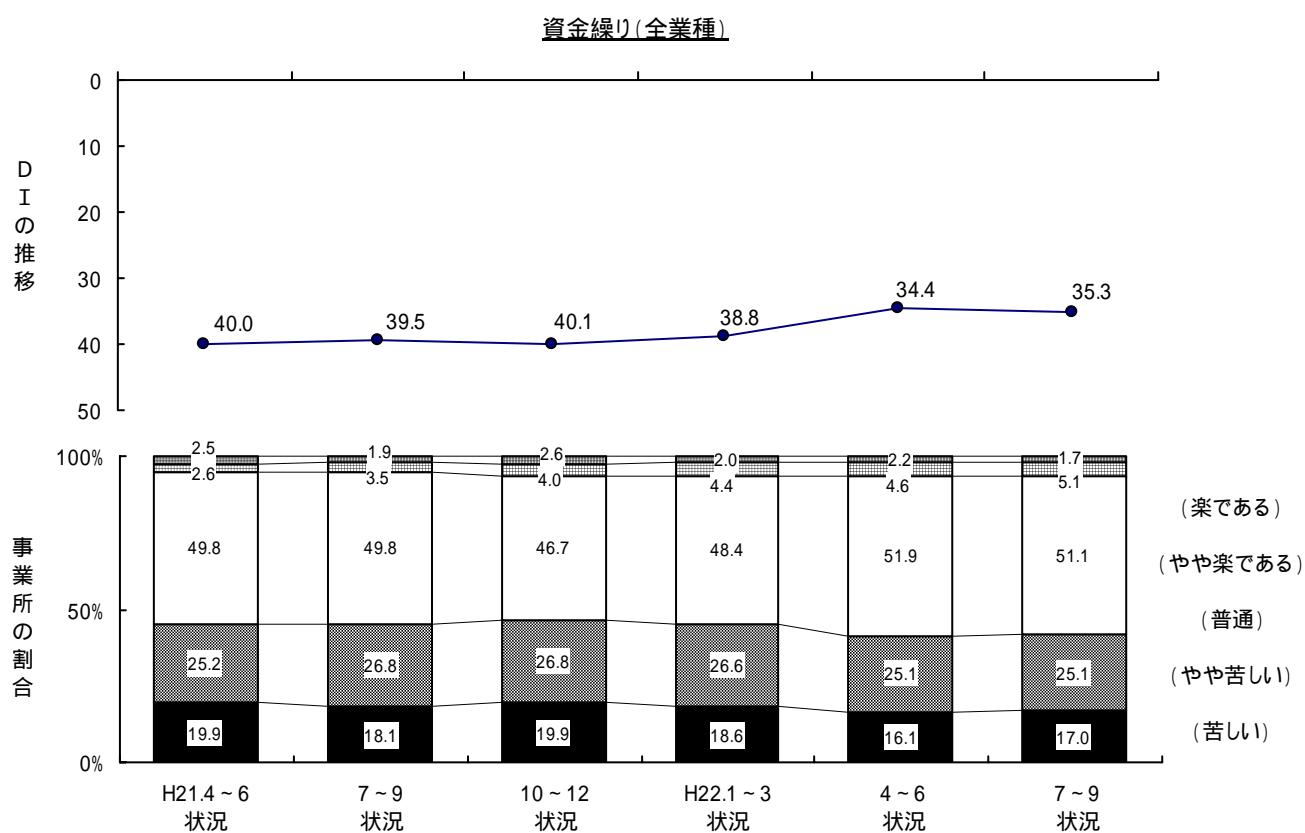


生産・営業用設備のD I（『過剰』（過剰+やや過剰）と答えた事業所の割合 - 『不足』（不足+やや不足）と答えた事業所の割合）は 1.3 と、前期実績D Iの 2.0 と比べやや下降した。

設問 3 - 4 資金繰り（今期の状況）

資金繰りのD Iは 35.3（前期比 0.9）と、ほぼ横ばいであった。業種別で見ると、製造業、運輸業、不動産業、サービス業（法人向け・ほか）では下降し、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP29、P40 参照



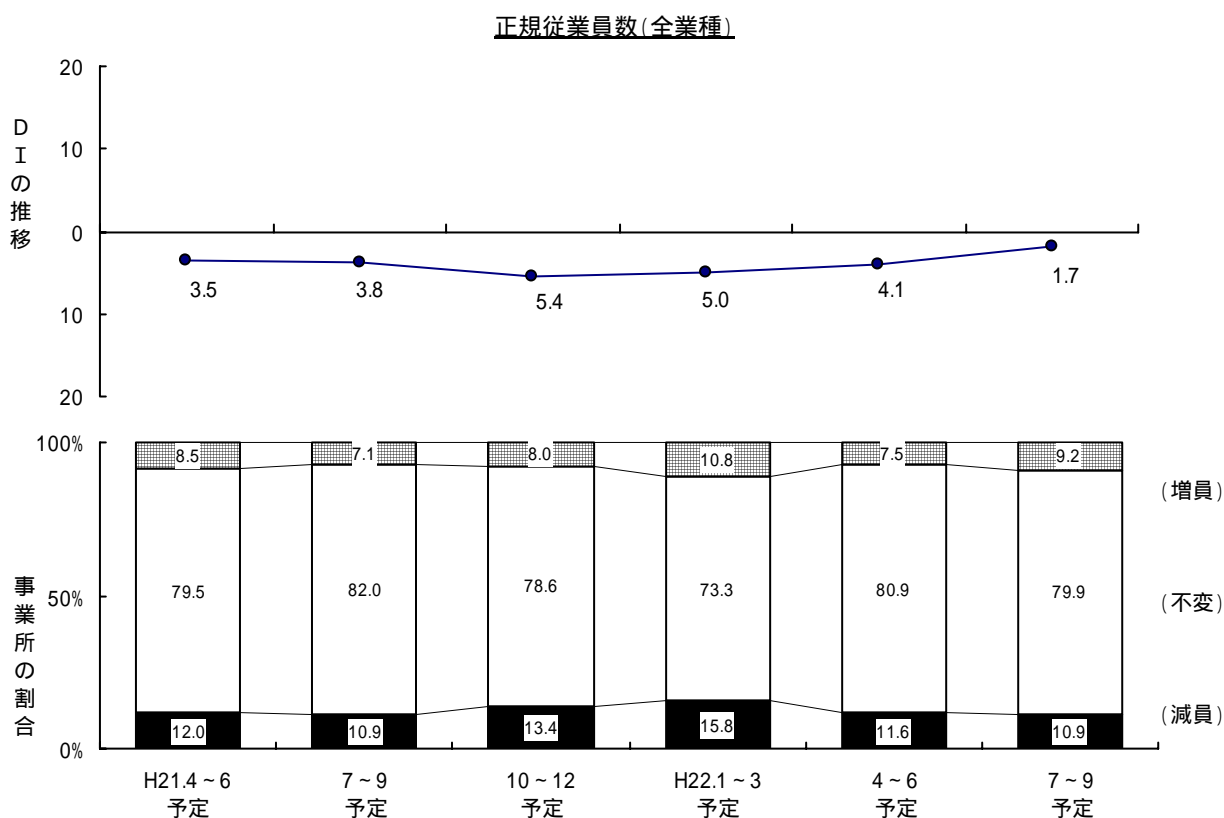
資金繰りのD I（『楽である』（楽である+やや楽である）と答えた事業所の割合 - 『苦しい』（苦しい+やや苦しい）と答えた事業所の割合）は 35.3 と、前期実績D Iの 34.4 と比べほぼ横ばいであった。



設問 4 - 1 正規従業員数（今後の予定）

正規従業員数のD Iは 1.7（前期比+2.4）と、やや上昇した。業種別で見ると、運輸業、サービス業（個人向け）、サービス業（法人向け・ほか）では下降し、卸売業、飲食店・宿泊業では横ばい、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP30、P41 参照

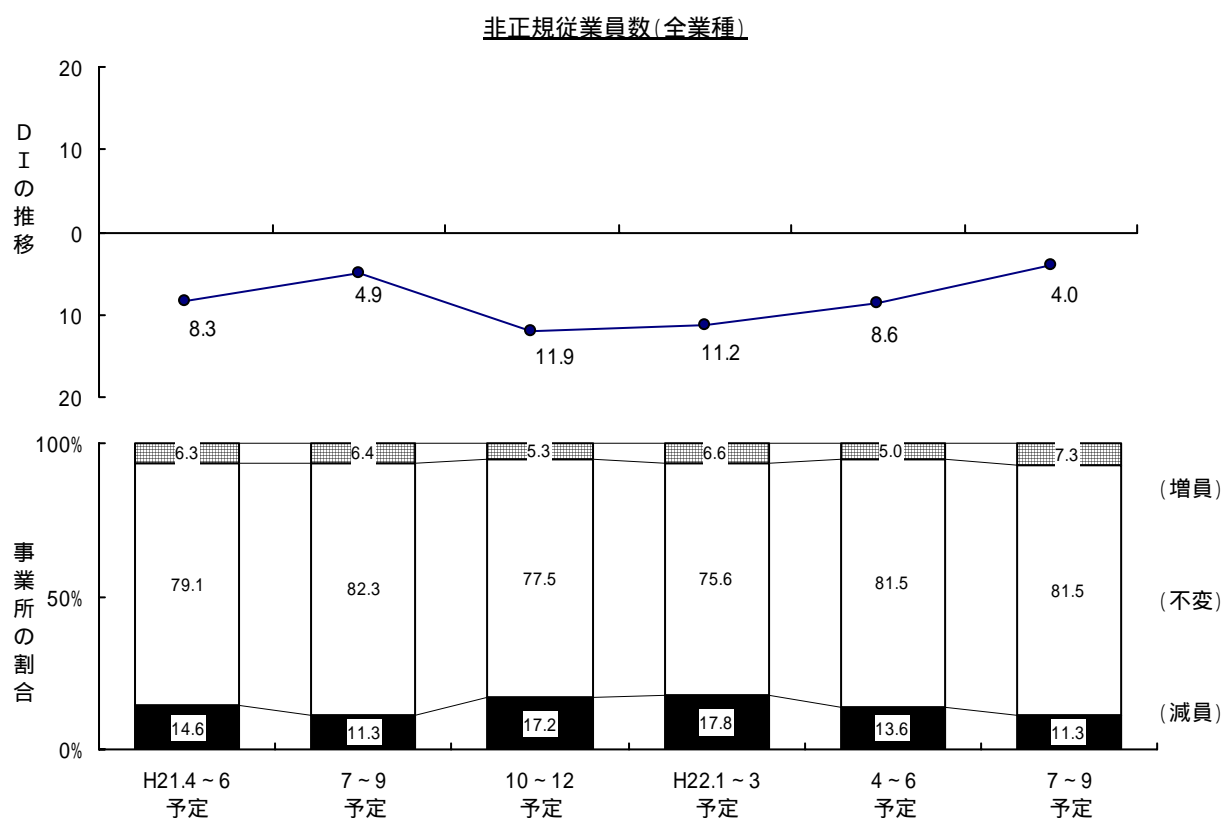


正規従業員数のD I（「増員する」と答えた事業所の割合 - 「減員する」と答えた事業所の割合）は 1.7 と、前期実績D Iの 4.1 と比べやや上昇した。

設問 4 - 2 非正規従業員数（今後の予定）

非正規従業員数のD Iは 4.0（前期比+4.6）と、やや上昇した。業種別で見ると、運輸業では下降し、製造業、不動産業、サービス業（個人向け）ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP30、P42 参照

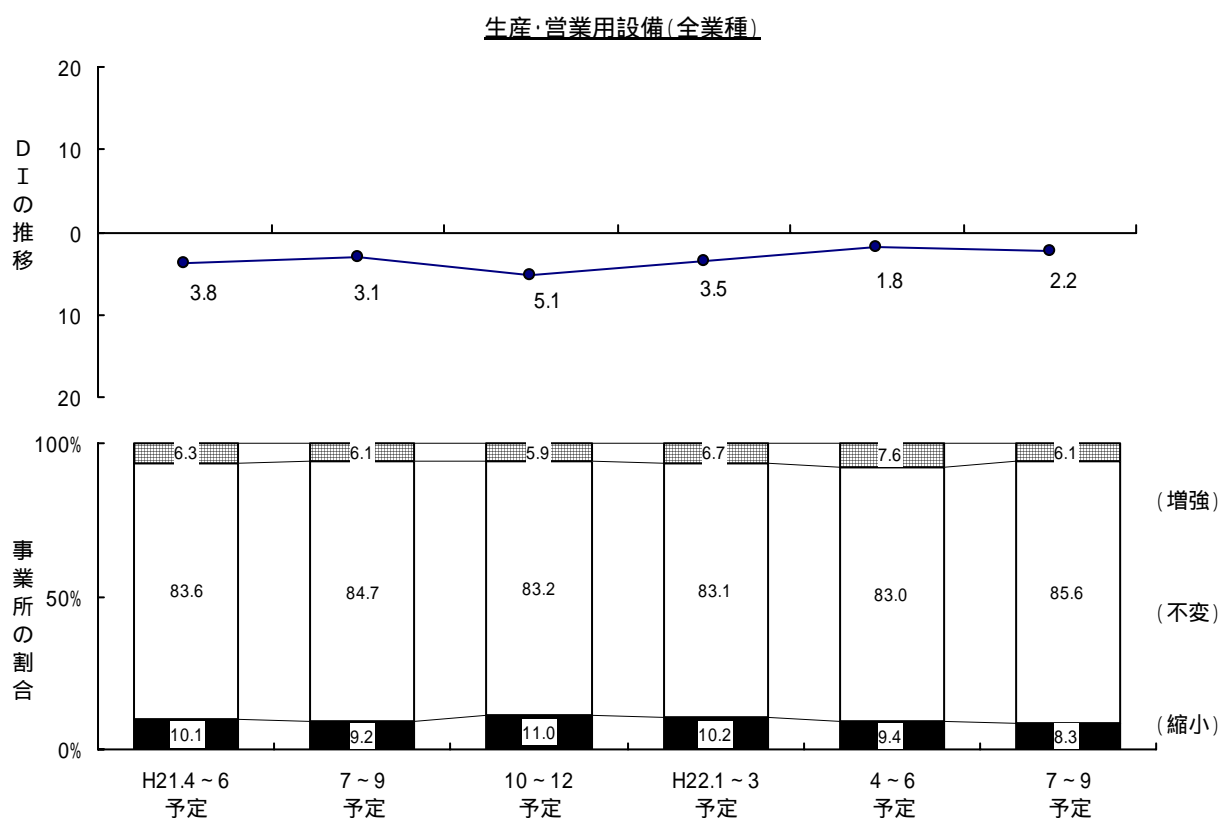


非正規従業員数のD I（「増員する」と答えた事業所の割合 - 「減員する」と答えた事業所の割合）は 4.0と、前期実績D Iの 8.6 と比べやや上昇した。

設問 4 - 3 生産・営業用設備（今後の予定）

生産・営業用設備（予定）のD Iは 2.2（前期比 0.4）と、ほぼ横ばいであった。業種別で見ると、製造業、運輸業、サービス業（個人向け）では下降し、飲食店・宿泊業ではほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP30、P43 参照

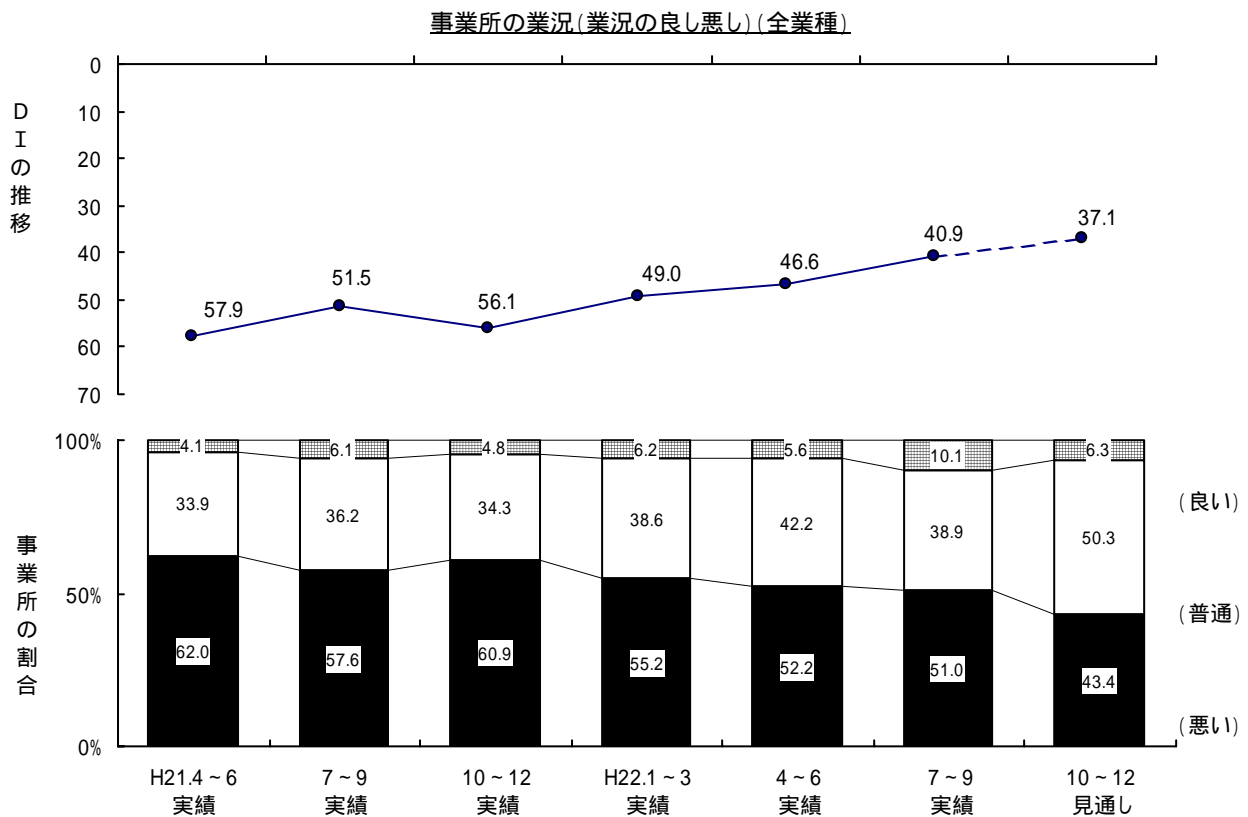


生産・営業用設備（予定）のD I（「増強する」と答えた事業所の割合 - 「縮小する」と答えた事業所の割合）は 2.2 と、前期実績D Iの 1.8 と比べほぼ横ばいであった。

設問 5 - 1 事業所の業況（業況の良し悪し）

今期の事業所の業況（業況の良し悪し）のD Iは 40.9（前期比+5.7）と、上昇した。来期の事業所の業況（業況の良し悪し）のD Iは、やや上昇する見通しである。今期の事業所の業況（業況の良し悪し）のD Iを業種別で見ると、サービス業（個人向け）、サービス業（法人向け・ほか）では下降し、製造業でほぼ横ばい、これら以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP31、P44 参照



今期の事業所の業況（業況の良し悪し）のD I（「良い」と答えた事業所の割合 - 「悪い」と答えた事業所の割合）は、今期実績で 40.9と、前期実績D Iの 46.6と比べ上昇した。今期見通しD Iが 37.4であったことから、事業所の業況（業況の良し悪し）のD Iは、ほぼ予想通り上昇した。

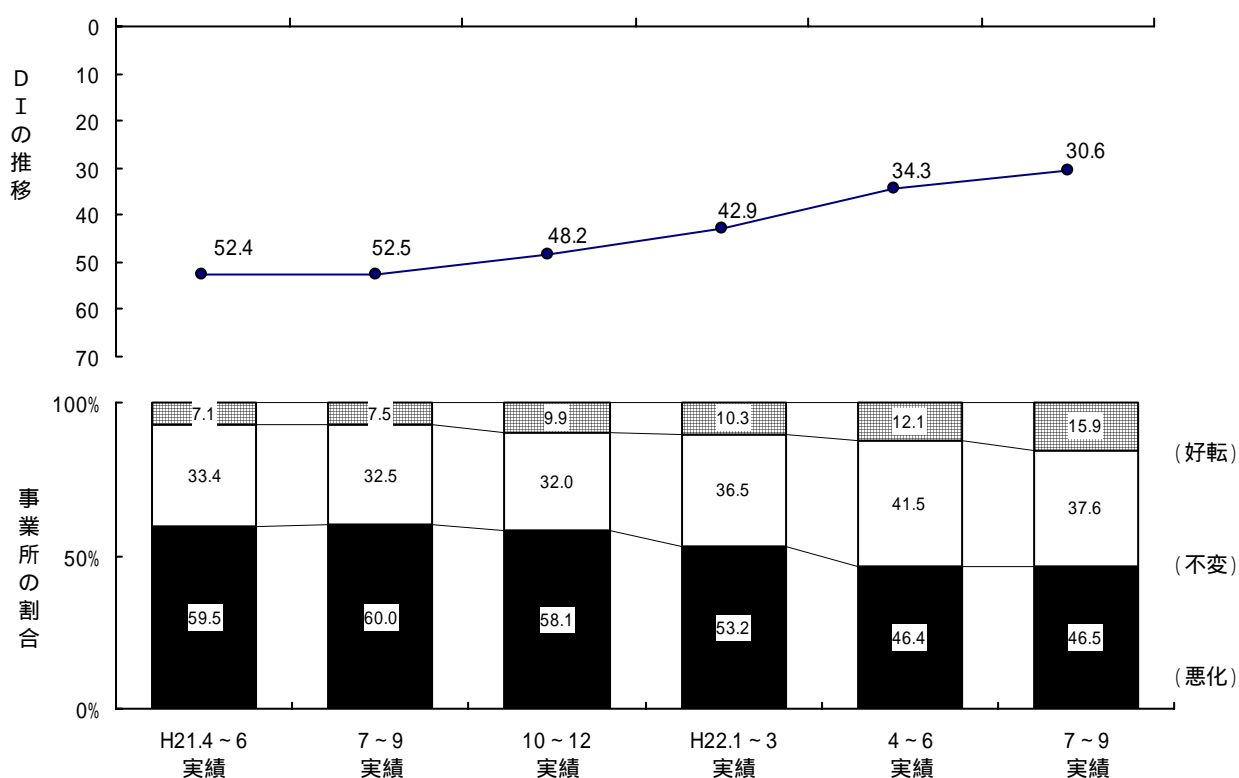
来期の見通しは、D Iが 37.1とやや上昇する見通しである。

設問 6 - 1 事業所の業況（業況の変化）（前年同期比）

事業所の業況（業況の変化）のD Iは 30.6（前期比+3.7）と、やや上昇した。業種別で見ると、製造業、不動産業、サービス業（法人向け・ほか）では下降し、それ以外の業種では上昇した。

規模別、業種別D Iの詳細については、それぞれP31、P45 参照

事業所の業況（業況の変化）（全業種）

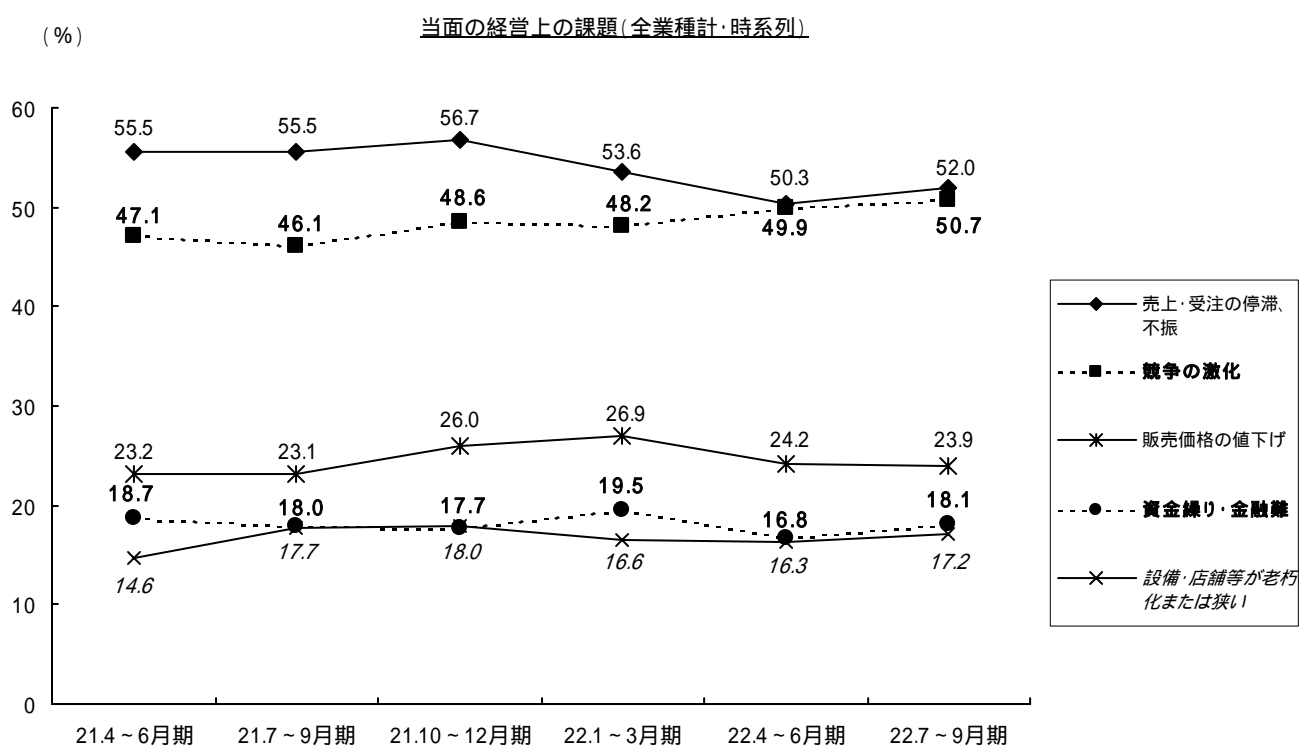


事業所の業況（業況の変化）のD I（「好転した」と答えた事業所の割合 - 「悪化した」と答えた事業所の割合）は 30.6 と、前期実績D Iの 34.3 と比べやや上昇した。

設問 7 - 1 経営上の課題

経営上の課題としては、前期に引き続き「売上・受注の停滞、不振」、「競争の激化」のこれら上位 2 位が、5 割台で他の課題を大きく引き離している。また、「販売価格の値下げ」は 6 期連続で 3 位となっており、2 割台で推移している。

規模別、業種別 D I の詳細については、それぞれ P46 参照



当面の経営上の課題を 3 つまで選んでもらったところ、前期同様「売上・受注の停滞、不振 (52.0%)」、「競争の激化 (50.7%)」の上位 2 つを 5 割以上の事業所が挙げている。

以下、「販売価格の値下げ (23.9%)」、「資金繰り・金融難 (18.1%)」、「設備・店舗等が老朽化または狭い (17.2%)」と続いている。

## 4 . 業界ヒアリング調査結果

調査期間：平成 22 年 10 月 4 日～平成 22 年 10 月 14 日  
調査対象：仙台市内の主な事業所 10 社  
調査方法：仙台市職員の面接による聞き取り

### 製造業

#### 金属加工機械製造業

- ・ 製造機械の補修等を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。
- ・ 売上が従前の 1/5 程度となり、経営がぎりぎりの状態である。近隣の工場からの補修依頼の件数が激減しており、得意先から定期的にあった依頼が応急措置のような不定期かつ時間外等の案件しかなくなってしまった。
- ・ 業界の動向として、近隣の発注業者が移転、廃業していく中で同業者も廃業しているなど、景気は悪い。

#### 染色整理業

- ・ 染色を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。
- ・ 経常利益は前年同期と比較して減少しているが、大きな減少は見込んでいない。原材料価格が石油価格の上昇を受け、1 割弱程度上がっている。
- ・ 作業自体は高い技術を要しないため、同業他社との価格競争にさらされている。製品単価が低いので、値下げの影響は売上にも大きく響いている。若干の赤字が出ても大口顧客からの仕事を引き受けることもある。
- ・ 業界の動向として、報道にあるような景気持ち直しの動きはない。大企業では持ち直しているかもしれないが、中小企業においてその動きが見えていない。

#### 茶・コーヒー製造業

- ・ 飲料の製造を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。
- ・ 生産量、売上は横ばいである。若年層の消費量が減少しているため、新たな商品開発に努めている。
- ・ 今年は春先の低温の影響で原材料の収穫量が減ったが、仕入時期をずらして例年並みの価格を確保した。
- ・ 業界の動向としては、横ばいで推移している。

## 建設業

### 電気工事業

- ・ 電気工事等を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。
- ・ 不景気で民間の発注業者からの依頼が延期されるなど、ピーク時から比較すると受注は 1/3 程度である。来期も受注が確保できていないため、業況は悪くなると見込んでいる。
- ・ 公共工事、民間工事それぞれ半分の割合で業務を行っているが、それぞれの発注件数自体が減少しているため、売上が好調だった 3 年前と比べ、昨年は半分以下、今年は昨年以下の売上に減少する見込みである。
- ・ 受注がない状態で正規従業員数は過剰であり、他の部門への出向など、調整を行っている。また、業況の悪化により非正規従業員は今期から削減した。
- ・ 業界の動向として、建設業業界は相変わらず競争の激化等などにより景気が悪い。政府や各機関の調査、発表では、景気判断がやや上方修正されてきているが、東北では未だ実感できていない。

## 運輸業

### 一般貨物自動車運送業

- ・ 食品の運送を行うこの事業所では、業況は良いと捉えている。
- ・ 取り扱う食品は景気の影響を受けにくく、ここ数年売上は前年割れしていない。この夏の猛暑の影響で売上、販売数量は伸びたが、その分燃料代がかさみ、経常利益は減少した。
- ・ 燃料価格が高止まりしてなかなか下がらない。トラックの回転率を上げて空車を少なくするために大変な努力をしている。
- ・ サイクルの短い食品を扱うので、社員教育には力を入れている。顧客の目線での輸送品質の確保に努めてきた結果が新たな受注に結びついている。
- ・ 業界の動向として、量販店が販売価格を決めることによって、物流価格が下げられてしまうことから、物流の量自体が減少している。



## 卸売業

### 食料・飲料卸売業

- ・ 業務用食品等の卸売・製造を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。
- ・ 今期は大口の受注のおかげで実績はやや良かった。
- ・ 売上高と販売数量は、この夏の猛暑で、主力食品の売上が好調だったことにより増加した。
- ・ 主力食品は夏の売上が多く、その時期の工場の人員はパート・アルバイトや派遣職員で対応している。仙台と他県に工場があるが、仙台の工場はパート・アルバイトの募集をかけても人員が集まらず、人材派遣に頼っているためコストがかかる。
- ・ 資金繰りは国の経済対策、特に政策金融公庫の制度や、緊急保証制度の活用によりやや楽になった。
- ・ 業界の動向としては、販売数量に大きな変化は無いが、価格競争の影響で単価は下落傾向であり、デフレ気味と感じている。

## 小売業

### 他に分類されない飲食料品小売業

- ・ 食料品の販売、宅配等を行うこの事業所では、業況は普通であると捉えている。
- ・ 売上は営業所を増設したことと、昨年、一昨年に落ち込んだ分を盛り返したことにより増加した。経常利益は営業所を増設のため、減少した。
- ・ 原材料の仕入れは、昨今の野菜高騰のために価格が上がっているが、販売価格を定額としているため上乗せできず、非常に厳しい状況である。
- ・ 消費者ニーズはさらに多様化しており、上手くマッチングができない状況である。
- ・ 業界の動向として、新規参入企業が少ないので、価格競争等もなく変化はない。

## 飲食店・宿泊業

### 飲食業

- ・ 飲食業を行うこの事業所では、業況は悪いと捉えている。
- ・ 今年の夏は猛暑の影響からかドリンク・アルコールが好調で前年実績を上回ったが、それ以外は前年割れである。普段の支出を抑え、記念日などに大きく支出する消費傾向にあると思われる。
- ・ 野菜類は時価での取引となるため、価格高騰で仕入れに影響が出た。
- ・ 経営側から経費削減、特に人件費の合理化について強く指導されているため、1人の職員が複数の業務に対応するなどの対策をとっている。
- ・ 業界の動向として、競争が激しくなっている。競合他店のメニューを調査し、より質の高いものを提供するメニューを設けるなどの工夫をしている。

## 不動産業

### 建物販売業，土地売買業

- ・ 建物販売業，土地売買業を行うこの事業所では，業況は普通であると捉えている。
- ・ 売上について，前年同期比で売り上げ等が多少増加しているとはいえ，住宅販売の状況は依然としてあまり好調とはいえない。
- ・ 住宅ローン金利は長期間低い水準で推移しており，住宅に対する需要はあるが，購入層が 30 代中心になってきているので，不景気でなかなか住宅の購入に踏み切れないでいる。地域にもよるが，購入者に安定した収入や昇給が無いと販売状況の好転はない。また，比較的若い購入層にはあまり高い物件は売れない。
- ・ 業界の動向として，住宅は値下げ競争が激化しているが，価格を下げたところですぐに売れるものでもない。政府が政策金利をゼロに引き下げたことにより，住宅ローン金利の低下が期待できるが，もう既に十分低いために，あまり大きな影響はないと考えており，業界では苦慮している。

## サービス業

### 警備業

- ・ 警備業等を行うこの事業所では，業況は普通であると捉えている。
- ・ 生産・売上・経常利益とも，来期は変動なしの見込みである。契約は基本的に 3～5 年のものなので見通しが立てやすいが，継続的な契約について，更新の際にサービス価格を値下げせざるを得ない場合がある。施設警備は他社が容易に参入できる分野であり，競争が激しいことから，単価は下がってきており，利幅が縮小している。
- ・ 警備業は大手が有利な市場であり，新築のビルがあっても系列の警備会社が入ってしまうので，新たな顧客獲得は容易でない。
- ・ 業界の動向として，警備業を含むサービス業は人件費がコストの相当部分を占めるが，最低賃金は継続的に上がっており，競争も激化しているため，まだまだ上向きとは言えない。

## 5 . 参考：市内中小企業向け相談窓口での状況について【(財)仙台市産業振興事業団】

### (1) 窓口相談事業の概要について

(財)仙台市産業振興事業団では市内中小企業者の経営課題や新規創業に関する相談窓口を行っている。業種としては飲食業、サービス業、小売業の相談が全体の半数以上を占めており、相談内容としては仙台市中小企業融資制度等の公的融資制度の利用も視野に入れた資金繰り・資金計画の相談、および創業に係る事業計画の相談が約半数を占めている。

### (2) 今期(平成 22 年 7 月～9 月)の相談状況

相談件数			136 件
内訳	業種別	飲食業	39 件
		サービス業	25 件
		小売業	18 件
		その他	54 件
内容別	資金相談	46 件	
	新規創業に関する相談	76 件	
	その他	14 件	

#### 前年同期との比較

今期見られた傾向として、前年同期と比較して相談件数が約 15%減少し、中でもサービス業の相談については約 40%の減少となった。相談内容別では新規創業の相談件数が既存企業の相談件数を 15%程度上回った。また、前年同期は平成 20 年 12 月に施行された緊急保証制度の相談が多く見られたが、今期は当該相談が 1/8 程度に減少している。

### (3) 相談に訪れた事業者の経営課題と今後の対応について

相談内容で最も多いのが経営資金、創業計画であることから、既存の中小企業では売上・受注不振等に伴う資金繰りの悪化が見られる一方、新規創業への意欲や関心も高いことが伺える。今後もこうした経営課題に対し、きめ細かな支援(アドバイス)を提供し、引き続き地元の中小企業の経営基盤の強化と新規創業者の育成に力を入れていく予定である。

(財)仙台市産業振興事業団では、仙台市内の中小企業の皆さまや、仙台市内で創業をめざす方にご利用いただくため、無料相談窓口を開設しております。

各日 2 名の専門相談員がお待ちしております。秘密は厳守いたしますので、お気軽にご利用ください。

日時：8：30～17：00 / 年末年始・祝祭日を除く月曜日～金曜日

場所：AER7 階 (財)仙台市産業振興事業団(青葉区中央 1-3-1)

TEL：022-724-1122 FAX：022-715-8205

E-mail：[shiencenter@siip.city.sendai.jp](mailto:shiencenter@siip.city.sendai.jp) URL：<http://www.siip.city.sendai.jp>

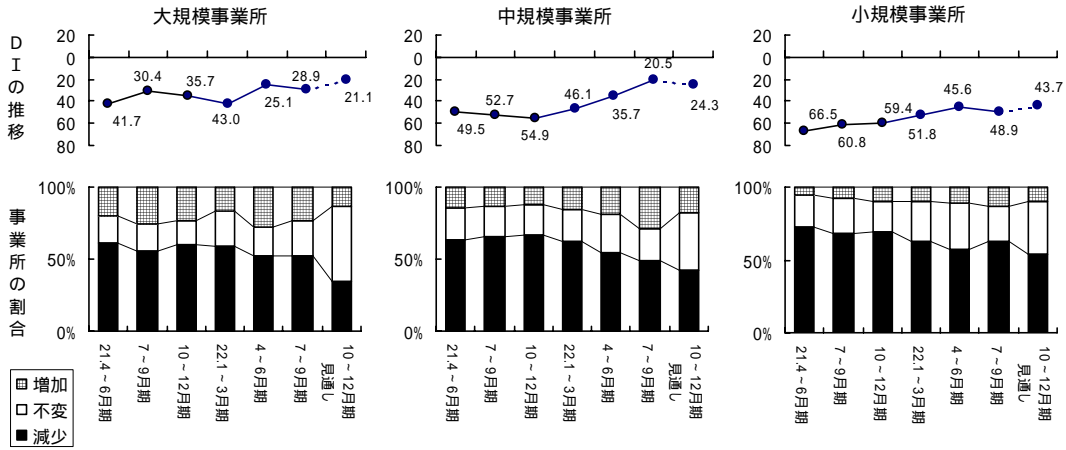
# 資料編



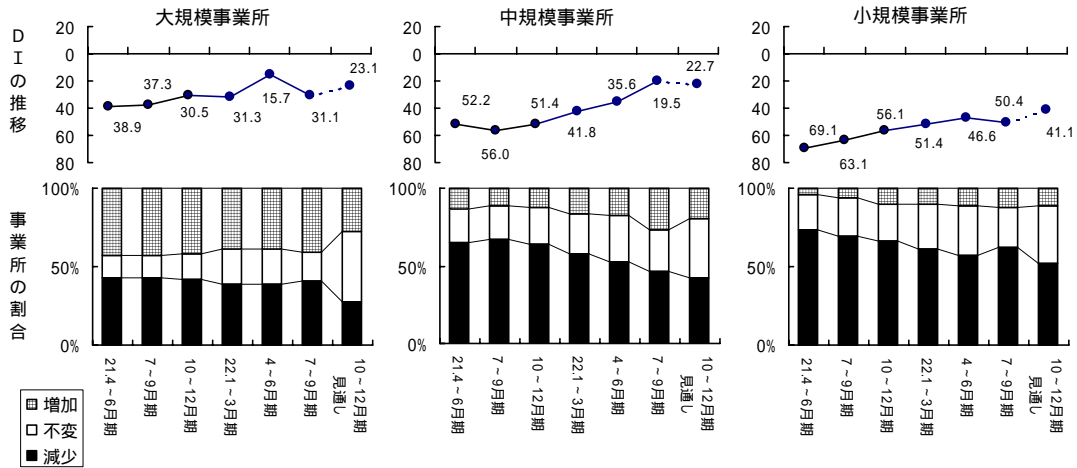
(1) 企業経営動向調査結果(DI)の詳細  
規模別DI

用語の説明については目次裏参照

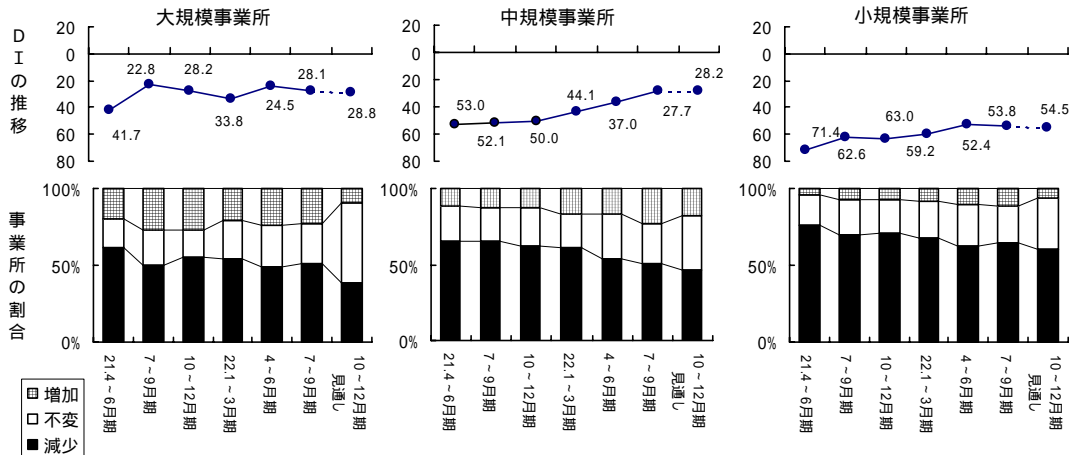
設問1-1 売上高



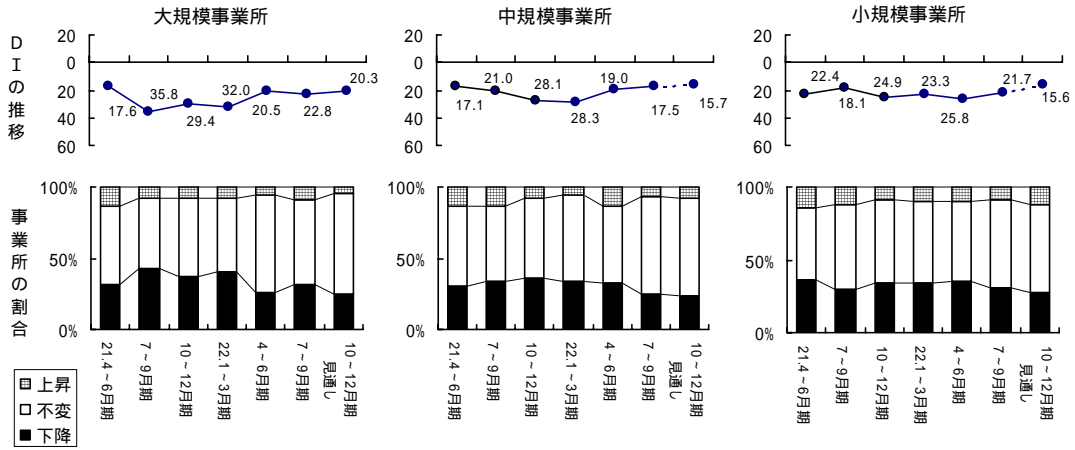
設問1-2 販売数量



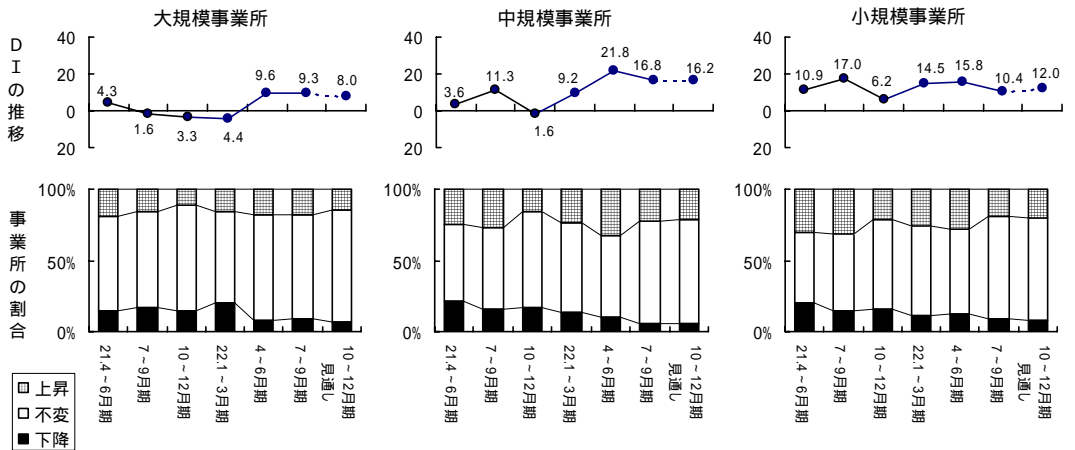
設問1-3 経常利益



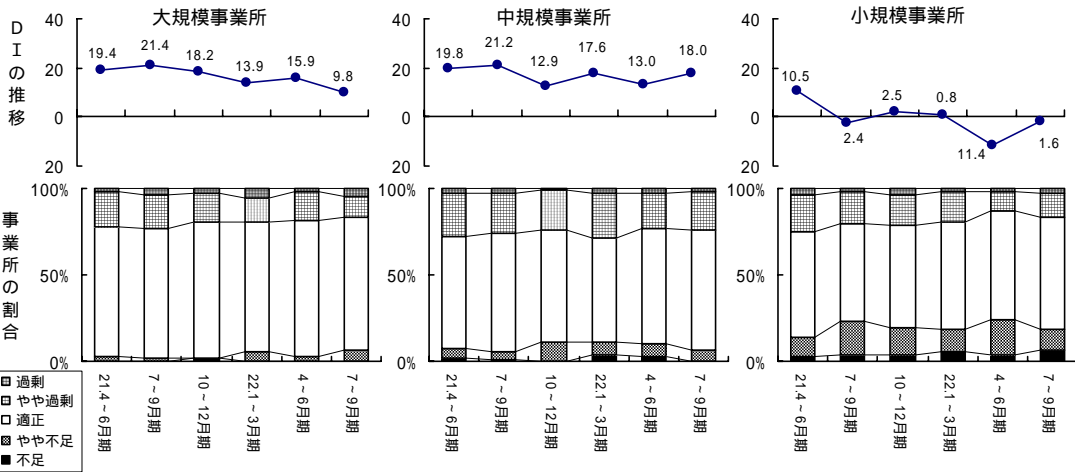
**設問2-1 製(商)品単価**



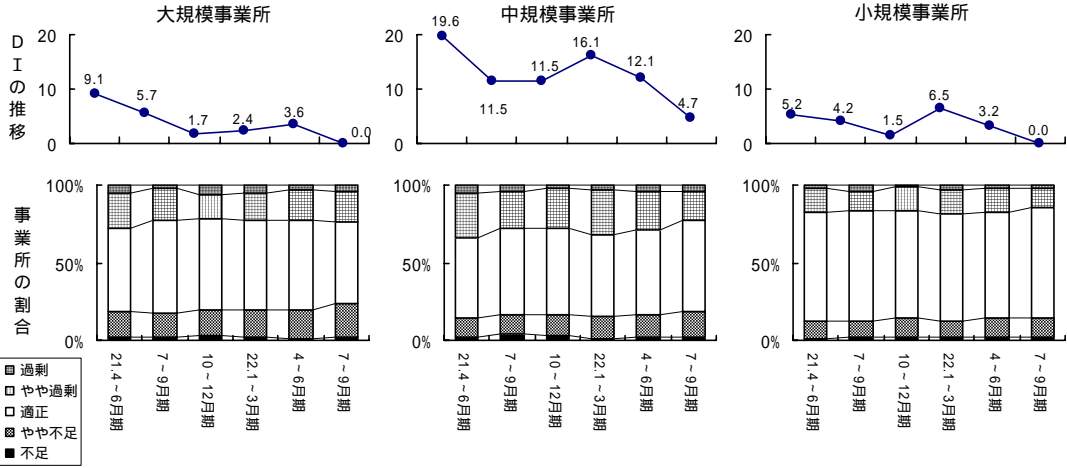
**設問2-2 原材料(仕入)価格**



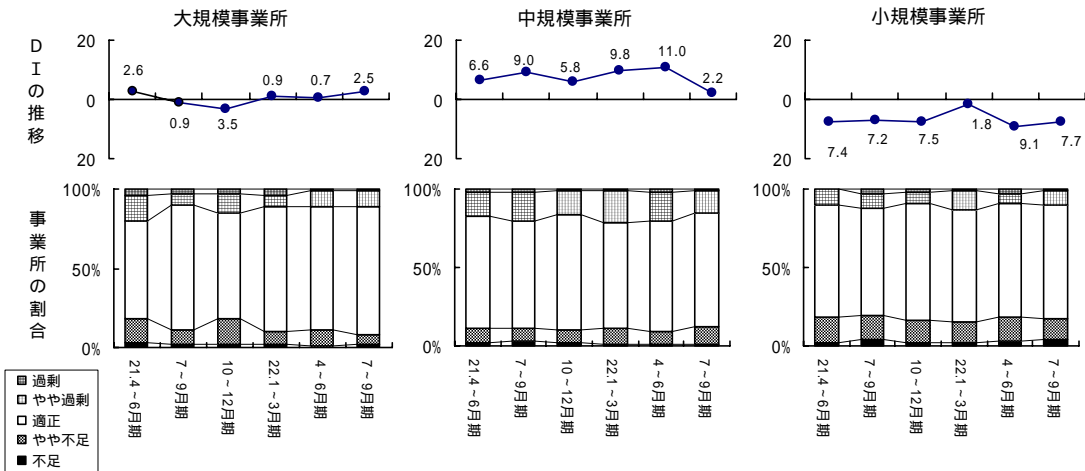
**設問3-1 製(商)品在庫**



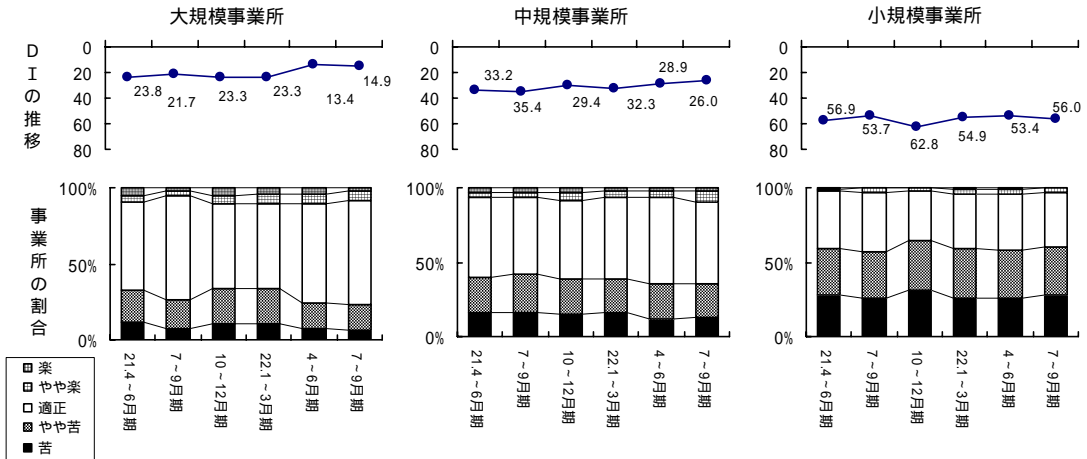
### 設問3-2 労働力



### 設問3-3 生産・営業用設備

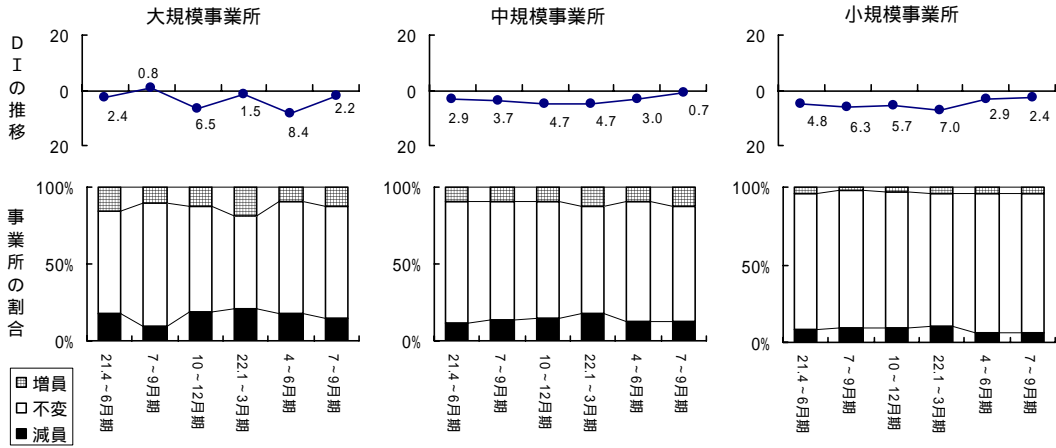


### 設問3-4 資金繰り

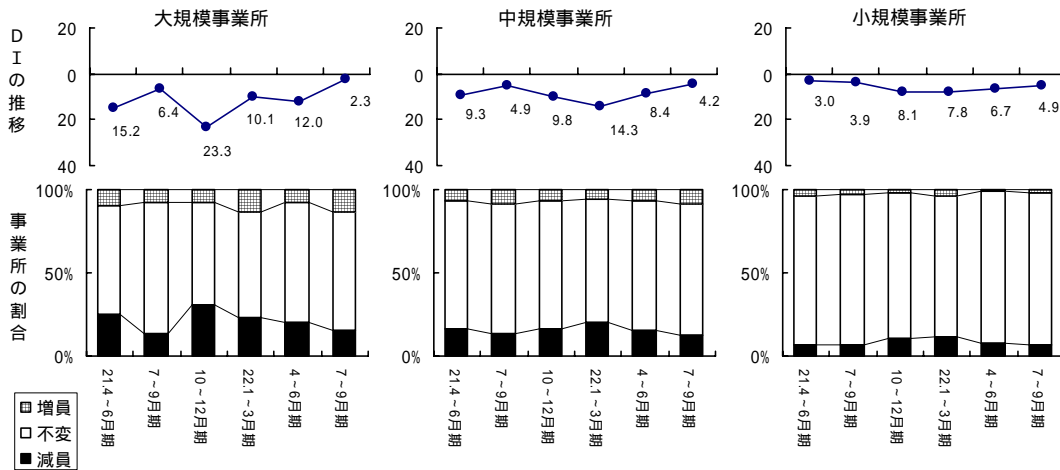




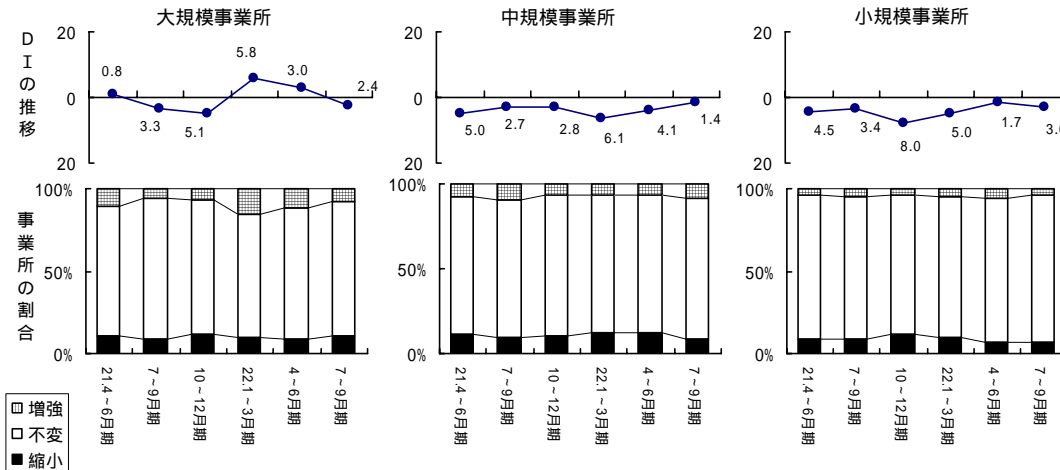
**設問4-1 正規従業員数**



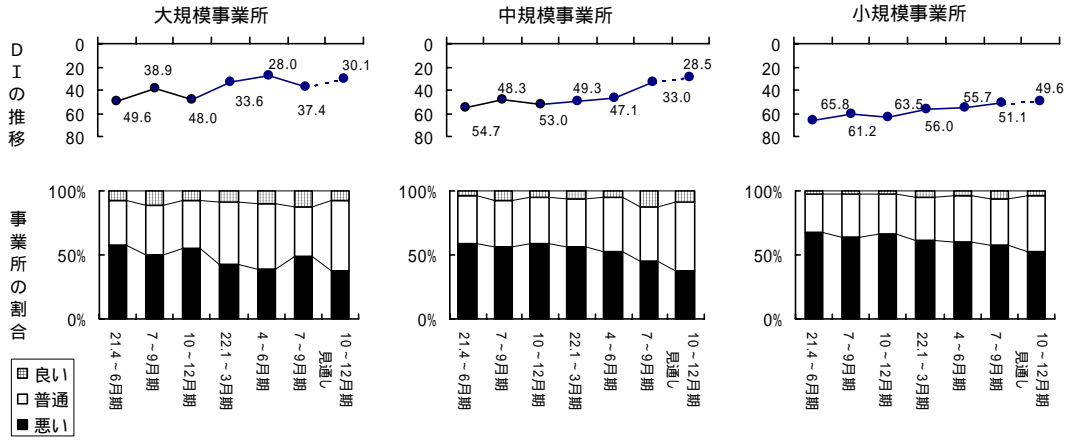
**設問4-2 非正規従業員数**



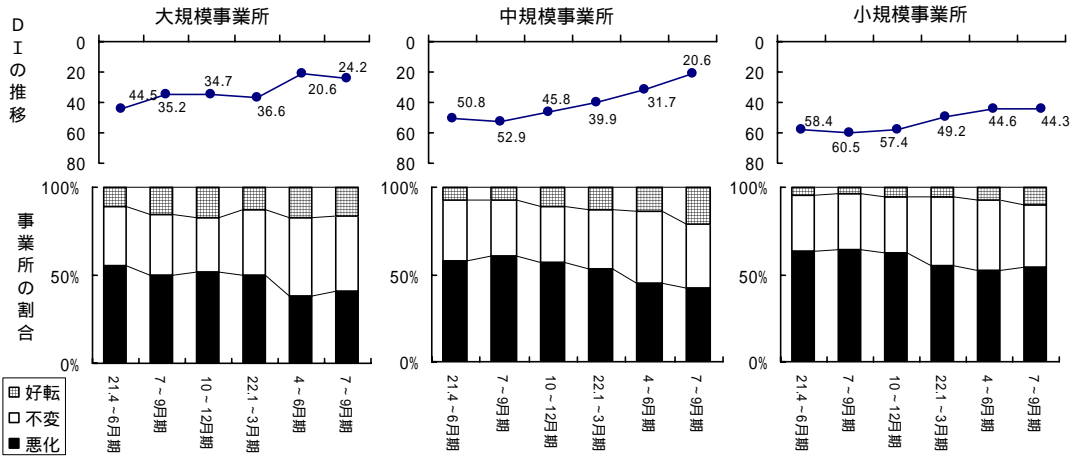
**設問4-3 生産・営業用設備(予定)**



設問5 - 1 事業所の業況(業況の良し悪し)

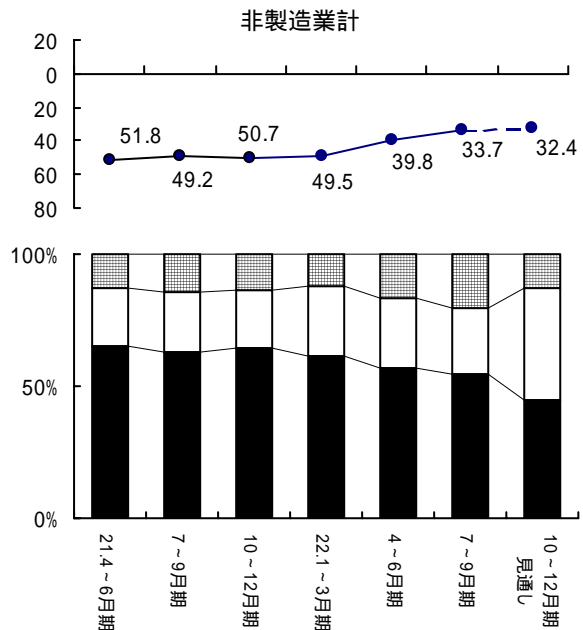
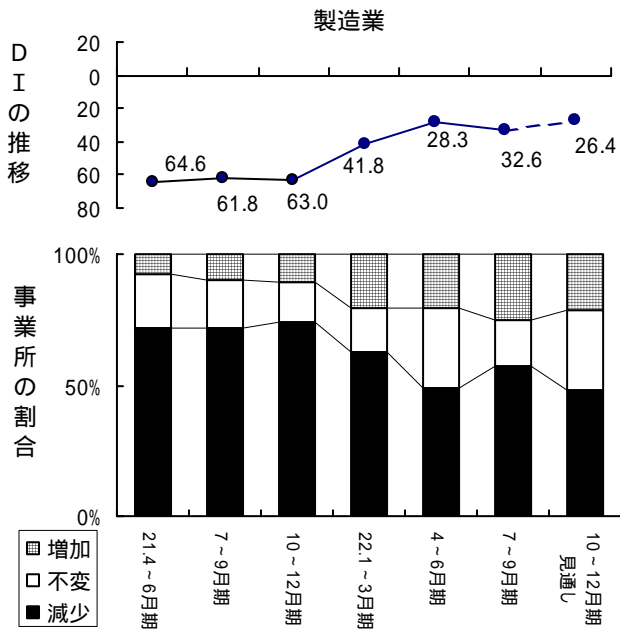


設問6 - 1 事業所の業況(業況の変化)

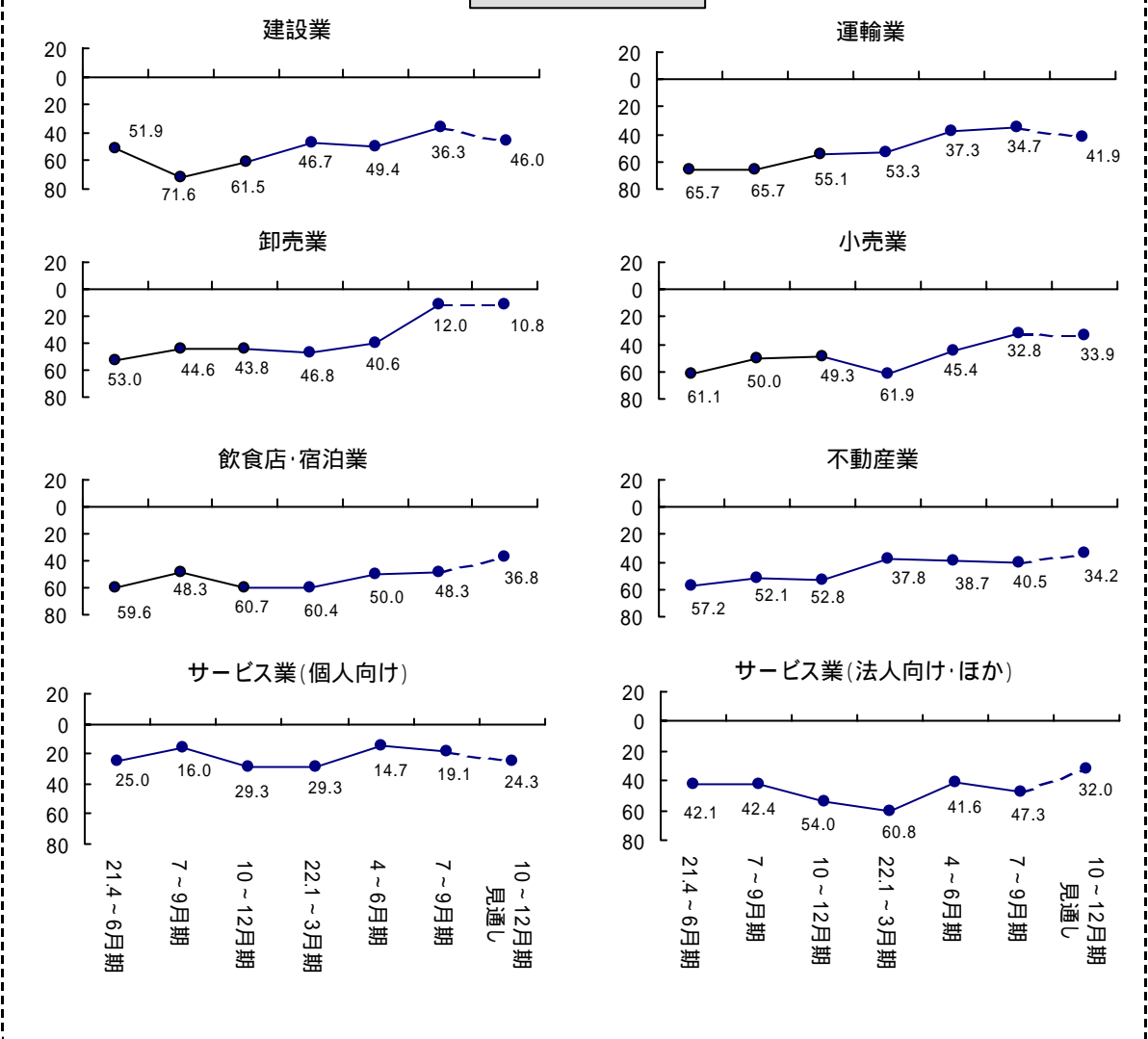


業種別D I

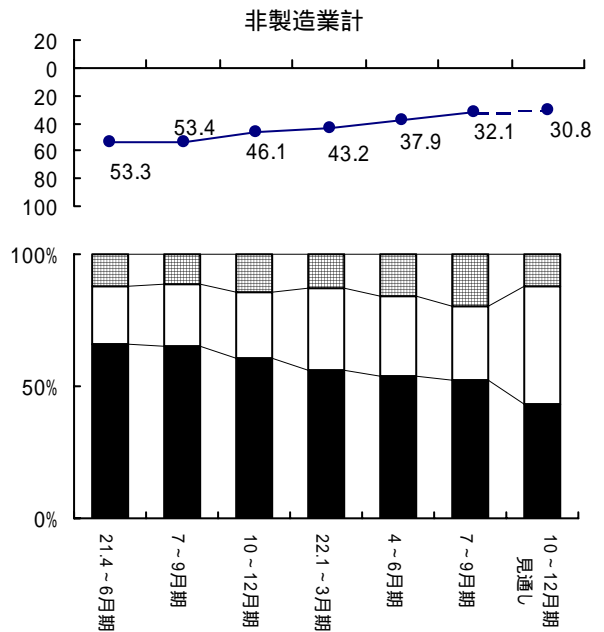
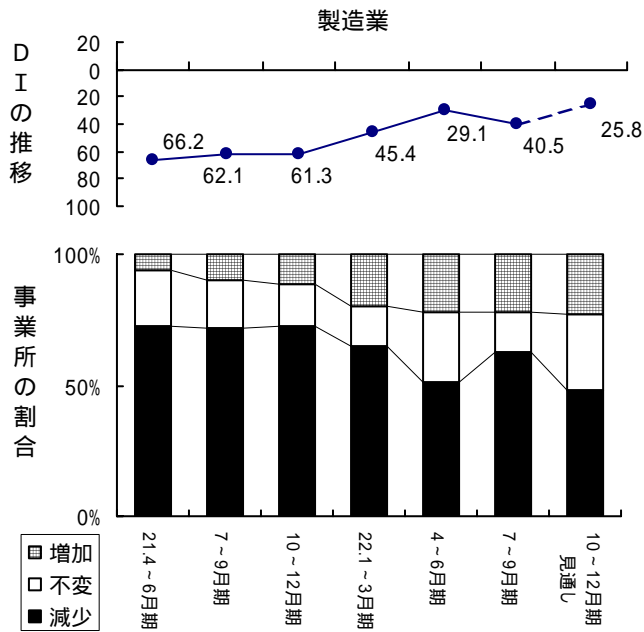
設問1-1 売上高



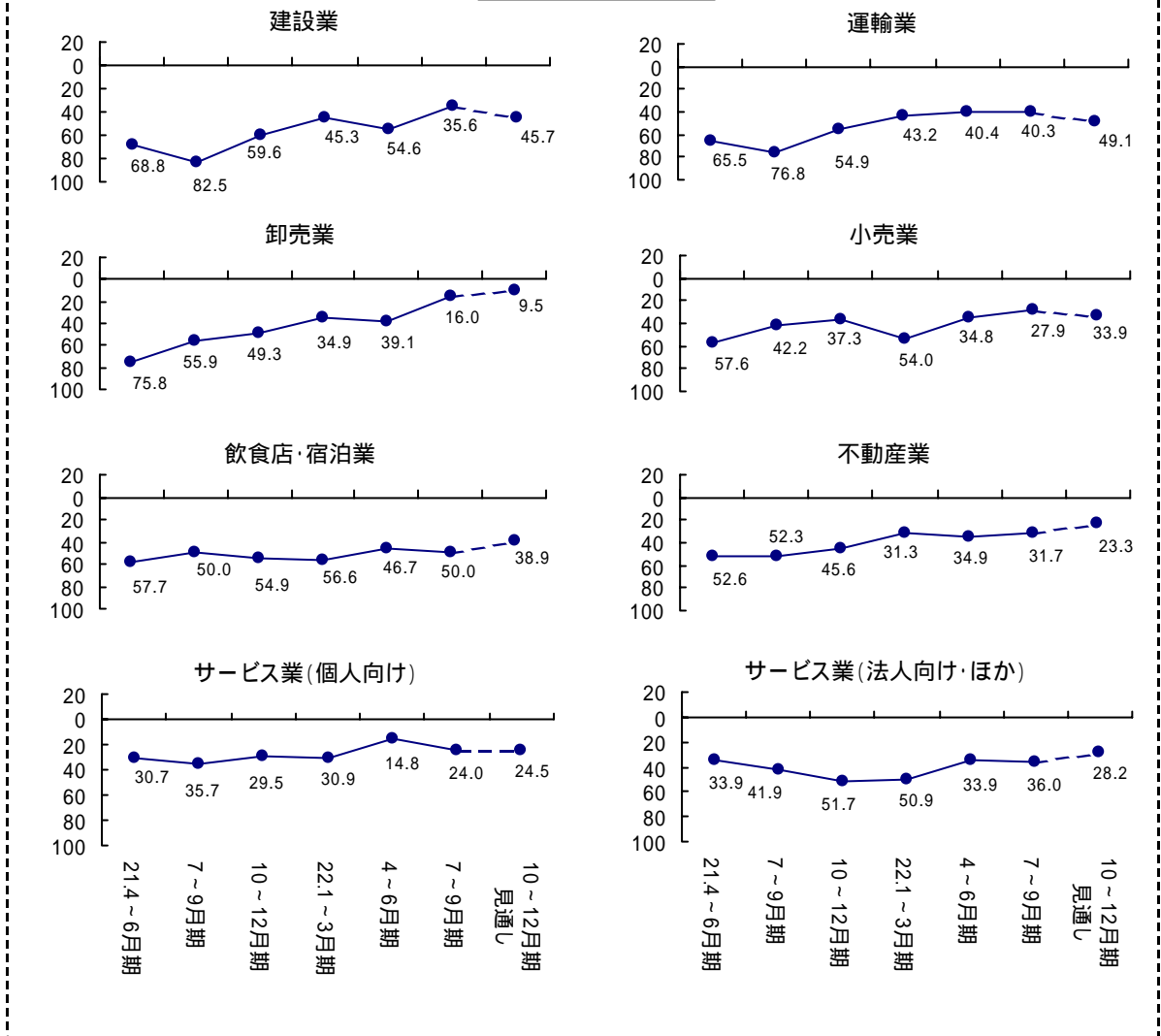
非製造業の内訳



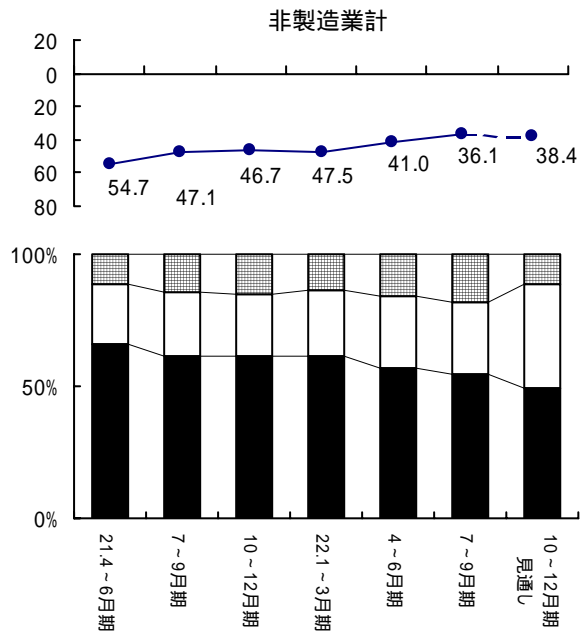
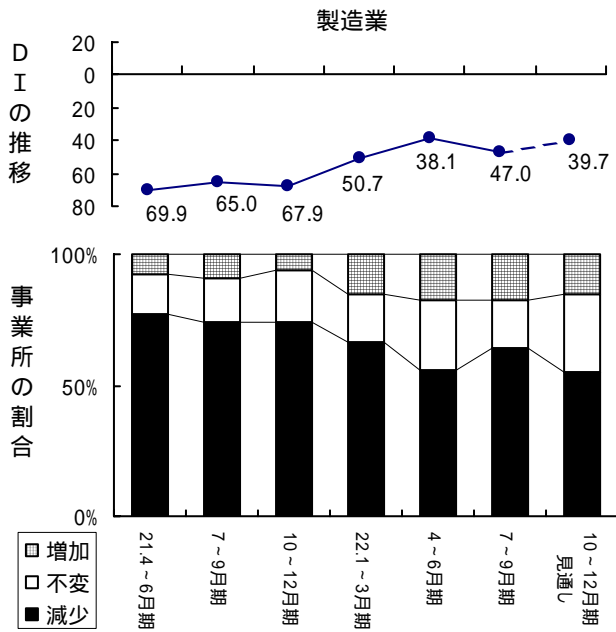
**設問1-2 販売数量**



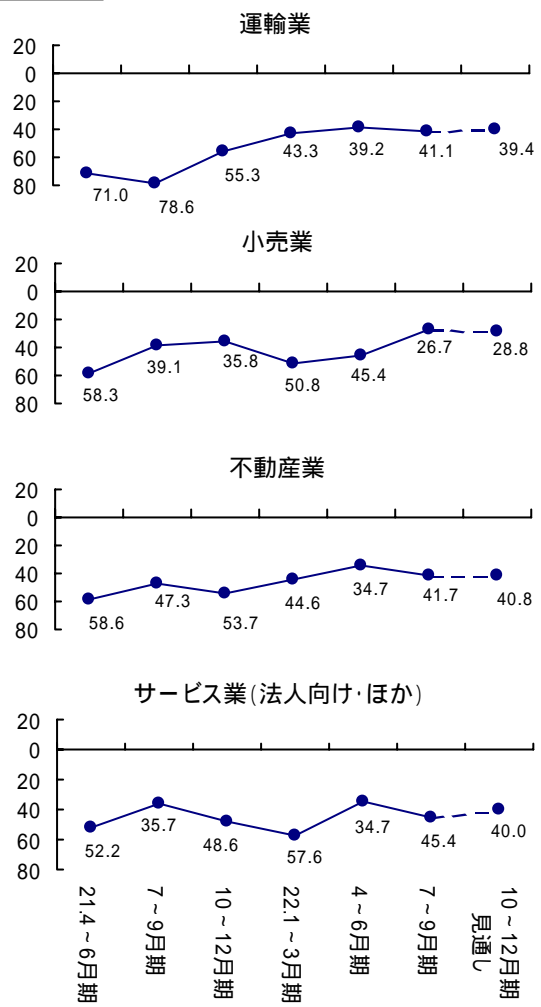
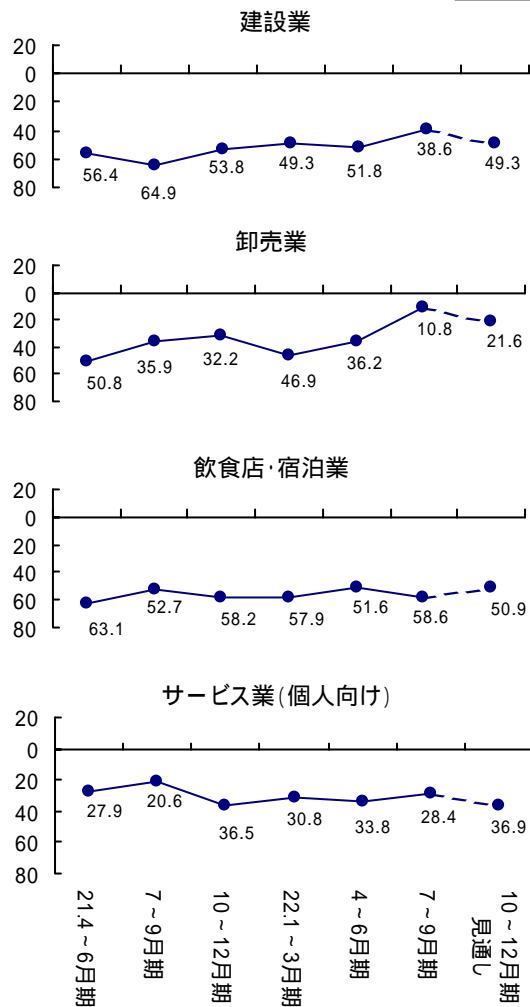
**非製造業の内訳**



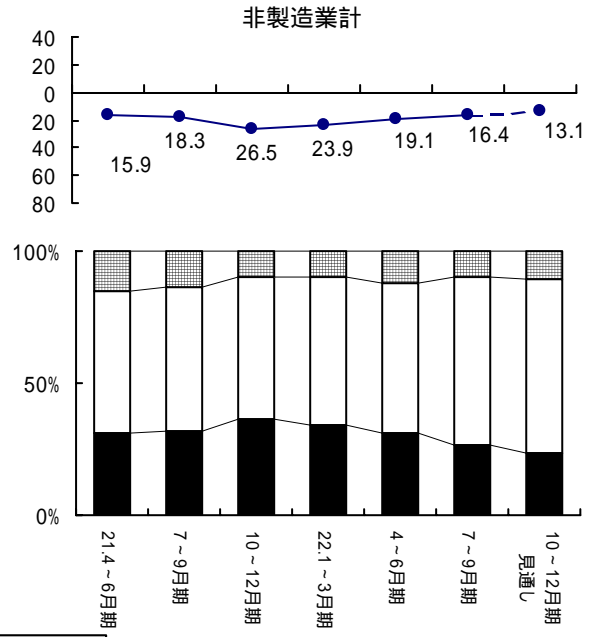
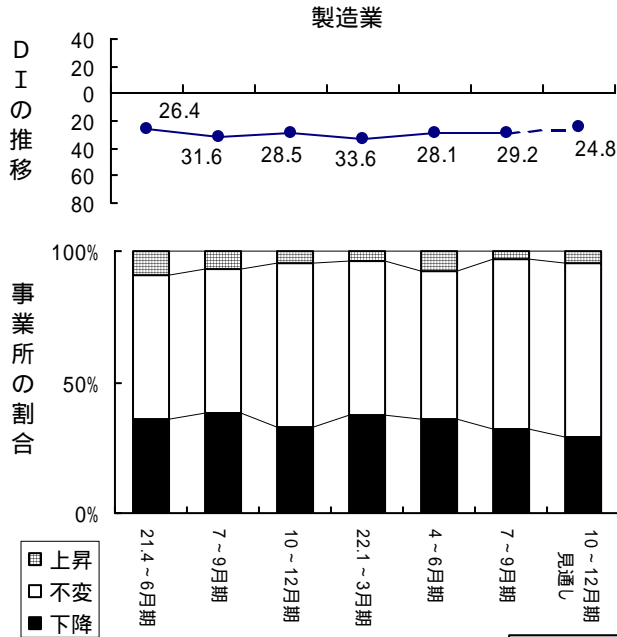
**設問1-3 経常利益**



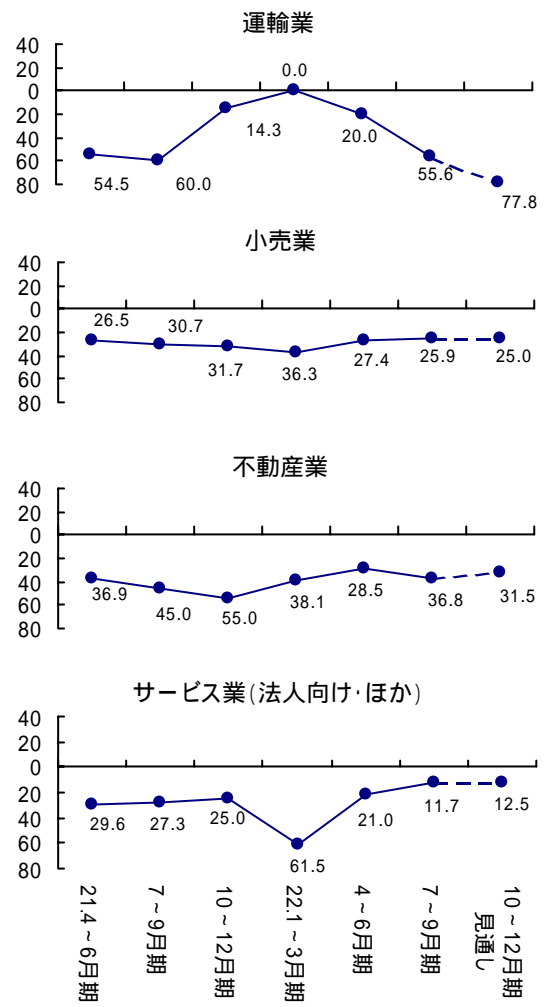
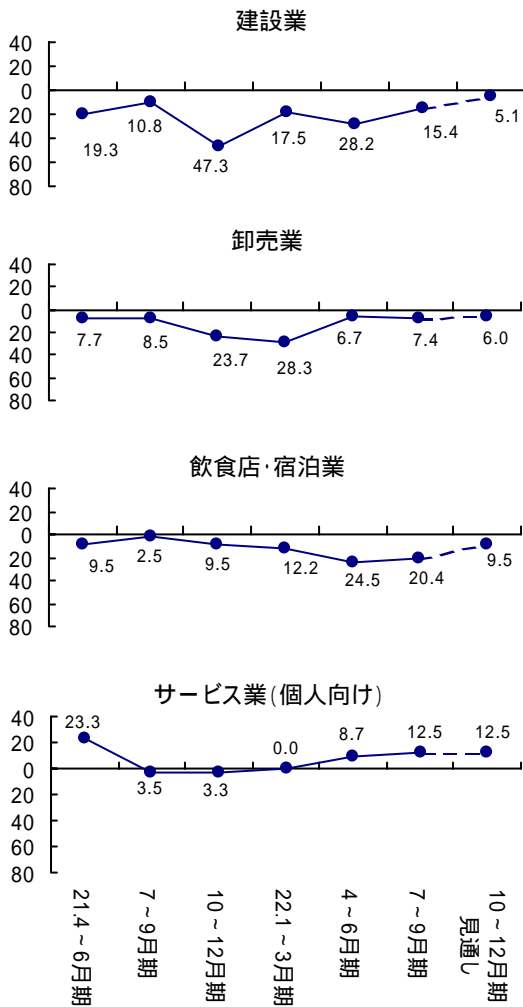
**非製造業の内訳**



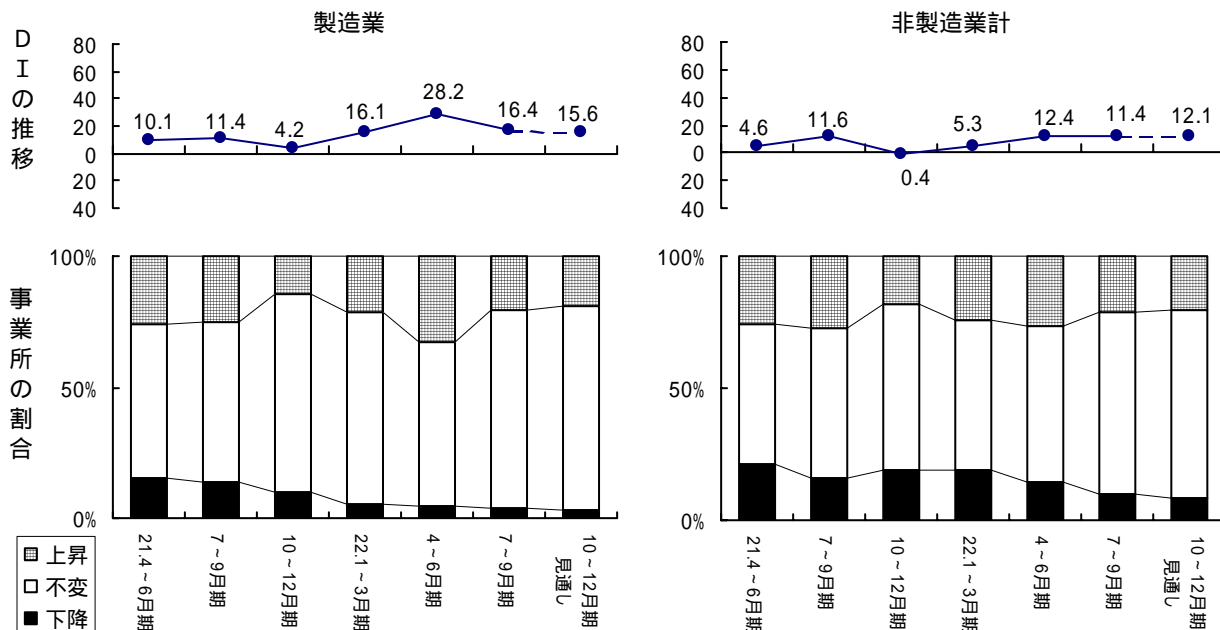
## 設問2 - 1 製(商)品単価



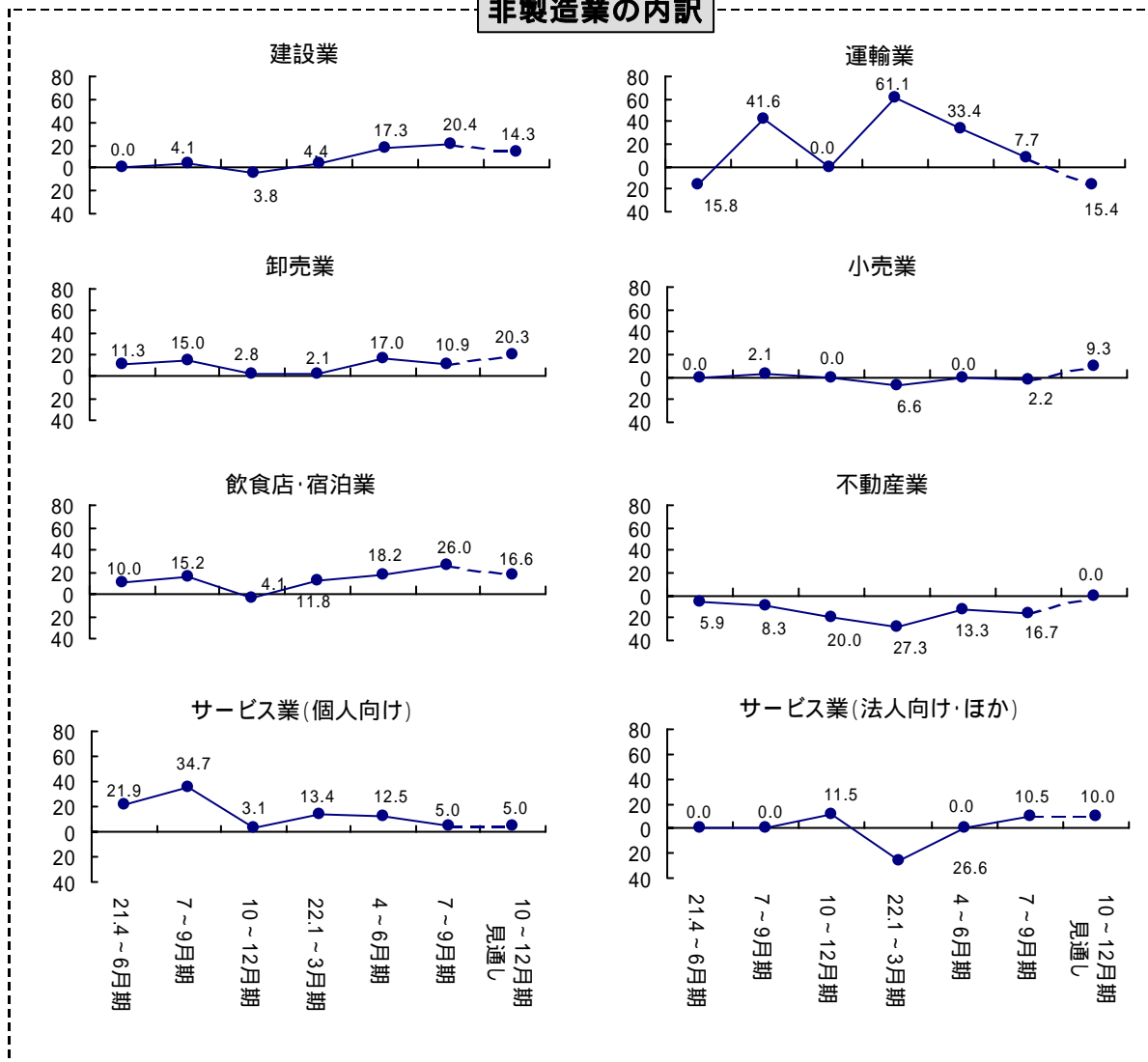
## 非製造業の内訳



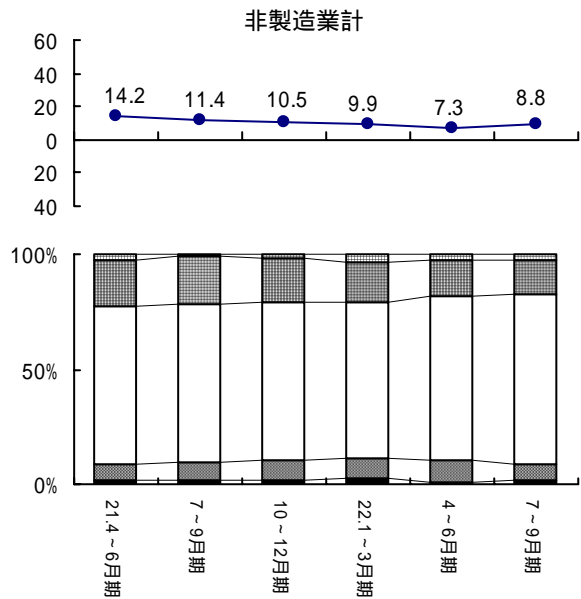
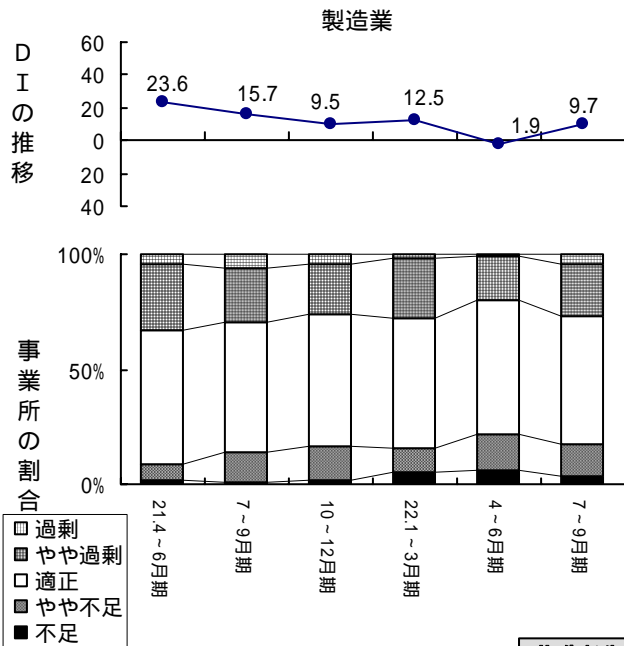
### 設問2 - 2 原材料(仕入)価格



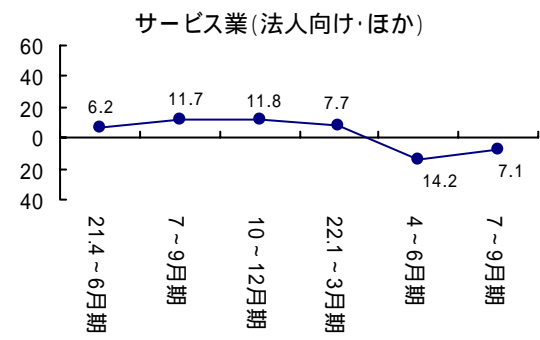
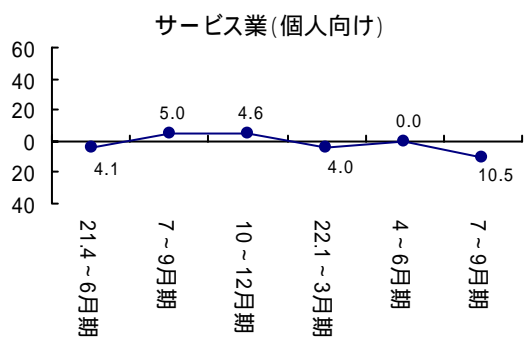
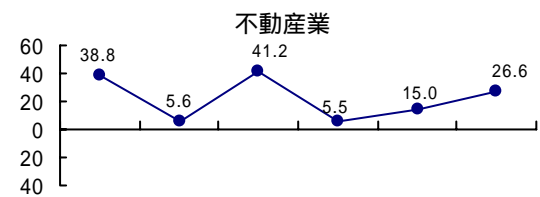
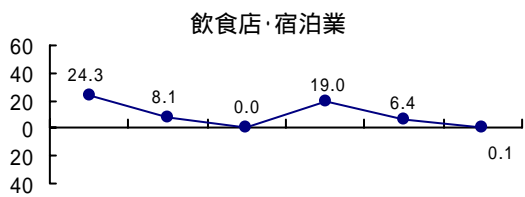
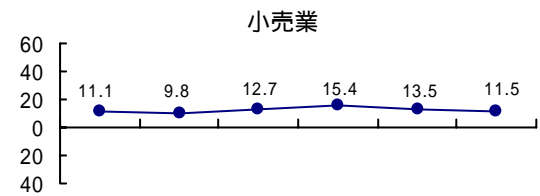
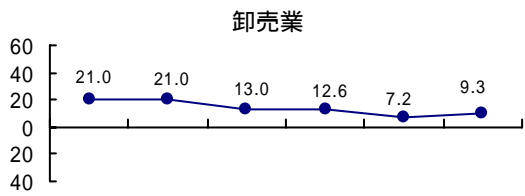
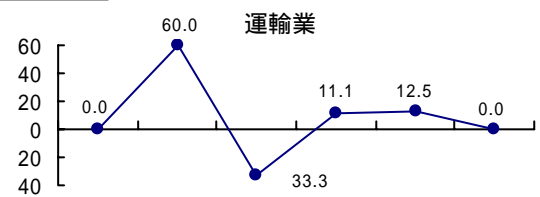
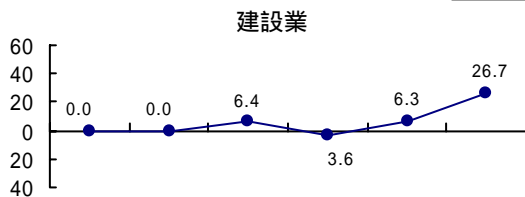
### 非製造業の内訳



### 設問3 - 1 製(商)品在庫

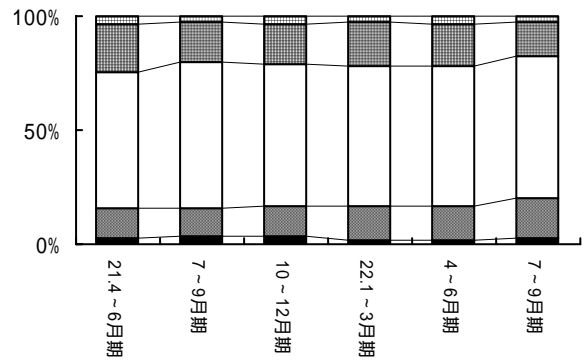
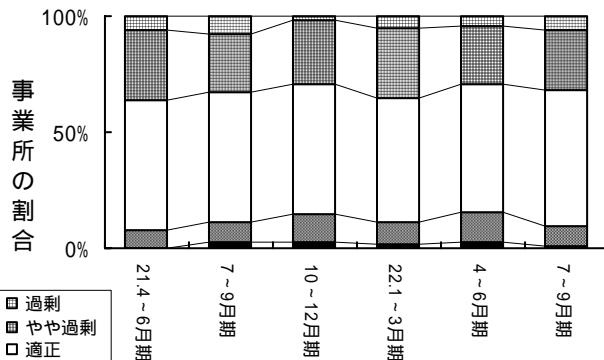
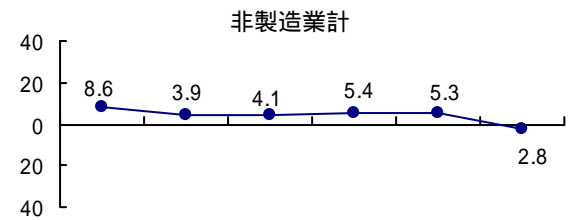
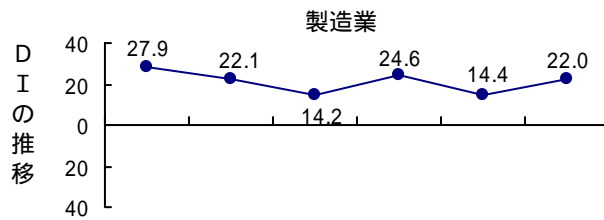


### 非製造業の内訳



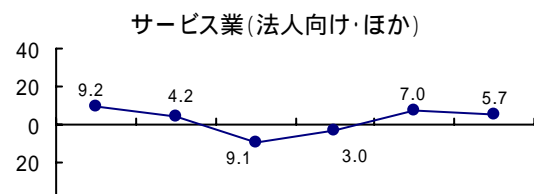
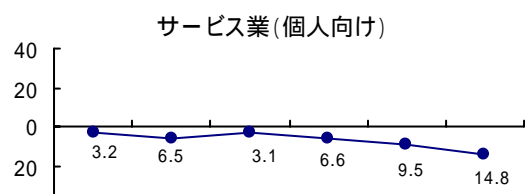
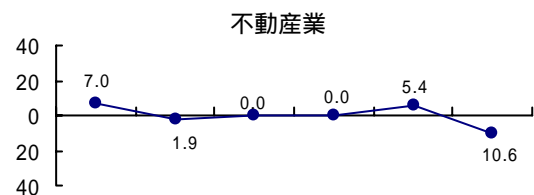
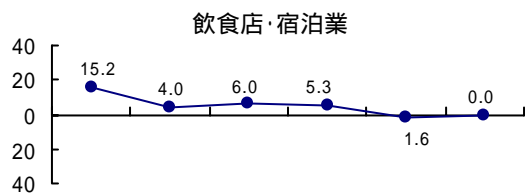
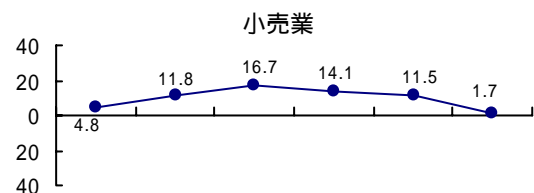
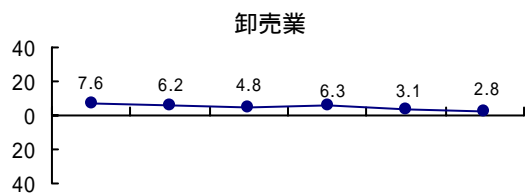
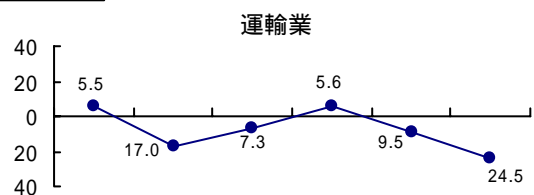
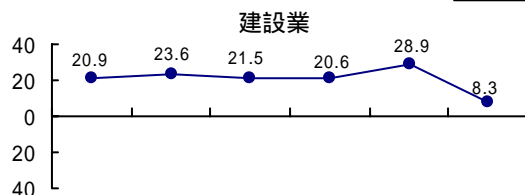


### 設問3 - 2 労働力

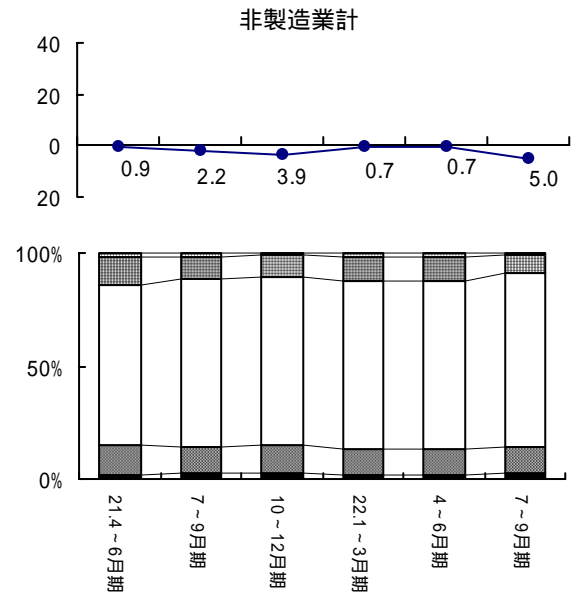
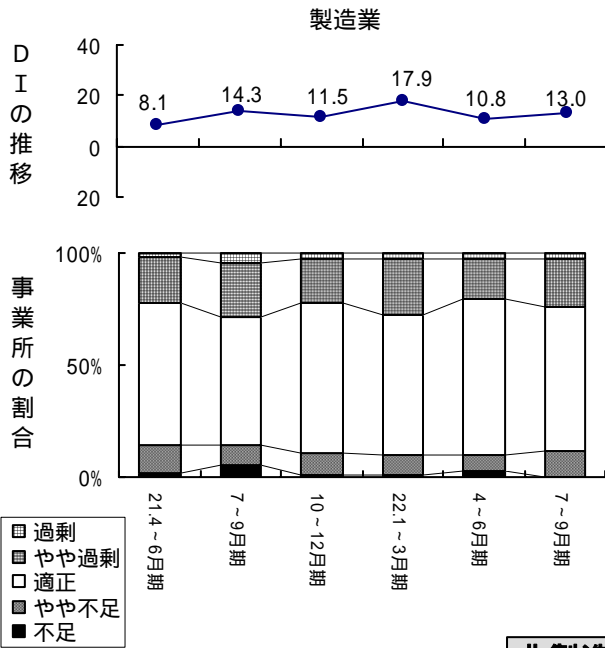


- 過剰
- やや過剰
- 適正
- やや不足
- 不足

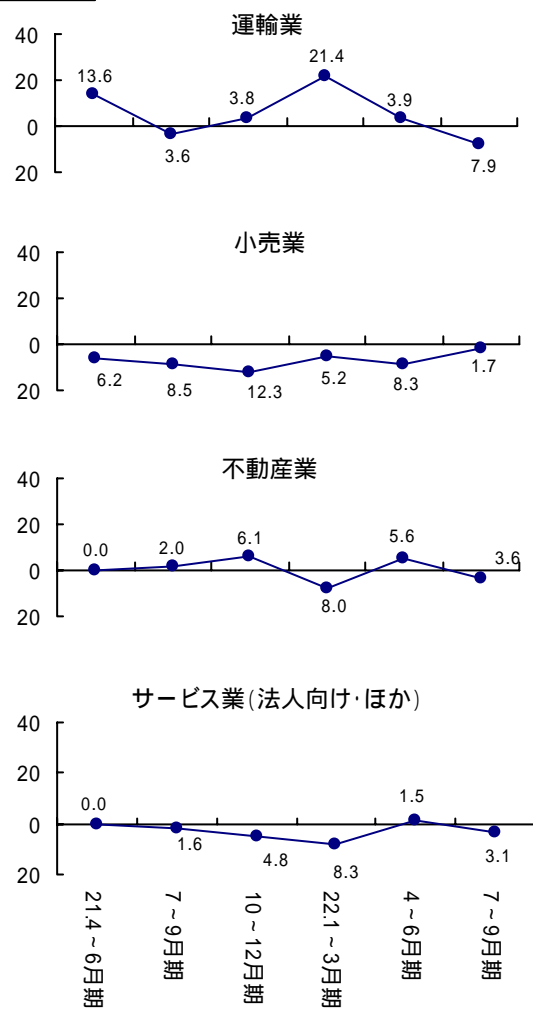
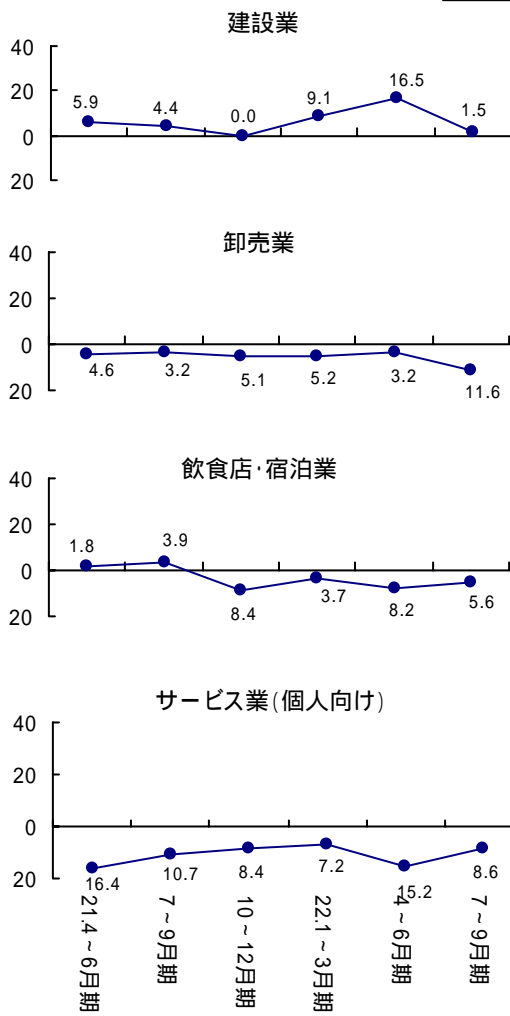
### 非製造業の内訳



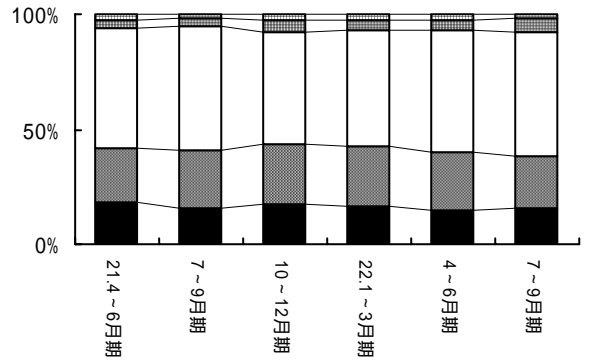
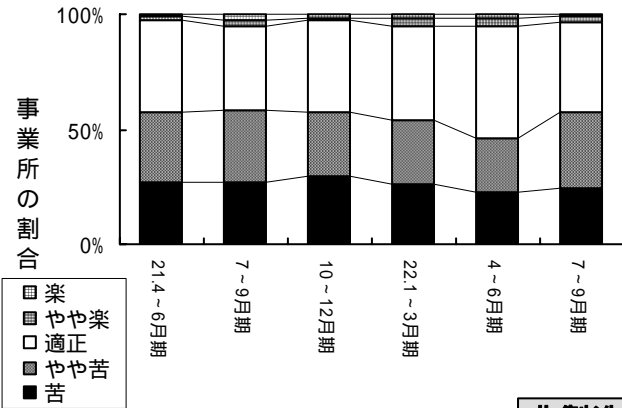
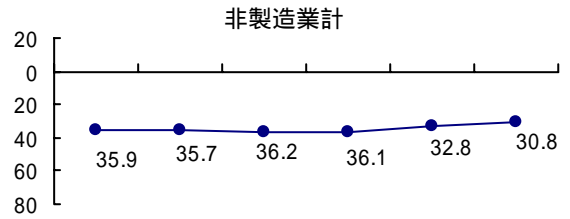
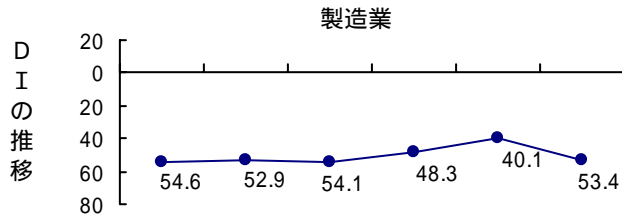
**設問3 - 3 生産・営業用設備**



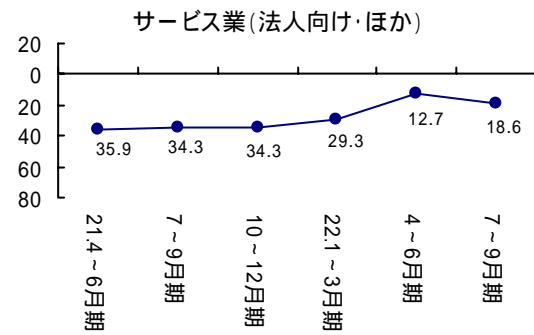
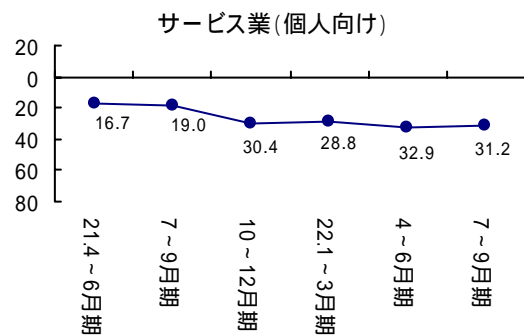
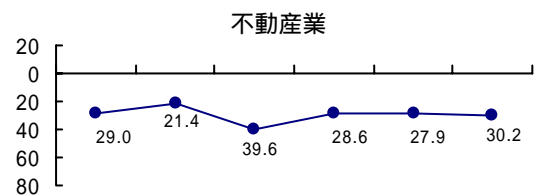
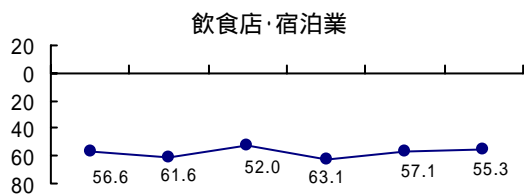
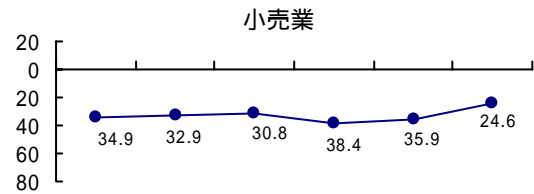
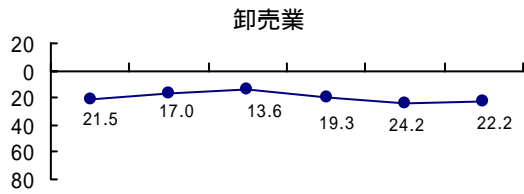
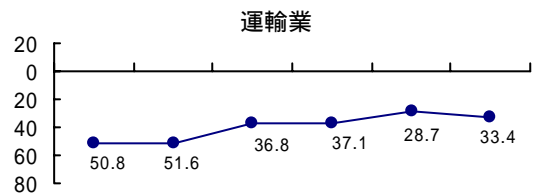
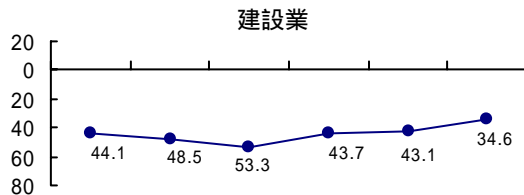
**非製造業の内訳**



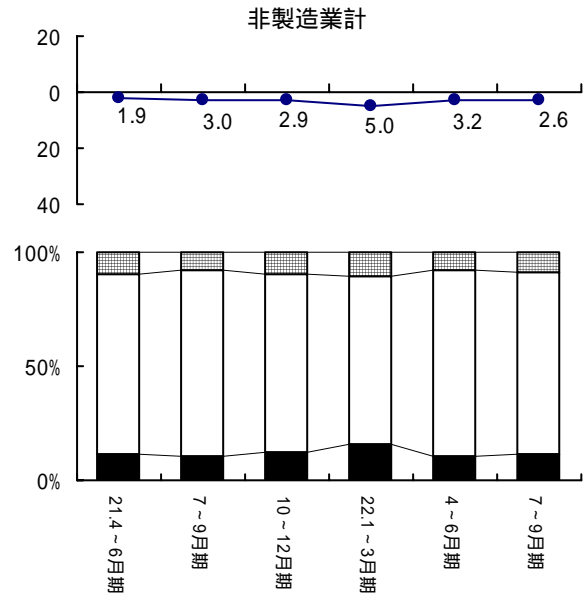
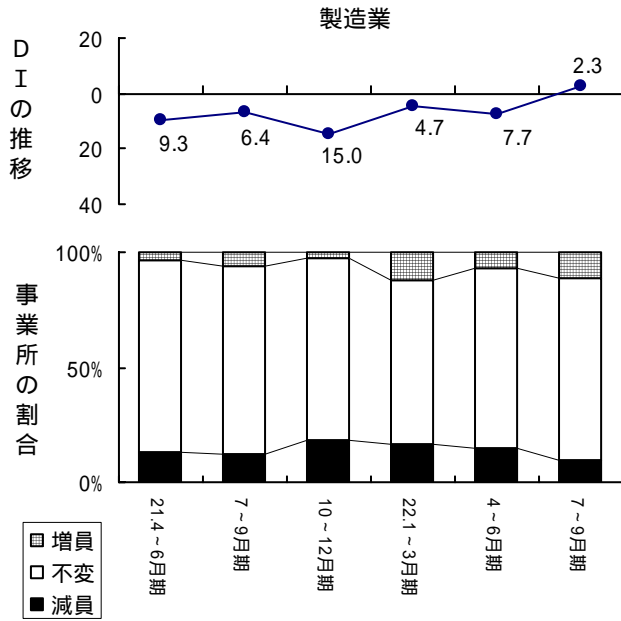
### 設問3 - 4 資金繰り



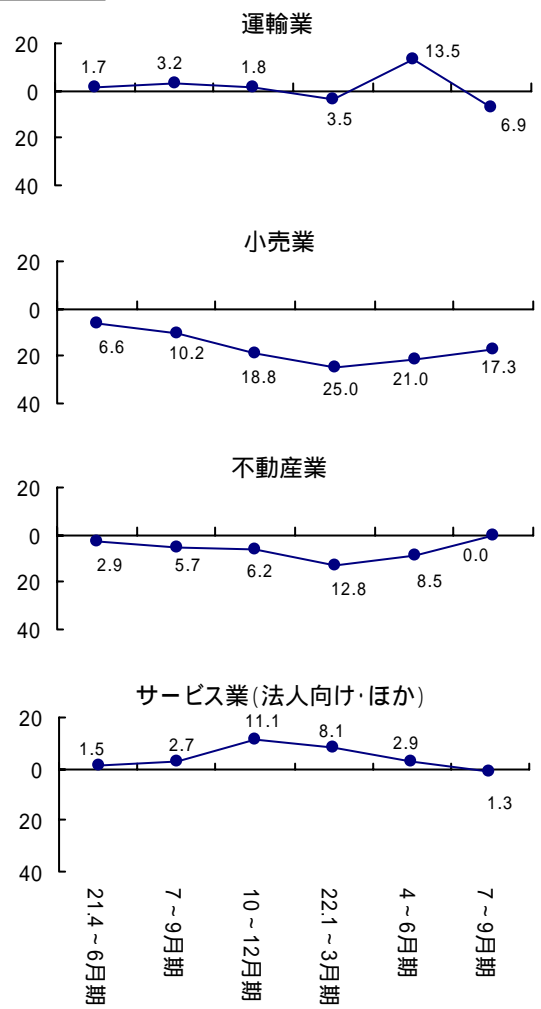
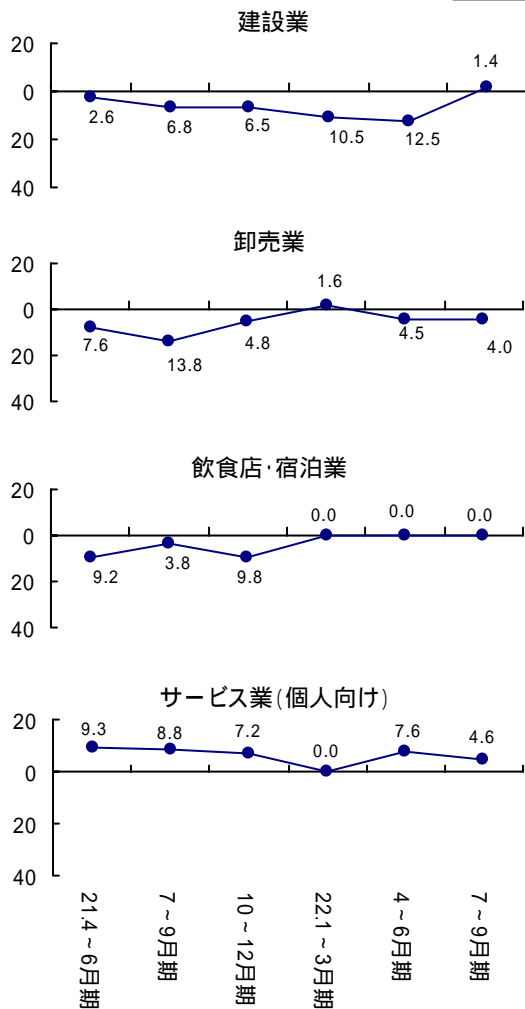
### 非製造業の内訳



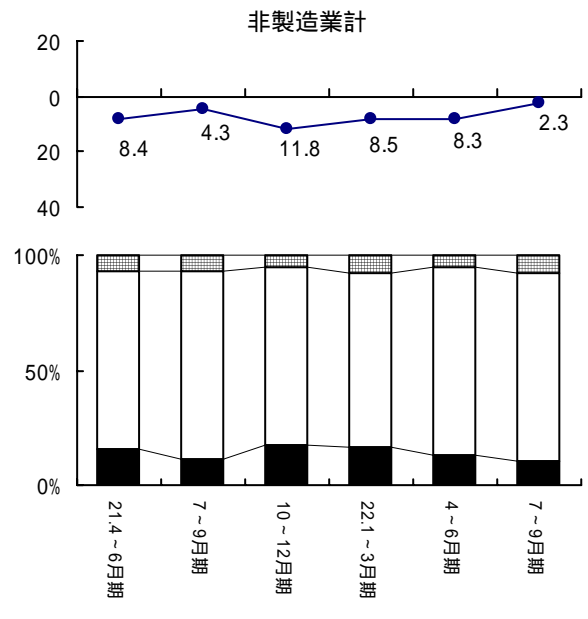
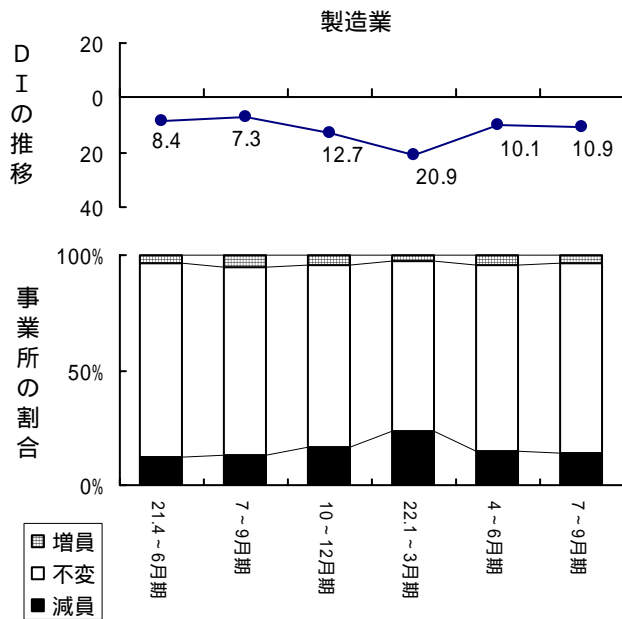
**設問4 - 1 正規従業員数**



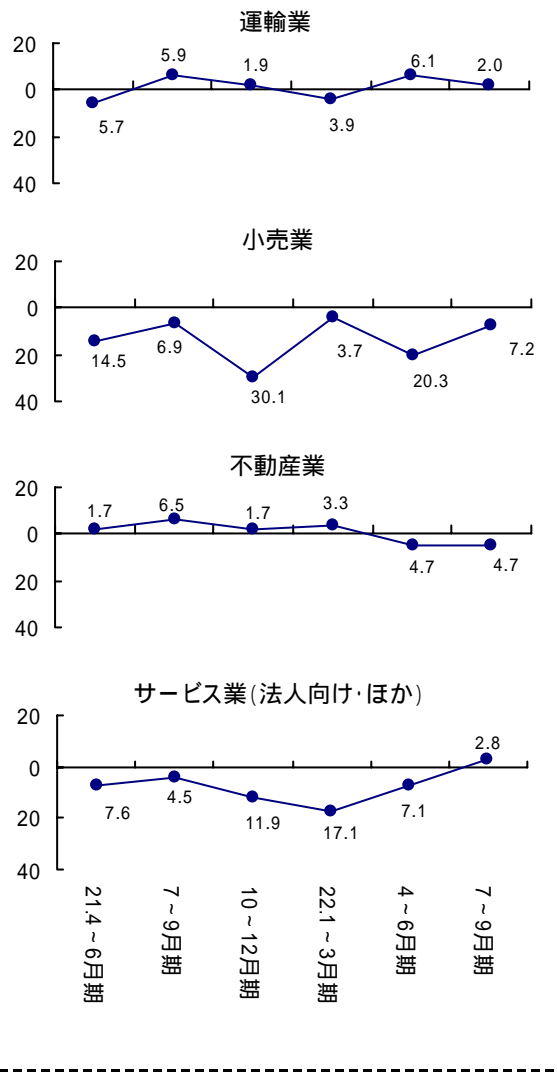
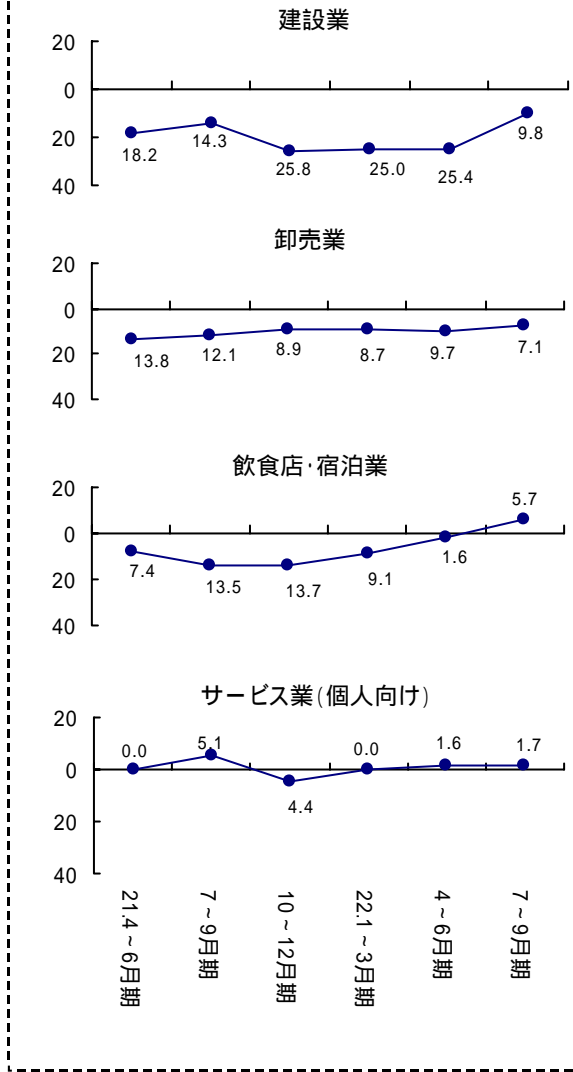
**非製造業の内訳**



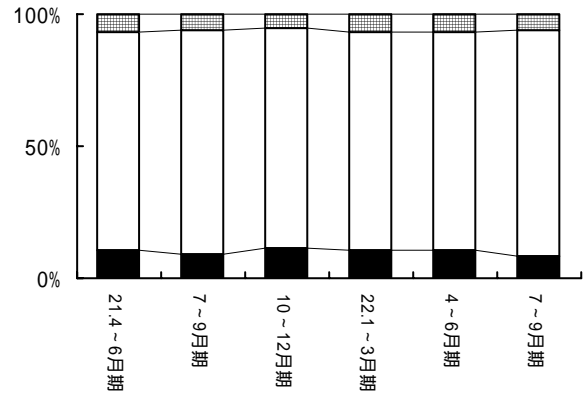
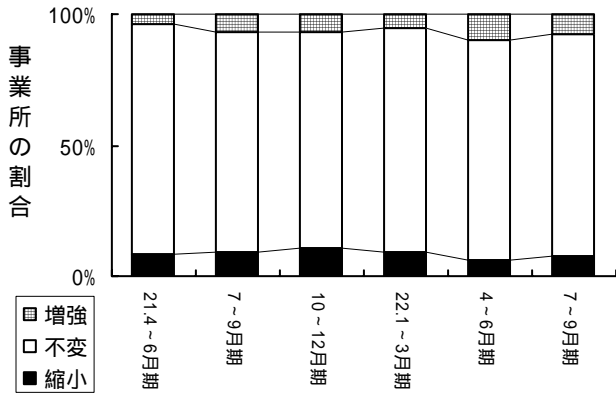
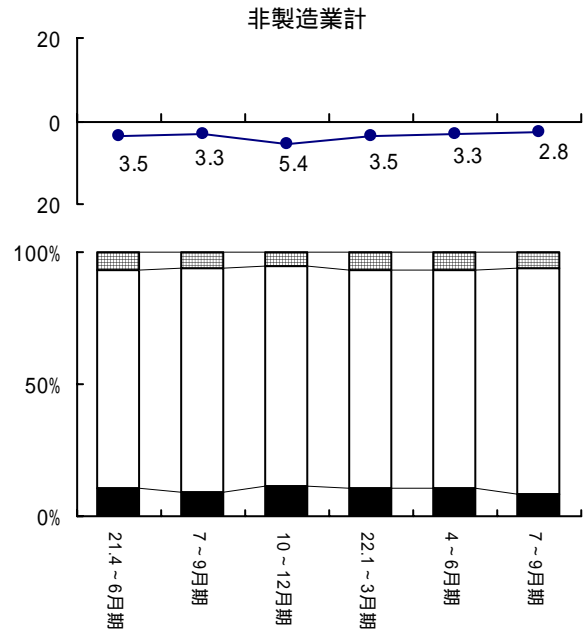
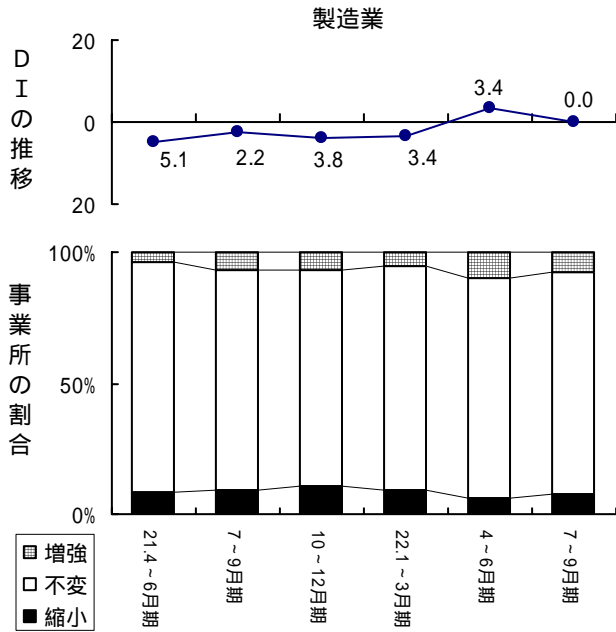
### 設問4 - 2 非正規従業員



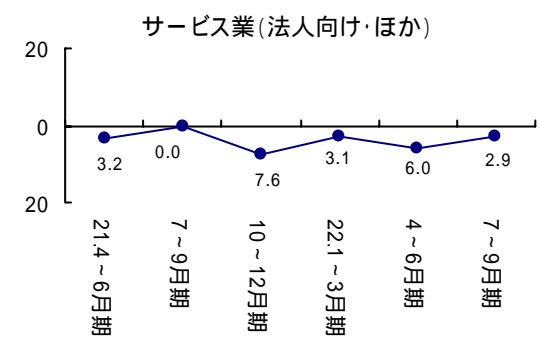
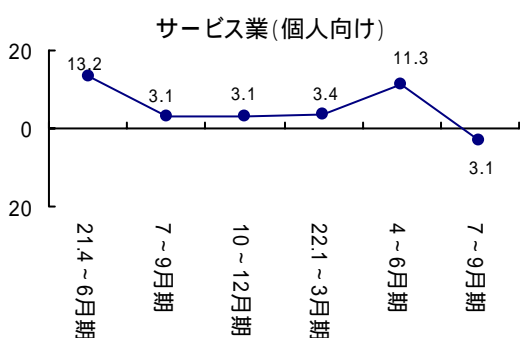
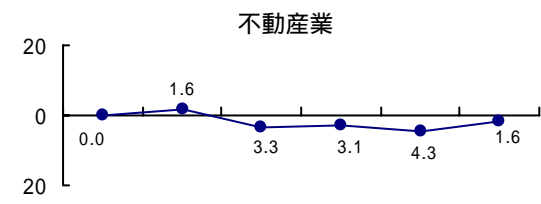
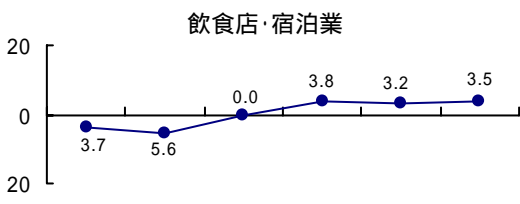
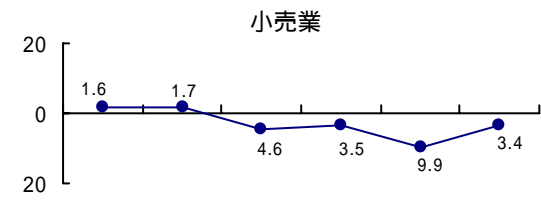
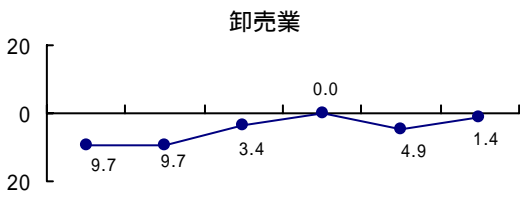
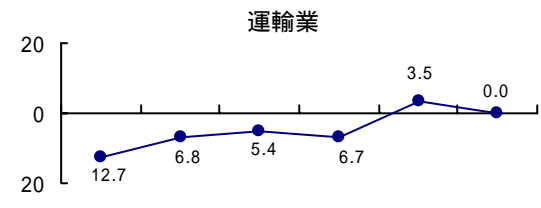
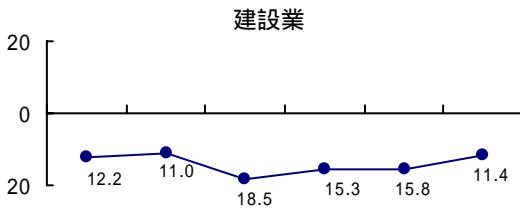
### 非製造業の内訳



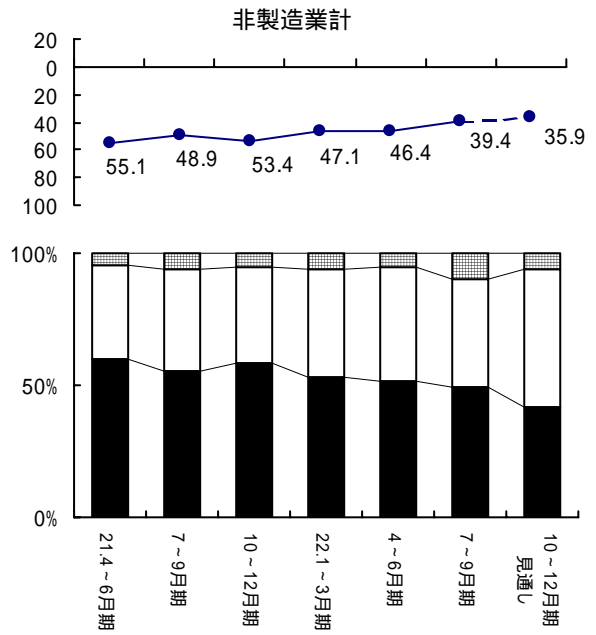
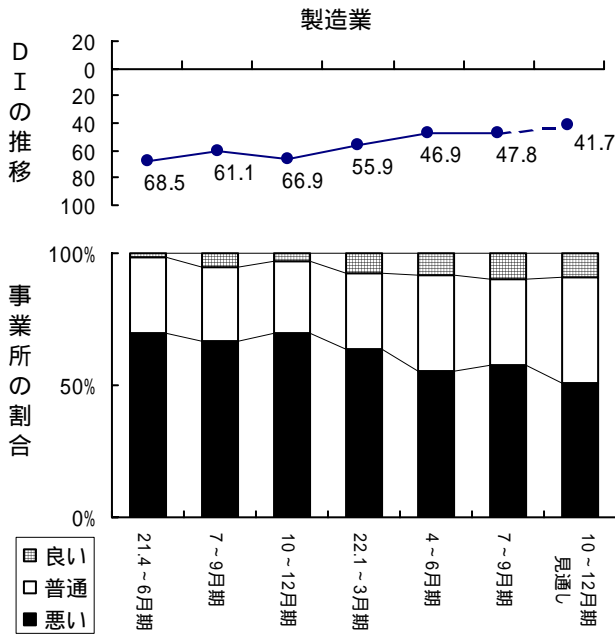
**設問4-3 生産・営業用設備(予定)**



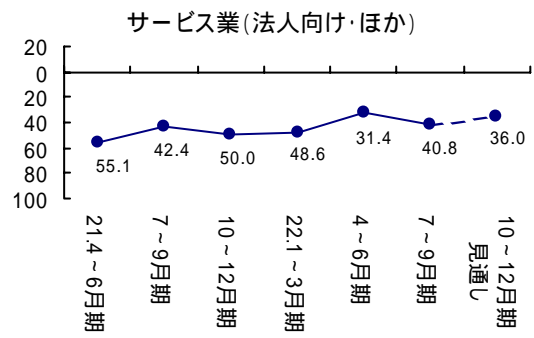
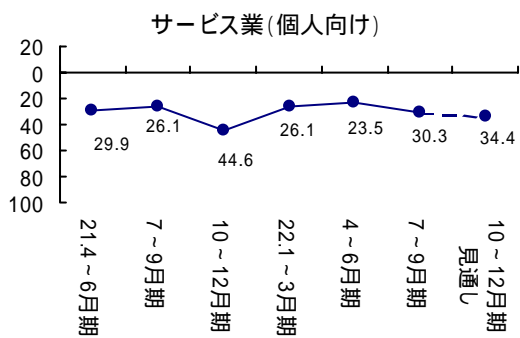
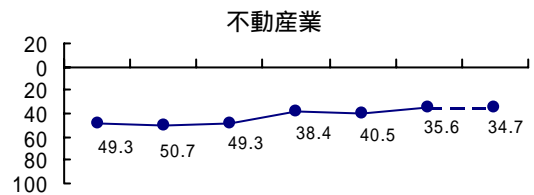
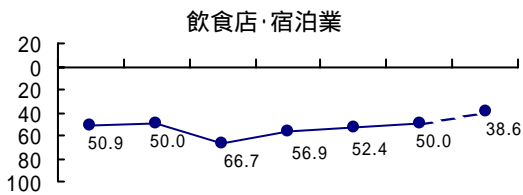
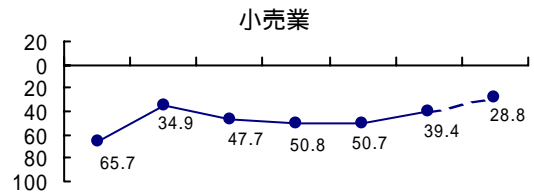
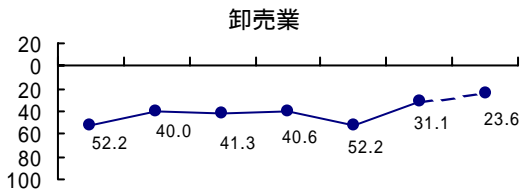
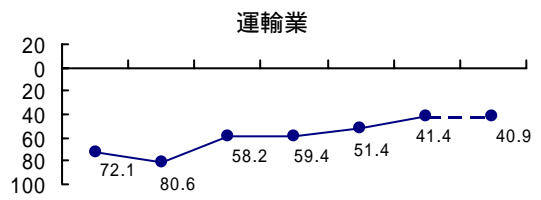
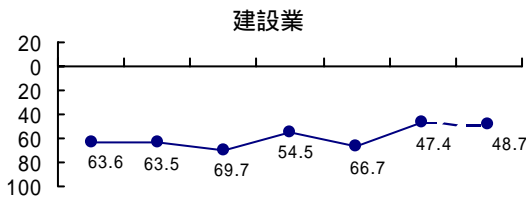
**非製造業の内訳**



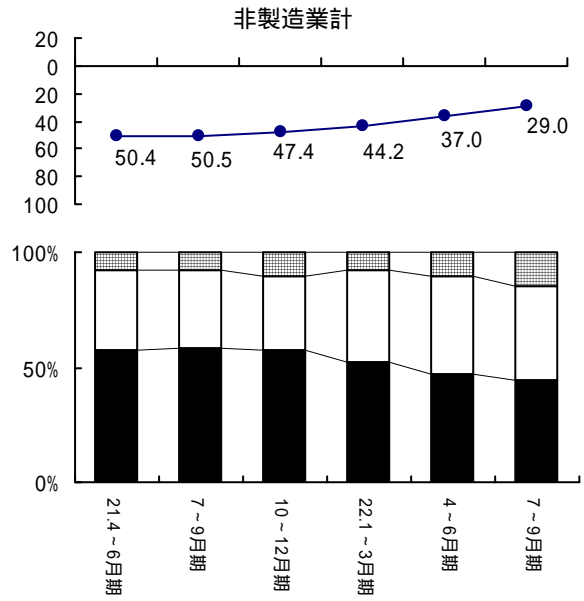
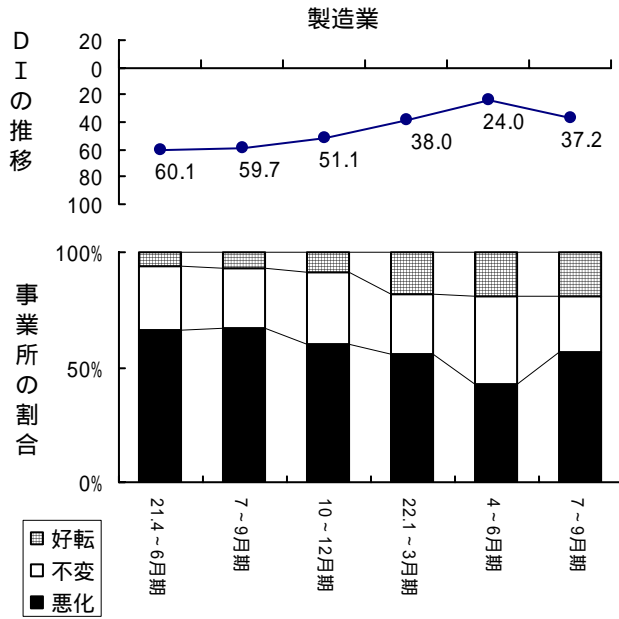
設問5 - 1 事業所の業況(業況の良し悪し)



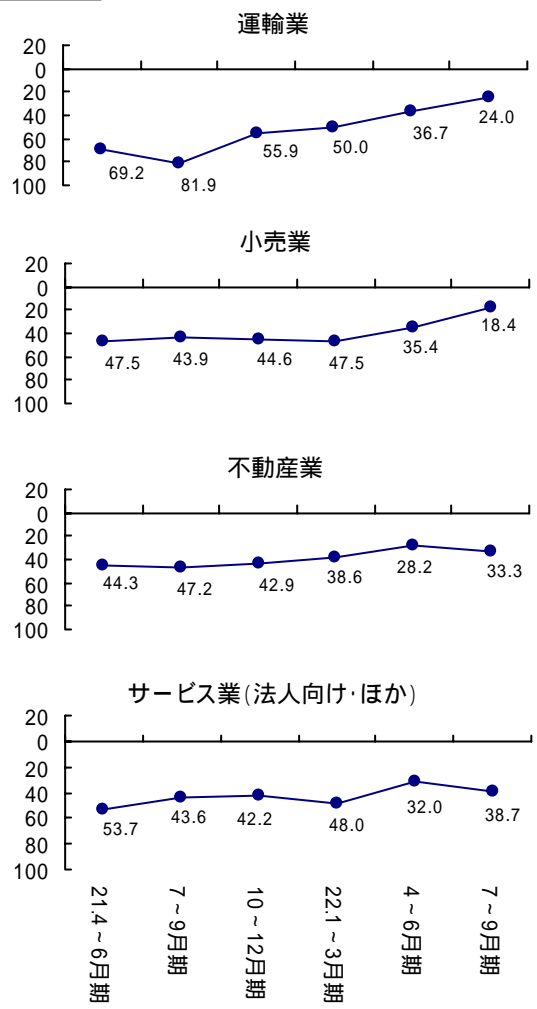
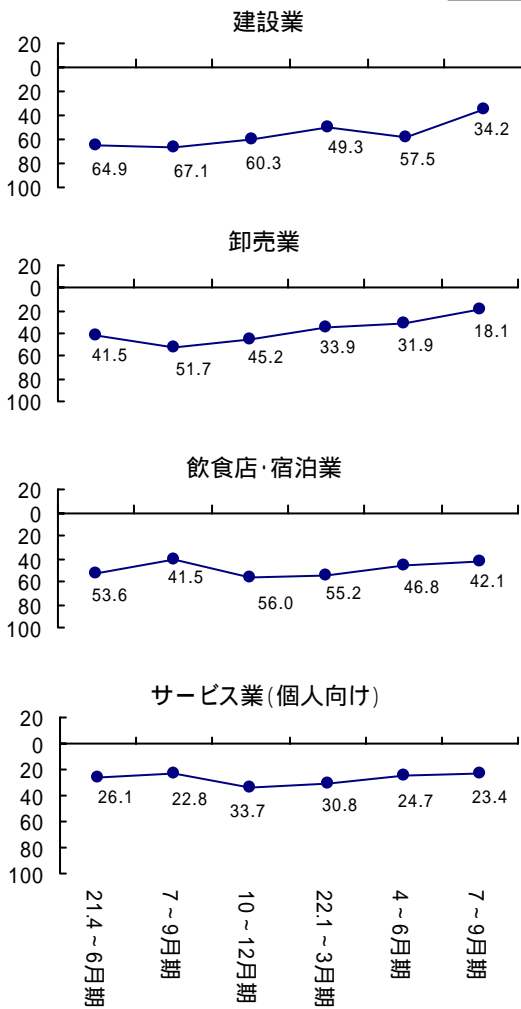
非製造業の内訳



設問6-1 事業所の業況(業況の変化)



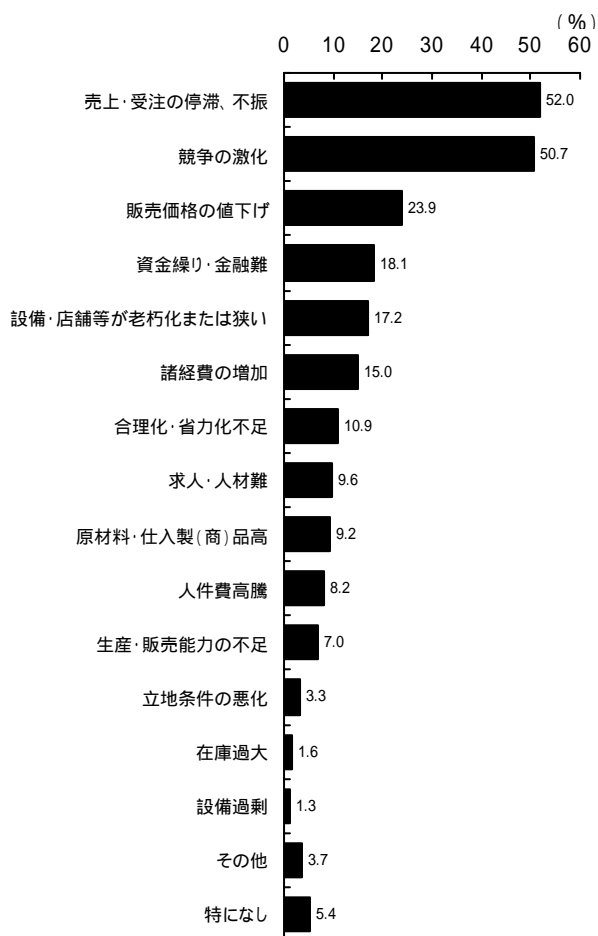
非製造業の内訳



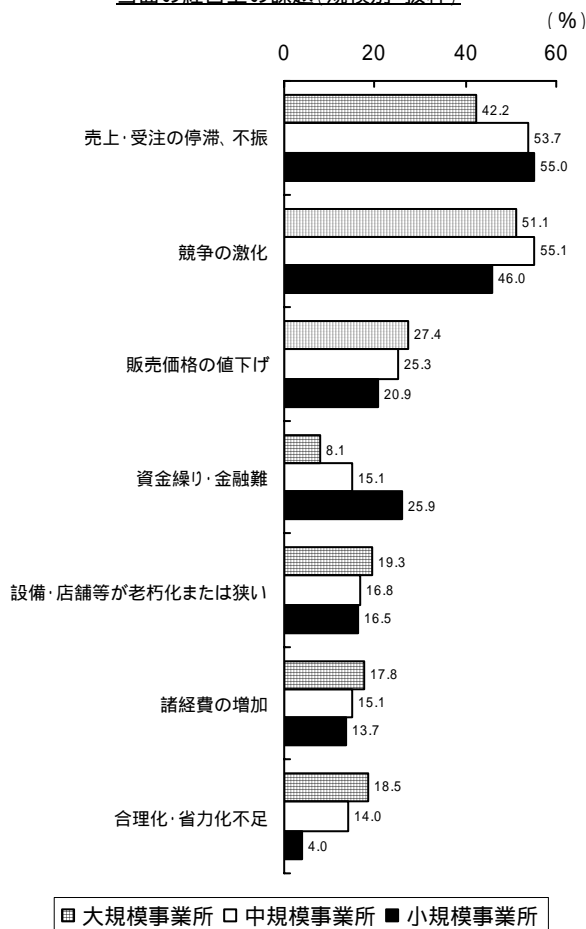


## 経営上の課題

当面の経営上の課題(全業種計)



当面の経営上の課題(規模別・抜粋)



当面の経営上の課題(業種別・抜粋)

製造業	非製造業
1 売上・受注の停滞、不振 (68.4%)	1 競争の激化 (52.2%)
2 競争の激化 (44.4%)	2 売上・受注の停滞、不振 (48.1%)
3 資金繰り (31.6%)	3 販売価格の値下げ (22.3%)

建設業	運輸業	卸売業
1 競争の激化 (83.1%)	1 競争の激化 (58.7%)	1 売上・受注の停滞、不振 (61.3%)
2 売上・受注の停滞、不振 (76.6%)	2 売上・受注の停滞、不振 (38.7%)	2 競争の激化 (60.0%)
3 販売価格の値下げ (29.9%)	3 諸経費の増加 (32.0%)	3 販売価格の値下げ (28.0%)

小売業	飲食店・宿泊業	不動産業
1 売上・受注の停滞、不振 (45.9%)	1 売上・受注の停滞、不振 (44.8%)	1 競争の激化 (42.7%)
2 競争の激化 (41.0%)	2 競争の激化 (36.2%)	2 売上・受注の停滞、不振 (29.3%)
3 設備・店舗等が老朽化または狭い (29.5%)	3 設備・店舗等が老朽化または狭い (32.8%)	3 設備・店舗等が老朽化または狭い (22.7%)

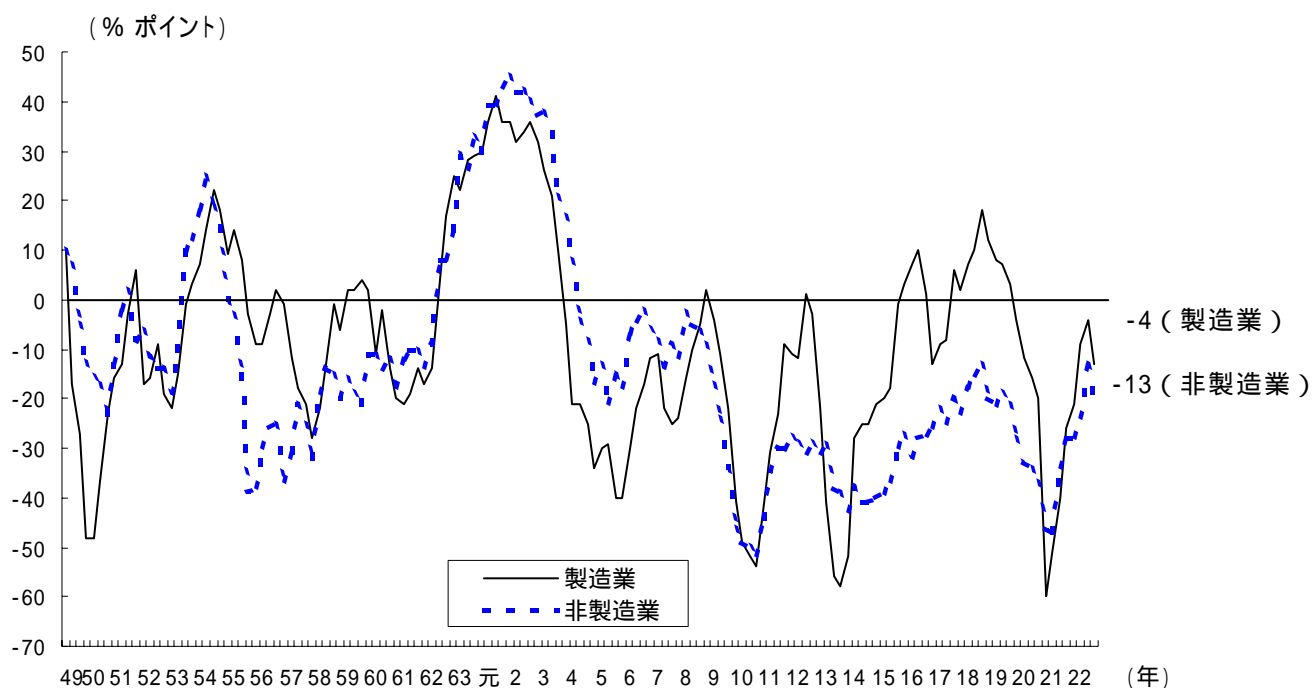
サービス業(個人向け)	サービス業(法人向け・ほか)
1 競争の激化 (30.9%)	1 売上・受注の停滞、不振 (59.2%)
2 設備・店舗等が老朽化または狭い (27.9%)	2 競争の激化 (56.6%)
3 売上・受注の停滞、不振 (25.0%)	3 販売価格の値下げ (26.3%)

## (2) 東北、全国の調査結果

### 東北

日本銀行仙台支店「全国企業短期経済観測調査結果 - 東北6県 - 」(平成22年9月29日)

東北地区の業況判断DIの推移(日銀仙台支店「全国企業短期経済観測調査結果 - 東北6県 - 」)



		前回 (H22.6) 調査		今回 (H22.9) 調査	
		最近	先行き	最近	先行き
製造業	大企業	7	14	14 ( 7) 1	4 ( 18) 2
	中堅・中小企業	11	9	2 ( 9)	12 ( 10)
	製造業計	9	6	1 ( 8)	12 ( 11)
非製造業	大企業	8	0	23 ( 15)	0 ( 23)
	中堅・中小企業	25	28	18 ( 7)	26 ( 8)
	非製造業計	24	27	16 ( 8)	25 ( 9)
全産業・全規模合計		18	19	10 ( 8)	19 ( 9)

DI値は、「良い」回答者構成比(%)から「悪い」回答者構成比(%)を差し引いた値。

値が小さいほど、業況判断は悪いということになる。 はマイナスを表す。

( )内は変化幅(差)を表す。 1は前回の「最近」と今回の「最近」との変化幅。

2は今回の「最近」と今回の「先行き」との変化幅。

日本銀行仙台支店「経済の動き」(平成22年10月6日)

東北地区6県(青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島)

## 概況

東北地域の景気は、持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資が前年を下回ったほか、設備投資は減少している。個人消費は、政策効果に加え、猛暑効果などもあって、持ち直しの動きがみられ始めている。また、住宅投資は、引き続き低調に推移しているものの、持家を中心に持ち直しの動きがみられている。この間、生産は、緩やかに回復している。こうした中、雇用情勢をみると、改善に向けた動きがみられている。消費者物価(除く生鮮食品)は、引き続き前年を下回って推移している。

### (1) 個人消費

個人消費は、政策効果に加え、猛暑効果などもあって、持ち直しの動きがみられ始めている。

### (2) 住宅投資

住宅投資は、引き続き低調に推移しているものの、持家を中心に持ち直しの動きがみられている。

### (3) 公共投資

公共投資は、前年を下回った。

公共工事請負金額は、市町村等からの発注が増加したものの、国・県の発注が減少したことから、全体では前年を下回った。

### (4) 生産

生産(鉱工業生産)は、緩やかに回復している。

### (5) 雇用・所得

雇用情勢をみると、改善に向けた動きがみられている。

### (6) 金融情勢

預金動向は、法人預金の伸び率が縮小しているものの、個人預金が堅調なほか、公金預金も伸びを高めていることから、全体でも前年を上回って推移している。

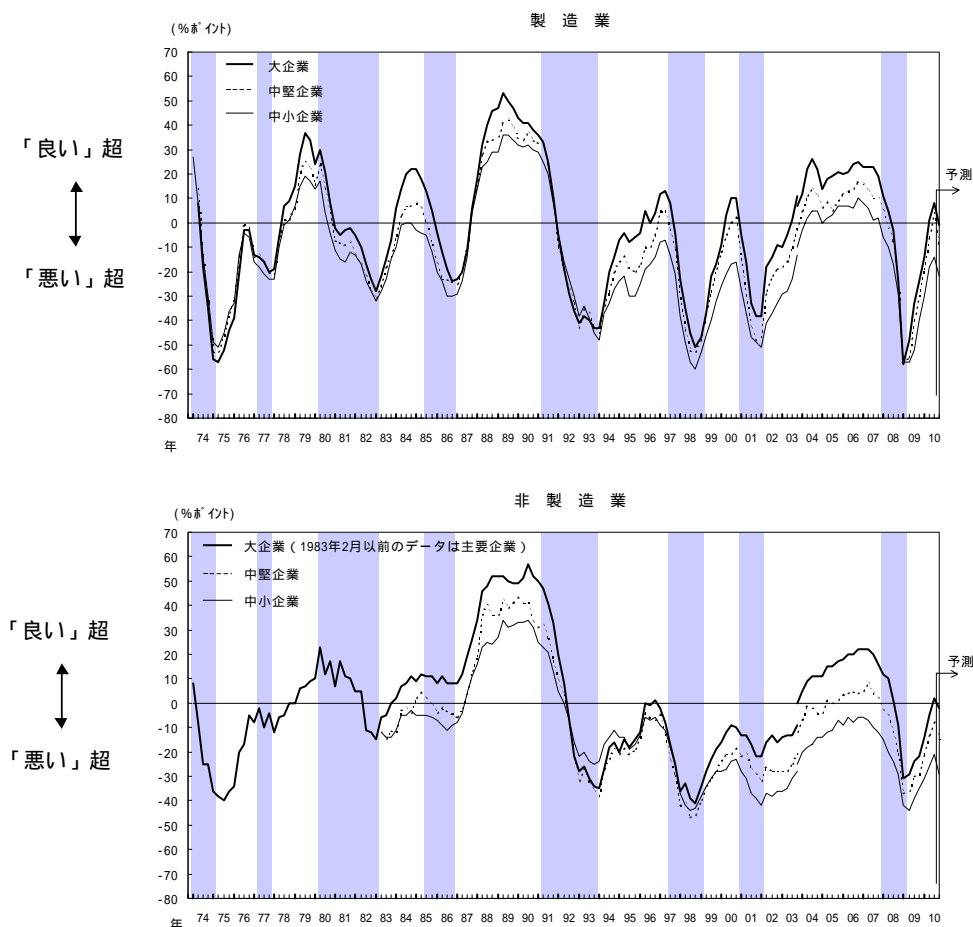
貸出動向は、法人向けが減少しているほか、個人向けが伸び悩んでいるものの、地方公共団体向けが増加していることから、概ね前年並みとなっている。この間、貸出金利は、低下している。

日本銀行仙台支店「経済の動き」「全国企業短期経済観測調査結果 - 東北地区6県 - 」  
についての詳しい情報は、日本銀行仙台支店のHP  
<http://www3.boj.or.jp/sendai/>  
を参照してください。

全国

日本銀行「企業短期経済観測調査」(平成22年9月29日)

業況判断の推移(日銀短観 上:製造業 下:非製造業)



(注) グラフ中の網掛けは、景気後退期(内閣府調べ)

業況判断D I (日銀短観:全国)

		前回(H22.6)調査		今回(H22.9)調査	
		最近	先行き	最近	先行き
製造業	大企業	1	3	8 ( 7 ) 1	1 ( 9 ) 2
	中堅企業	6	8	4 ( 10 )	10 ( 14 )
	中小企業	18	19	14 ( 4 )	22 ( 8 )
	製造業計	10	10	4 ( 6 )	13 ( 9 )
非製造業	大企業	5	4	2 ( 7 )	2 ( 4 )
	中堅企業	13	14	8 ( 5 )	15 ( 7 )
	中小企業	26	29	21 ( 5 )	29 ( 8 )
	非製造業計	19	20	13 ( 6 )	21 ( 8 )
全産業・全規模合計		15	16	10 ( 5 )	17 ( 7 )

D I 値は、「良い」回答者構成比(%)から「悪い」回答者構成比(%)を差し引いた値。

値が小さいほど、業況判断は悪いということになる。 はマイナスを表す。

( )内は変化幅(差)を表す。 1は前回の「最近」と今回の「最近」との変化幅。

2は今回の「最近」と今回の「先行き」との変化幅。

日本銀行「企業短期経済観測調査」についての詳しい情報は、日本銀行のHP

[http://www.boj.or.jp/type/stat/boj\\_stat/tk/](http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/tk/)

を参照してください。

(3) 主要経済指標

主要経済指標グラフ

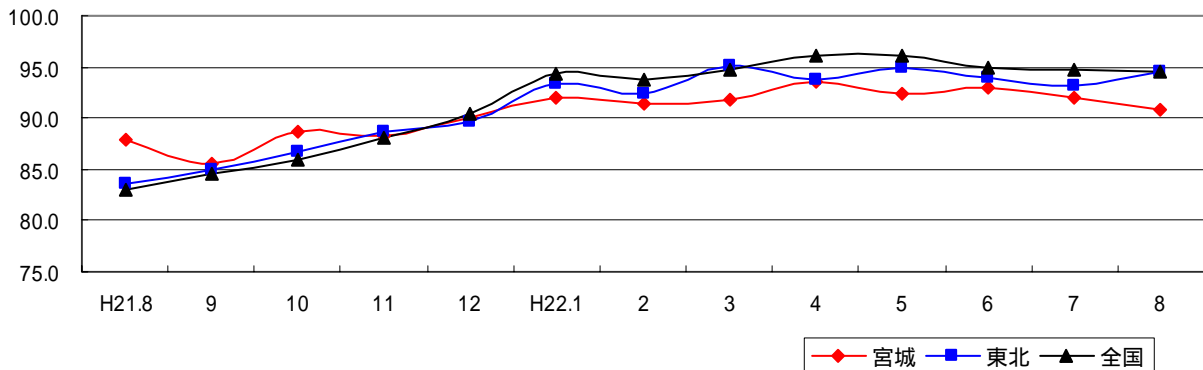
**鉱工業生産指数（宮城）**（資料：宮城県統計課）

宮城県における8月の鉱工業生産指数は平成17年を100として90.9となり、前月比で1.2%と2ヶ月連続の低下となった。前年同月比では4.8%と、10ヶ月連続の上昇となった。

業種別にみると、前月と比べて上昇した主な業種は「鉄鋼業（上昇率26.2%）」、「木材・木製品工業同（26.2%）」、「化学、石油・石炭製品（同20.8%）」、低下した主な業種は「輸送機械工業（低下率7.6%）」、「パルプ・紙・紙加工品工業（同5.4%）」、「電子部品・デバイス工業（同4.5%）」となっている。

(平成17年 = 100.0)

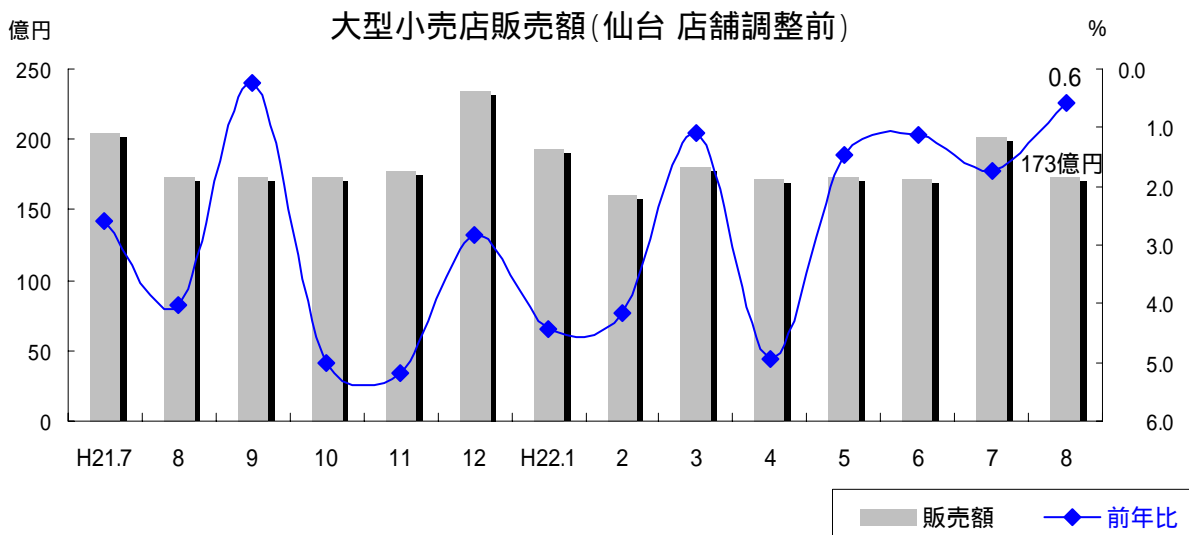
鉱工業生産指数(平成17年 = 100)季節調整値



指数 区分	季節調整済指数			原指数		
	22年7月	22年8月	前月比(%)	21年8月	22年8月	前年同月比(%)
宮城県	92.0	90.9	1.2	84.1	88.1	4.8
東北	93.2	94.6	1.5	79.4	91.2	14.9
全国	94.8	94.5	0.3	78.0	90.0	15.4

**大型小売店販売額（仙台）**（資料：経済産業省）

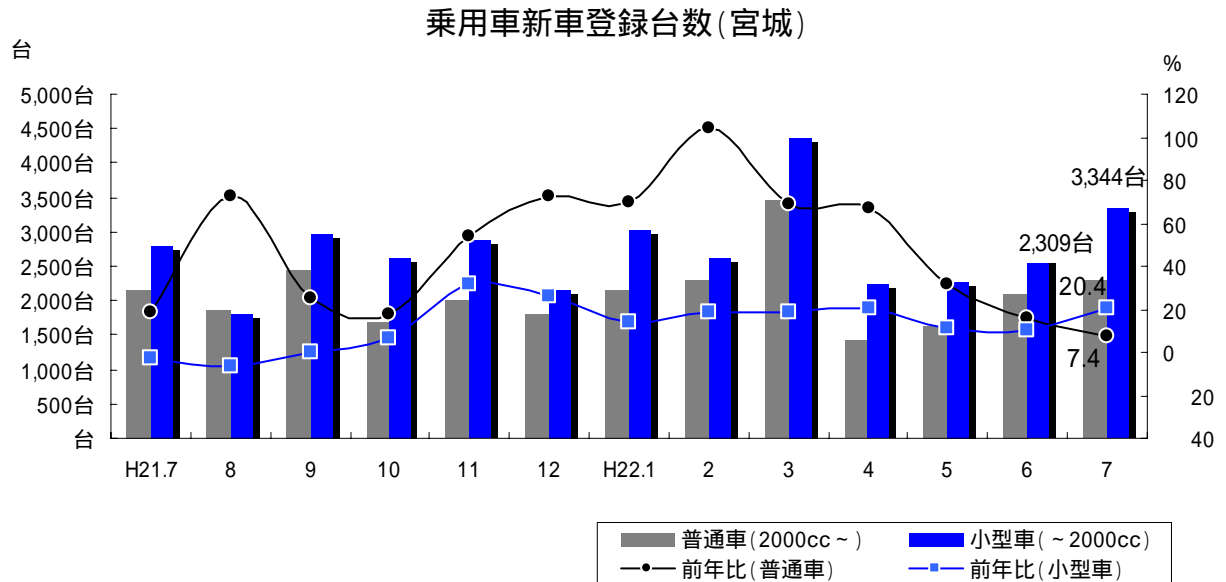
百貨店＋スーパー 8月の、百貨店とスーパーの販売額の合計金額は173億円で、前年同月比で0.6%の減少となった。



### 乗用車新車登録台数（宮城）

（資料：自動車販売協会連合会宮城県支部）

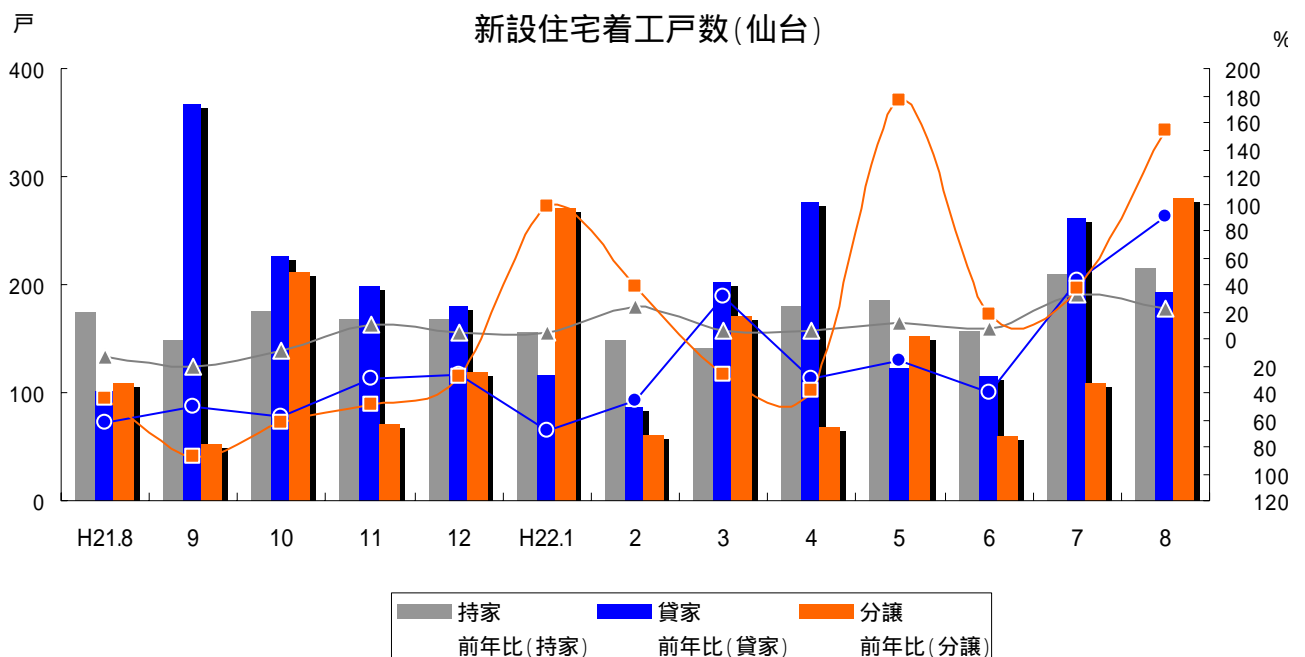
7月の乗用車新車登録台数は5,653台で、前年同月比で14.8%の増加となった。排気量2,000ccを超える普通車は2,309台で前年同月比7.4%の増加、2,000cc以下の小型車は3,344台で前年同月比20.4%の増加となっている。



### 新設住宅着工戸数（仙台）

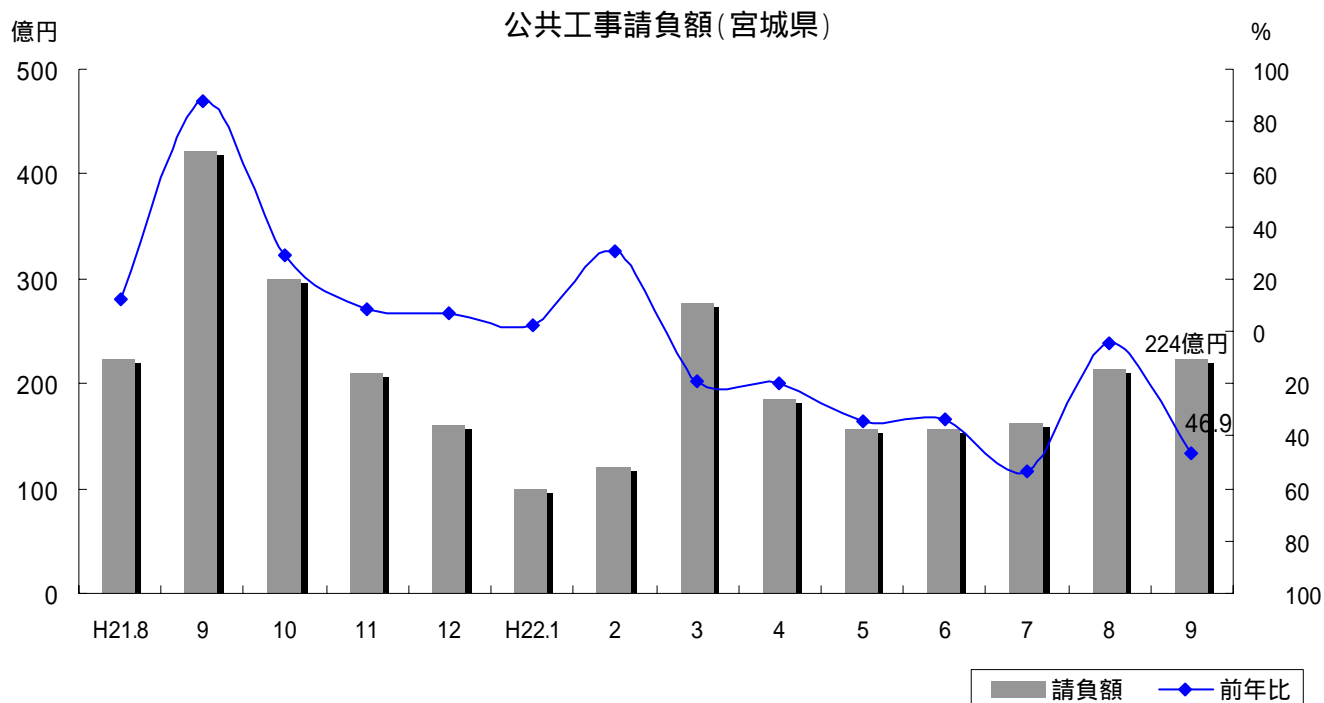
（資料：(財)建設物価調査会）

8月の新設住宅着工戸数は721戸で、前年同月比で86.8%の増加となった。主な利用関係別についてみると、「持家」が215戸で前年比22.9%の増加、「貸家」は193戸で前年比91.1%の増加、「分譲」は280戸で前年比154.5%の増加となった。



## 公共工事請負額（宮城）（資料：東日本建設業保証（株））

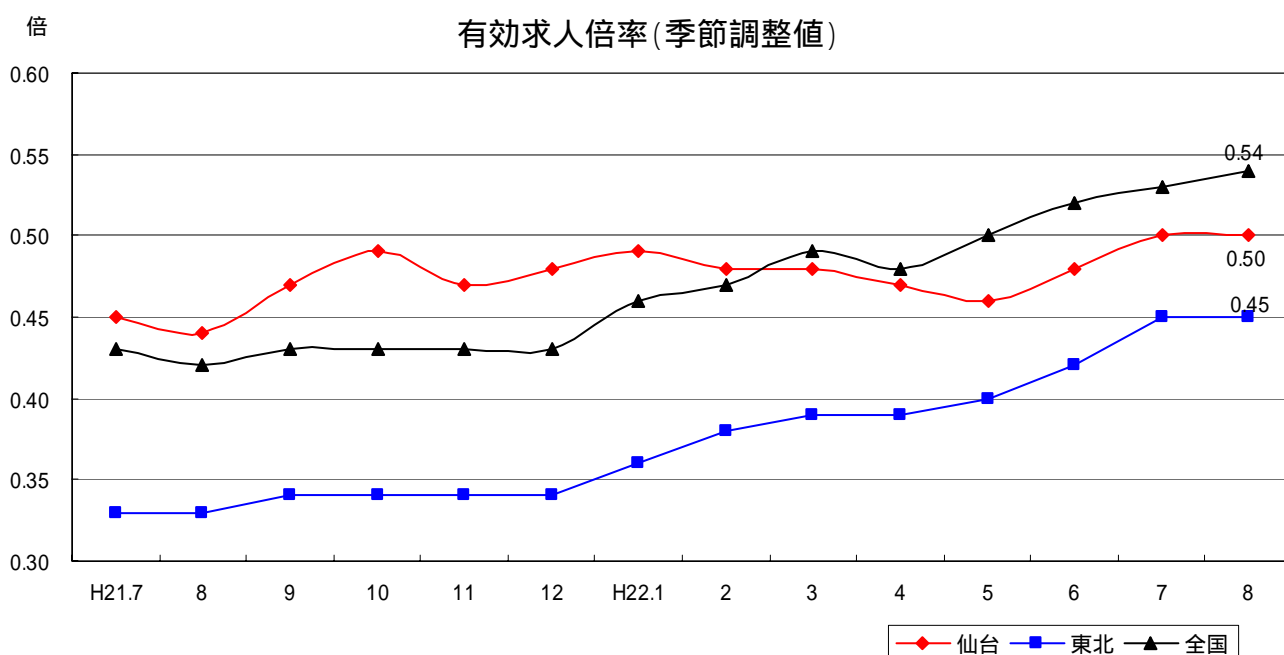
9月の公共工事請負額（宮城県内）は224億円で、前年同月比で46.9%の減少となった。



## 有効求人倍率（仙台及び周辺市町村）（資料：仙台公共職業安定所）

8月の仙台(ハローワークプラザ青葉および仙台学生職業センター取り扱い分)の有効求人倍率(当課の推計 パートを含む 季節調整値)は0.50倍で、前月と同じとなった。

有効求人倍率の仙台については、平成20年3月分より、ハローワークプラザ青葉取り扱い分と仙台学生職業センター取り扱い分を含めています。

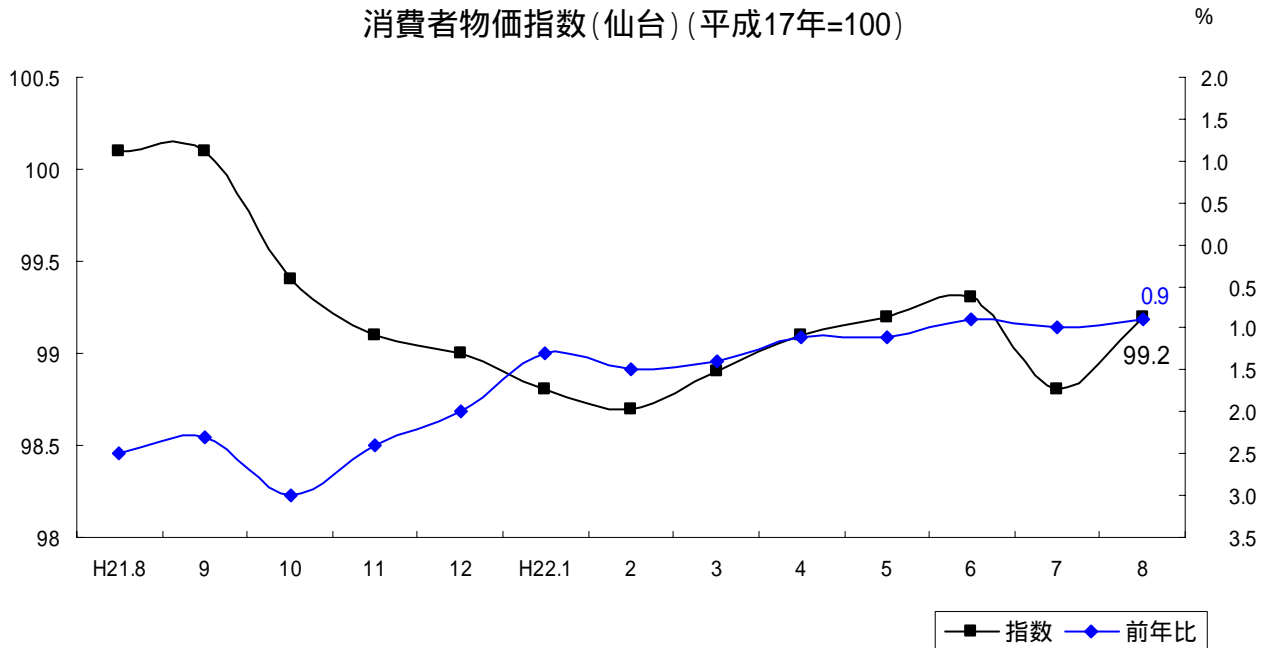


## 消費者物価指数（仙台）（資料：宮城県統計課）

8月の消費者物価総合指数は、平成17年を100として99.2となり、前月と比べ0.4%の上昇となった。また、前年同月比では0.9%の下落となった。

10大費目別に前年同月比をみると、光熱・水道などが上昇し、教育、家具・家事用品、被服及び履物などが下落した。

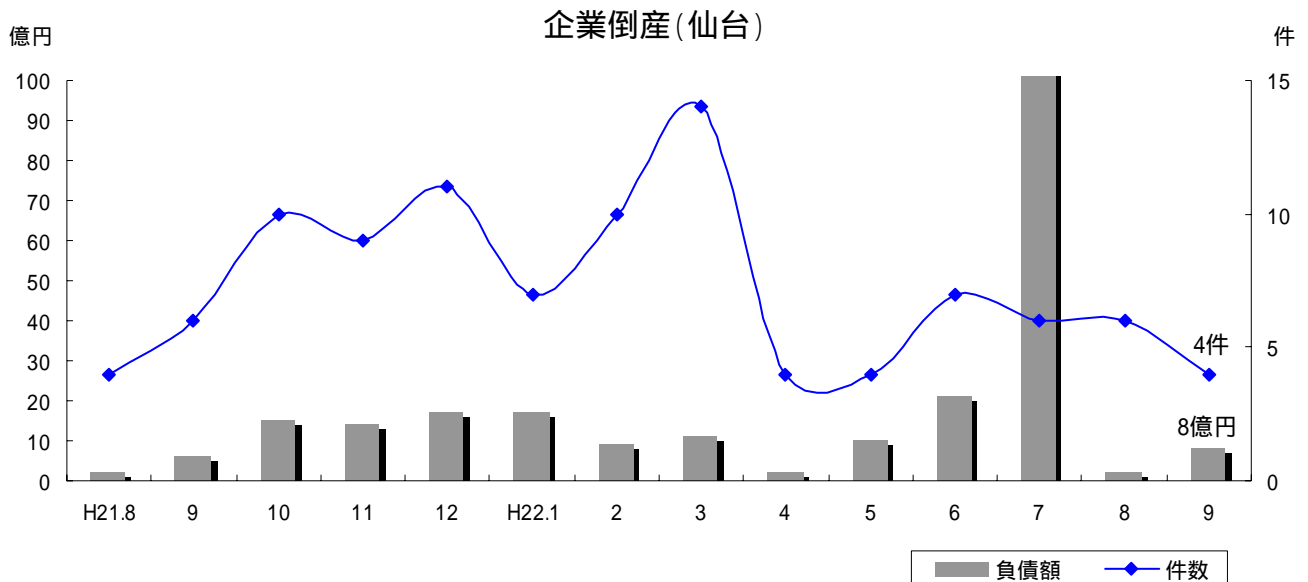
消費者物価指数（仙台）（平成17年=100）



## 企業倒産（仙台）（資料：(株)東京商工リサーチ）

9月の負債額1,000万円以上の倒産件数は4件、負債総額は約8億円となった。これは前年同月比で、件数は2件の減少、負債総額は約2億円の増加となっている。

企業倒産（仙台）





主要経済指標一覧表

	生産									個人消費					
	鉱工業生産指数(平成17年=100) (季節調整済,前年比は原指数)									大型小売店販売額(前年比は店舗調整前) (百貨店)					
	全国			東北			宮城			全国		東北		仙台	
	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	販売額 (億円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)
平成17年	100.0	-	1.3	100.0	-	1.3	100.0	-	2.0	87,629	1.0	320,221	2.9	120,432	2.0
平成18年	104.5	-	4.5	103.8	-	3.8	105.8	-	5.8	86,440	1.4	304,892	4.8	110,282	8.4
平成19年	107.4	-	2.8	108.6	-	4.6	106.3	-	0.5	84,652	2.1	281,266	7.7		-
平成20年	103.8	-	3.4	103.0	-	5.2	102.2	-	3.9	80,787	4.6	266,526	5.2		-
平成21年	81.1	-	21.9	81.3	-	21.1	82.6	-	19.2	71,772	11.2	235,591	11.6		-
21年1月～3月	74.2	20.0	34.6	74.0	20.3	34.2	74.4	18.3	31.7	18,114	11.5	61,518	12.5	20,480	-
4月～6月	79.0	6.5	27.4	79.0	6.8	26.5	80.5	8.2	24.7	16,992	11.6	54,556	12.9		-
7月～9月	83.2	5.3	19.4	83.4	5.6	18.0	86.1	7.0	16.8	16,913	11.0	55,621	11.0		-
10月～12月	88.1	5.9	4.3	88.4	6.0	3.6	89.0	3.4	1.5	19,753	10.6	63,897	10.1		-
22年1月～3月	94.3	7.0	27.5	93.6	5.9	26.9	91.7	3.0	23.5	16,887	6.8	57,090	7.2		-
4月～6月	95.7	1.5	21.0	94.2	0.6	19.2	93.0	1.4	15.3	15,998	5.8	51,274	6.0		-
平成21年4月	76.3	4.5	31.0	76.5	4.8	30.4	79.0	9.1	26.7	5,611	12.0	18,295	14.3		-
5月	79.8	4.6	29.0	79.2	3.5	28.5	80.0	1.3	27.7	5,589	12.7	18,313	12.3		-
6月	81.0	1.5	22.5	81.4	2.8	20.7	82.4	3.0	19.7	5,792	10.1	17,948	11.9		-
7月	81.9	1.1	22.3	81.8	0.5	21.4	85.0	3.2	18.4	6,730	12.8	21,406	10.6		-
8月	83.1	1.5	18.3	83.5	2.1	16.6	87.8	3.3	15.6	4,995	10.3	17,183	12.8		-
9月	84.6	1.8	17.5	84.9	1.7	15.9	85.5	2.6	16.4	5,189	9.5	17,032	9.8		-
10月	85.9	1.5	14.4	86.8	2.2	12.5	88.7	3.7	11.7	5,585	12.3	18,299	13.2		-
11月	88.1	2.6	2.9	88.7	2.2	3.8	88.3	0.5	0.5	6,117	13.5	19,941	9.7		-
12月	90.4	2.6	6.4	89.6	1.0	7.9	90.0	1.9	8.8	8,053	7.0	25,656	8.1		-
平成22年1月	94.3	4.3	18.9	93.3	4.1	17.5	91.9	2.1	18.9	6,209	7.4	20,396	8.4		-
2月	93.7	0.6	31.3	92.4	1.0	31.0	91.5	0.4	22.8	4,763	7.4	15,985	8.5		-
3月	94.8	1.2	31.8	95.1	2.9	32.1	91.8	0.3	28.3	5,915	5.6	20,709	5.0		-
4月	96.0	1.3	25.9	93.8	1.4	22.6	93.6	2.0	18.6	5,276	6.0	17,119	6.4		-
5月	96.1	0.1	20.4	94.9	1.2	19.8	92.4	1.3	14.9	5,360	4.1	17,207	6.0		-
6月	95.0	1.1	17.3	94.0	0.9	15.5	92.9	0.5	12.7	5,363	7.4	16,947	5.6		-
7月	94.8	0.2	14.2	93.2	0.9	12.3	92.0	1.0	7.0	6,514	3.2	20,631	3.6		-
8月	94.5	0.3	15.4	94.6	1.5	14.9	90.9	1.2	4.8	4,743	5.0	16,121	6.2		-
9月															
資料	経済産業省			東北経済産業局			宮城県			経済産業省					

大型小売店販売額の仙台市の平成21年4月から平成22年8月までの数値は、百貨店・スーパーを合算したものを次項スーパーの欄に記載しています。

個人消費

大型小売店販売額(前年比は店舗調整前) (スーパー)						乗用車新車登録台数									
全国		東北		仙台		全国		東北		宮城					
販売額 (億円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)	総数 (台)	前年比 (%)	総数 (台)	前年比 (%)	総数 (台)	前年比 (%)	普通車 (台)	前年比 (%)	小型車 (台)	前年比 (%)
125,654	0.4	898,239	1.5	124,673	1.7	3,353,586	0.7	229,038	2.7	61,471	2.7	20,013	11.1	41,458	2.0
125,010	0.5	905,903	0.9	131,540	5.5	3,126,236	6.8	213,513	6.8	57,930	5.8	19,498	2.6	38,432	7.3
127,336	1.9	921,266	1.7	234,370	3.1	2,945,665	5.8	198,114	7.2	54,143	6.5	20,477	5.0	33,666	12.4
128,724	1.1	934,565	1.4	230,881	1.5	2,793,625	5.2	188,661	4.8	51,411	5.0	19,738	3.6	31,673	5.9
125,986	2.1	926,428	0.9	221,918	3.9	2,634,058	5.7	186,368	1.2	50,409	1.9	20,242	2.6	30,167	4.8
30,987	1.8	231,679	0.7	34,642	-	632,321	30.7	45,119	28.1	12,966	26.0	4,444	35.0	8,522	20.3
31,183	0.8	228,460	0.3	53,070	-	525,145	17.1	37,416	12.5	10,312	7.3	3,874	9.5	6,438	6.0
31,077	2.2	232,184	0.6	55,242	-	739,097	5.3	53,513	15.1	14,016	11.1	6,454	33.1	7,562	2.7
32,766	3.6	234,106	2.4	58,590	-	737,495	35.1	50,320	37.5	13,115	29.4	5,470	45.2	7,645	20.0
30,114	2.8	226,051	2.4	53,332	-	889,020	40.6	63,883	41.6	17,885	37.9	7,906	77.9	9,979	17.1
30,756	1.3	225,446	1.3	51,725	-	672,557	28.1	49,052	31.1	12,435	20.6	5,111	31.9	7,324	13.8
10,343	0.8	76,440	0.3	18,100	-	146,229	27.2	10,863	24.0	2,707	23.6	848	34.9	1,859	17.0
10,591	0.5	77,798	1.9	17,622	-	159,410	16.2	11,893	6.8	3,263	4.0	1,229	5.9	2,034	2.8
10,230	2.2	74,222	1.4	17,348	-	219,506	9.4	14,660	6.6	4,342	3.7	1,797	7.4	2,545	1.2
10,627	2.9	76,498	1.1	20,466	-	265,811	0.5	19,824	12.1	4,926	5.4	2,149	18.4	2,777	2.8
10,709	2.3	83,816	1.2	17,410	-	179,581	8.4	13,072	18.6	3,665	21.3	1,853	72.4	1,812	6.9
9,751	1.1	71,869	0.7	17,367	-	293,705	9.2	20,617	15.8	5,425	10.2	2,452	25.2	2,973	0.2
10,025	2.7	72,120	1.7	17,325	-	240,169	18.8	17,497	22.0	4,305	10.3	1,680	17.5	2,625	6.2
10,098	6.1	71,967	4.8	17,840	-	267,706	44.0	18,572	45.3	4,863	39.7	1,998	54.2	2,865	31.2
12,639	2.3	90,018	1.0	23,424	-	229,620	45.4	14,251	50.4	3,947	43.3	1,792	72.1	2,155	25.7
10,938	3.7	83,770	3.1	19,278	-	218,775	42.7	16,126	44.9	5,162	31.6	2,152	69.6	3,010	13.5
9,260	1.2	69,526	0.9	15,959	-	268,720	38.9	17,566	43.0	4,904	47.5	2,288	103.9	2,616	18.8
9,916	3.2	72,755	3.1	18,096	-	401,525	40.6	30,191	39.1	7,819	36.7	3,466	68.8	4,353	18.7
10,187	1.5	75,498	1.2	17,206	-	200,252	36.9	14,930	37.4	3,655	35.0	1,413	66.6	2,242	20.6
10,297	2.8	75,135	3.4	17,365	-	206,933	29.8	14,715	23.7	3,886	19.1	1,616	31.5	2,270	11.6
10,272	0.4	74,813	0.8	17,155	-	265,372	20.9	19,407	32.4	4,894	12.7	2,082	15.9	2,812	10.5
10,676	0.5	76,463	0.0	20,107	-	307,015	15.5	21,552	8.7	5,653	14.8	2,309	7.4	3,344	20.4
10,757	0.4	84,633	1.0	17,307	-										
経済産業省						(社)日本自動車販売協会連合会									

	家計消費						住宅投資							
	1世帯あたり消費支出(全世帯) (前年比は名目値)						新設住宅着工戸数							
	全国		東北		仙台		全国		東北		仙台			
	支出額 (円)	前年比 (%)	支出額 (円)	前年比 (%)	支出額 (円)	前年比 (%)	総数		総数		総数		持家	
戸数							前年比 (%)	戸数	前年比 (%)	戸数	前年比 (%)	戸数	前年比 (%)	
平成17年	300,531	0.8	286,825	2.2	319,309	5.3	1,236,175	4.0	64,617	0.2	12,904	18.4	2,293	5.3
平成18年	294,943	1.9	274,927	4.1	289,537	9.3	1,290,391	4.4	67,005	3.7	14,937	15.8	2,353	2.6
平成19年	297,782	1.0	289,345	5.2	306,736	5.9	1,060,741	17.8	56,511	15.7	12,502	16.3	2,087	11.3
平成20年	296,932	0.3	285,636	1.3	292,660	4.6	1,093,485	3.1	52,096	7.8	8,804	29.6	1,914	8.3
平成21年	291,737	1.7	278,708	2.4	288,513	1.4	788,410	27.9	40,271	22.7	5,870	33.3	1,877	1.9
21年1月～3月	289,388	3.5	279,537	9.4	263,873	26.1	199,619	21.4	9,155	15.4	1,505	27.0	401	6.1
4月～6月	289,702	1.3	279,214	3.2	317,887	2.5	197,271	31.9	10,760	21.5	1,429	30.7	483	11.3
7月～9月	284,387	2.1	261,245	1.3	275,849	5.7	186,904	35.8	10,098	28.5	1,377	35.2	480	19.2
10月～12月	303,472	0.3	294,833	3.8	296,442	11.1	204,616	20.9	10,258	23.7	1,559	36.2	513	1.0
22年1月～3月	291,024	0.4	293,698	5.1	283,473	7.4	186,486	6.6	7,954	13.1	1,352	10.2	444	10.7
4月～6月	285,735	1.4	273,176	2.2	291,247	8.4	195,167	1.1	10,097	6.2	1,322	7.5	523	8.3
平成21年4月	306,340	1.4	302,350	4.1	333,888	5.6	66,198	32.4	3,613	20.0	669	3.7	169	168.3
5月	285,530	0.9	275,251	1.2	319,330	2.9	62,805	30.8	3,531	17.3	369	53.8	166	10.3
6月	277,237	1.7	260,040	6.6	300,443	12.1	68,268	32.4	3,616	26.5	391	51.0	148	20.4
7月	285,078	4.7	275,779	3.8	268,275	1.9	65,974	32.1	3,436	26.0	420	26.7	157	23.8
8月	290,972	0.1	262,654	5.2	291,177	10.5	59,749	38.3	3,337	23.6	386	44.5	175	13.4
9月	277,110	1.5	245,316	2.8	268,096	9.2	61,181	37.0	3,325	35.0	571	33.4	148	20.4
10月	287,789	1.3	265,505	1.1	273,026	4.8	67,120	27.1	3,314	37.1	613	52.9	176	9.3
11月	284,740	0.0	275,191	6.5	298,789	20.6	68,198	19.1	3,441	12.8	480	16.1	168	10.5
12月	337,887	0.3	343,803	5.7	317,512	8.7	69,298	15.7	3,503	17.1	466	18.0	169	4.3
平成22年1月	291,918	0.2	279,816	3.3	287,288	3.6	64,951	8.1	2,838	13.0	543	17.6	156	4.0
2月	261,163	1.8	278,032	11.1	258,044	6.1	56,527	9.3	2,336	11.2	296	9.2	148	24.4
3月	319,991	3.0	323,247	1.8	305,087	12.5	65,008	2.4	2,780	14.8	513	1.3	140	6.1
4月	299,996	2.1	290,353	4.0	321,955	3.6	66,568	0.6	3,088	14.5	525	21.5	179	5.9
5月	280,714	1.7	272,975	0.8	291,312	8.8	59,911	4.6	3,475	1.6	465	26.0	186	12.0
6月	276,494	0.3	256,200	1.5	260,473	13.3	68,688	0.6	3,534	2.3	332	15.1	158	6.8
7月	285,274	0.1	286,544	3.9	285,564	6.4	68,785	4.3	3,703	7.8	580	38.1	209	33.1
8月	293,361	0.8	282,175	7.4	291,569	0.1					721	86.8	215	22.9
9月														
資料	総務省						国土交通省							

住宅投資				公共投資				雇用									
新設住宅着工戸数				公共工事請負金額				新規求人(パートを含む) (原数値)			有効求人倍率 (パートを含む)			所定外労働時間(製造業) (従業者規模30人以上)			
仙台				全国	東北	宮城		全国	仙台		全国	東北	仙台	全国	宮城		
貸家		分譲		前年(度)比 (%)		請負額 (百万円)	前年 (度)比 (%)	前年比 (%)	求人数 (人)	前年比 (%)	倍(季節調整値)			前年比 (%)	時間	前年比 (%)	
戸数	前年比 (%)	戸数	前年比 (%)														
7,429	34.6	3,102	9.8	5.6	7.3	249,963	14.7	10.3	113,225	6.6	0.95	0.68	1.26	0.4	16.0	-	
9,367	26.1	3,184	2.6	5.2	7.3	231,201	7.5	4.3	124,894	10.3	1.06	0.77	1.37	3.5	17.3	7.7	
6,750	27.9	3,557	11.7	4.1	5.0	201,324	12.9	6.4	116,964	6.3	1.04	0.76	1.40	0.9	16.7	6.0	
3,882	42.5	2,879	19.1	0.1	2.1	207,201	2.9	15.8	87,561	25.1	0.88	0.60	0.78	6.3	15.3	2.7	
2,672	31.2	1,271	55.9	4.9	13.8	289,457	39.7	23.0	73,697	15.5	0.47	0.35	0.49	32.6	12.4	26.4	
690	38.9	414	37.8	7.8	6.3	53,078	26.1	23.6	20,792	13.7	0.59	0.39	0.58	47.5	10.3	39.4	
730	24.7	216	60.9	13.0	20.1	70,265	67.5	27.8	17,139	24.6	0.46	0.33	0.48	43.2	10.9	33.5	
650	9.7	241	69.5	11.2	23.2	99,246	51.1	22.8	18,077	17.4	0.43	0.33	0.45	29.2	13.2	21.7	
602	43.4	400	54.1	6.3	8.2	66,868	16.3	16.8	17,689	6.2	0.43	0.34	0.45	6.5	15.0	11.4	
406	41.2	502	21.3	11.8	4.7	49,613	6.5	3.3	20,189	2.9	0.47	0.38	0.48	50.5	13.7	33.8	
513	29.7	280	29.6	3.5	9.1	49,616	29.4	10.1	18,282	6.7	0.50	0.40	0.47	47.6	14.7	34.7	
390	59.2	110	52.2	20.5	21.4	23,137	44.1	26.5	5,541	23.8	0.48	0.34	0.46	46.8	10.3	39.3	
148	58.3	55	31.3	2.5	0.2	23,637	80.0	34.5	4,833	42.3	0.46	0.33	0.40	42.2	10.5	34.8	
192	48.1	51	78.9	12.7	33.4	23,491	84.2	22.3	6,765	4.5	0.45	0.33	0.44	40.5	12.0	26.3	
183	5.4	80	50.9	2.5	23.1	34,774	49.0	23.4	6,479	14.6	0.43	0.33	0.45	34.6	12.9	26.2	
101	62.9	110	45.0	8.7	8.4	22,348	12.2	24.2	5,239	20.9	0.42	0.33	0.44	28.5	13.3	17.4	
366	50.0	51	88.1	22.1	36.2	42,124	87.7	20.8	6,359	17.3	0.43	0.34	0.47	24.3	13.5	21.0	
225	58.1	212	62.9	8.3	13.2	29,904	29.1	18.8	7,027	2.0	0.43	0.34	0.49	19.7	14.1	20.1	
198	30.3	70	48.5	0.0	15.6	20,900	8.2	13.8	5,206	3.8	0.43	0.34	0.47	7.8	15.1	15.9	
179	26.0	118	28.0	10.3	7.3	16,064	7.0	17.4	5,456	16.8	0.43	0.34	0.48	12.5	15.7	4.0	
117	68.6	270	98.5	3.8	9.1	9,931	2.3	13.4	7,108	0.5	0.46	0.36	0.49	33.3	13.6	29.6	
87	46.6	61	38.6	8.8	1.4	12,069	30.3	2.1	6,068	3.5	0.47	0.38	0.48	57.9	13.5	28.6	
202	31.2	171	26.9	16.0	10.9	27,613	19.0	7.3	7,013	5.6	0.49	0.39	0.48	61.6	14.1	43.9	
276	29.2	68	38.2	0.1	2.9	18,487	20.1	5.7	6,256	12.9	0.48	0.39	0.47	55.6	15.5	50.4	
123	16.9	152	176.4	5.9	10.1	15,567	34.1	12.3	5,264	8.9	0.50	0.40	0.46	44.0	14.2	35.3	
114	40.6	60	17.6	5.8	16.8	15,562	33.8	12.8	6,762	0.0	0.52	0.42	0.48	43.3	14.5	20.8	
261	42.6	110	37.5	8.8	26.5	16,180	53.5	9.3	6,911	6.7	0.53	0.45	0.50	35.6	16.1	24.8	
193	91.1	280	154.5	8.4	4.0	21,319	4.6	19.0	6,233	19.0	0.54	0.45	0.50				
						22,384	46.9										
国土交通省				東日本建設業保証(株)				厚生 労働省	仙台公共 職業安定所	厚生 労働省	東北 6県 労働局	仙台公 共職業 安定所	厚生 労働省	宮城県			

有効求人倍率の仙台については、平成20年4月分より、ハローワークプ  
ラザ青葉取り扱い分と仙台学生職業センター取り扱い分を含めています。

	物 価						金 融							
	消費者物価指数 (平成17年 = 100)						金融機関預金残高(末残)				金融機関貸出残高(末残)			
	全 国			仙 台			全 国	東 北	仙 台		全 国	東 北	仙 台	
	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	前年(度)比 (%)		残高 (億円)	前年 (度)比 (%)	前年(度)比 (%)		残高 (億円)	前年 (度)比 (%)
平成17年	100.0	-	0.3	100.0	-	0.6	1.5	0.2	68,741	0.5	1.1	0.5	44,618	0.9
平成18年	100.3	-	0.3	100.3	-	0.3	0.7	0.1	69,231	0.7	1.4	0.3	45,220	1.3
平成19年	100.3	-	0.0	100.5	-	0.2	3.0	1.5	72,142	4.2	0.1	1.3	44,876	0.8
平成20年	101.6	-	1.5	101.6	-	1.1	2.0	1.5	72,086	0.1	4.3	1.9	45,985	2.5
平成21年	100.3	-	1.3	99.9	-	1.7	2.1	3.1	75,048	4.1	1.7	0.3	46,088	0.2
21年1月～3月	100.6	1.3	0.1	100.2	1.5	0.3	2.5	1.8	71,813	0.1	4.0	1.7	46,191	2.6
4月～6月	100.6	0.0	1.0	100.2	0.0	1.3	2.3	2.4	73,147	1.1	2.7	1.6	46,335	1.1
7月～9月	100.3	0.3	2.2	100.0	0.2	2.4	2.4	2.8	73,374	1.8	1.8	1.6	46,148	0.3
10月～12月	99.8	0.5	2.1	99.2	0.8	2.5	2.1	3.1	74,102	2.7	1.7	0.3	45,974	1.9
22年1月～3月	99.4	0.4	1.2	98.8	0.4	1.4	2.2	3.5	73,918	2.9	2.0	0.2	46,187	0.0
4月～6月	99.7	0.3	0.9	99.2	0.4	1.0								
平成21年4月	100.8	0.1	0.1	100.2	0.1	0.6	2.4	2.7	73,240	0.4	3.9	2.5	46,580	2.0
5月	100.6	0.2	0.9	100.3	0.1	1.3	2.3	2.9	72,474	1.4	3.7	2.3	46,395	1.2
6月	100.4	0.2	1.8	100.2	0.1	1.9	2.3	2.4	73,726	1.5	2.7	1.6	46,030	0.2
7月	100.1	0.3	2.3	99.8	0.4	2.4	2.2	2.2	73,048	1.3	2.2	1.6	45,885	0.3
8月	100.4	0.3	2.3	100.1	0.3	2.5	2.3	2.1	73,390	1.1	1.6	1.6	45,884	0.1
9月	100.4	0.0	2.2	100.1	0.0	2.3	2.4	2.8	73,684	3.0	1.8	1.6	46,674	0.6
10月	100.0	0.4	2.5	99.4	0.7	3.0	2.4	3.7	73,487	2.6	0.7	0.9	45,928	2.3
11月	99.8	0.2	1.9	99.1	0.3	2.4	2.1	2.7	73,771	2.3	0.5	0.1	45,906	3.6
12月	99.6	0.2	1.7	99.0	0.1	2.0	2.1	3.1	75,048	3.2	1.7	0.3	46,088	0.4
平成22年1月	99.4	0.2	1.3	98.8	0.2	1.3	2.2	3.3	74,207	3.6	1.6	0.1	46,283	0.2
2月	99.3	0.1	1.1	98.7	0.1	1.5	1.9	2.8	74,670	2.7	1.9	0.2	46,320	0.3
3月	99.6	0.3	1.1	98.9	0.2	1.4	2.2	3.5	72,877	2.5	2.0	0.2	45,958	0.6
4月	99.6	0.0	1.2	99.1	0.2	1.1	2.0	2.4	75,251	2.7	2.4	0.5	45,914	1.4
5月	99.7	0.1	0.9	99.2	0.1	1.1	2.5	2.5	75,321	3.9	2.6	0.7	45,531	1.9
6月	99.7	0.0	0.7	99.3	0.1	0.9								
7月	99.2	0.5	0.9	98.8	0.5	1.0								
8月	99.5	0.3	0.9	99.2	0.4	0.9								
9月														
資 料	総務省			宮城県			日本 銀行	東北 財務局	宮城県銀行協会		日本 銀行	東北 財務局	宮城県銀行協会	

金融機関預金・貸出残高の全国・東北には、信用組合・農林漁業金融機関・労働金庫分は含まない。

倒産（負債総額1千万円以上）											
倒産件数						負債額					
全国		東北		仙台		全国		東北		仙台	
件数 (件)	前年比 (%)	件数 (件)	前年比 (%)	件数 (件)	前年比 (%)	負債額 (億円)	前年比 (%)	負債額 (億円)	前年比 (%)	負債額 (万円)	前年比 (%)
12,998	5.0	810	2.5	125	5.9	67,035	14.3	2,731	15.7	3,095,900	50.3
13,245	1.9	793	2.1	96	23.2	55,006	17.9	2,407	11.9	2,636,600	14.8
14,091	6.4	781	1.5	93	3.1	57,279	4.1	2,756	14.5	2,591,600	1.7
15,646	11.0	912	16.8	98	5.4	122,920	114.6	3,114	13.0	3,054,400	17.9
15,480	1.1	731	19.8	87	11.2	69,300	43.6	1,907	38.8	1,818,300	40.5
4,215	13.5	201	7.8	15	44.4	31,464	121.7	630	6.9	271,700	69.1
3,954	3.3	193	18.2	23	11.5	15,389	12.6	684	22.8	915,400	49.0
3,782	6.2	173	27.6	19	20.8	9,640	86.0	243	73.9	169,600	79.4
3,529	13.2	164	25.5	30	42.9	12,807	42.2	348	43.9	461,600	37.4
3,467	17.7	158	21.4	31	106.7	33,530	6.5	341	45.9	366,600	34.9
3,323	16.0	142	26.4	15	34.8	8,851	42.5	278	59.4	332,400	63.7
1,329	9.4	63	18.2	12	300.0	5,219	27.3	240	46.5	591,700	317.9
1,203	6.7	62	24.4	6	50.0	5,399	1.8	280	119.6	140,500	63.2
1,422	7.4	68	11.7	5	54.5	4,771	3.0	164	47.2	183,200	52.6
1,386	1.0	69	15.9	9	10.0	3,710	44.2	119	64.3	90,700	60.3
1,241	1.0	53	32.9	4	50.0	2,842	67.2	73	71.5	19,000	93.8
1,155	18.0	51	34.6	6	0.0	3,088	94.2	52	85.0	59,900	79.1
1,261	11.8	59	37.9	10	42.9	2,903	71.2	143	43.3	147,900	72.9
1,132	11.4	51	6.3	9	66.7	6,948	20.6	67	57.7	144,900	381.4
1,136	16.5	54	29.9	11	0.0	2,956	53.2	138	34.3	168,800	5.0
1,063	21.8	42	40.8	7	75.0	26,032	210.2	97	67.7	170,400	654.0
1,090	17.2	45	28.6	10	42.9	4,388	64.2	106	23.8	90,900	49.5
1,314	14.5	71	6.0	14	250.0	3,109	71.1	138	27.7	105,300	52.6
1,154	13.1	46	27.0	4	66.7	2,700	48.2	63	73.7	20,000	96.6
1,021	15.1	47	24.2	4	33.3	3,313	38.6	132	52.9	98,600	29.8
1,148	19.2	49	27.9	7	40.0	2,838	40.5	82	49.7	213,800	16.7
1,066	23.0	58	15.9	6	33.3	2,753	25.7	244	105.6	1,052,900	1060.9
1,064	14.2	47	11.3	6	50.0	1,889	33.5	57	22.3	24,900	31.1
1,102	4.6	39	23.5	4	33.3	14,180	359.2	116	123.1	76,400	27.5

(株)東京商工リサーチ



お手数ですが、最初に「ご記入者」「電話番号」欄をご記入ください。  
 なお、貴事業所の「名称」「所在地」に誤りがございましたら、恐縮ですが、訂正願います。

名称		所在地	
ご記入者	部課名	役職	ご芳名
		事業所	小分類
		記号	

貴事業所が本店・本社の場合は仙台市内全事業所を通じての判断を、支店・支社の場合は貴事業所関係分のみでの判断を記入してください。  
 今期（平成22年7月～9月）の実績および状況は、ご回答いただく時点での判断で記入してください。

**設問1 貴事業所の、売上、収益等の状況について、おたずねします。**

それぞれ、該当する番号を1つ選び、をつけてください。

今期(平成22年7月～9月期)の実績	➡	前年同期(平成21年7月～9月期)と比べて。
来期(平成22年10月～12月期)の見通し	➡	前年同期(平成21年10月～12月期)と比べて。

**設問1-1 売上高**

今期の実績	1. 増加した	2. 変化がなかった	3. 減少した
来期の見通し	1. 増加する	2. 変化はない	3. 減少する

**設問1-2 販売数量**

今期の実績	1. 増加した	2. 変化がなかった	3. 減少した
来期の見通し	1. 増加する	2. 変化はない	3. 減少する

**設問1-3 経常利益**

今期の実績	1. 増加した	2. 変化がなかった	3. 減少した
来期の見通し	1. 増加する	2. 変化はない	3. 減少する

**設問2 貴事業所の、製品単価、原材料価格の状況について、おたずねします。**

それぞれ、該当する番号を1つ選び、をつけてください。

今期(平成22年7月～9月期)の実績	➡	前期(平成22年4月～6月期)と比べて。
来期(平成22年10月～12月期)の見通し	➡	今期(平成22年7月～9月期)と比べて。

**設問2-1 製(商)品単価** 製(商)品を持たない業種の場合は未記入で結構です。

今期の実績	1. 上昇した	2. 変化がなかった	3. 下降した
来期の見通し	1. 上昇する	2. 変化はない	3. 下降する

**設問2-2 原材料(仕入)価格** 原材料を持たない業種の場合は未記入で結構です。

今期の実績	1. 上昇した	2. 変化がなかった	3. 下降した
来期の見通し	1. 上昇する	2. 変化はない	3. 下降する

**設問3** 貴事業所の、今期の在庫、労働力、設備、資金繰りの状況について、おたずねします。

それぞれ、該当する番号を1つ選び、 をつけてください。

今期（平成22年 7月～ 9月期）の状況

**設問3 - 1 製（商）品在庫** 製（商）品を持たない業種の場合は未記入で結構です。

今期の状況	1. 過剰	2. やや過剰	3. 適正	4. やや不足	5. 不足
-------	-------	---------	-------	---------	-------

**設問3 - 2 労働力** パートタイム、アルバイト等の非正規雇用従業員を含みます。

今期の状況	1. 過剰	2. やや過剰	3. 適正	4. やや不足	5. 不足
-------	-------	---------	-------	---------	-------

**設問3 - 3 生産・営業用設備**

今期の状況	1. 過剰	2. やや過剰	3. 適正	4. やや不足	5. 不足
-------	-------	---------	-------	---------	-------

**設問3 - 4 資金繰り**

今期の状況	1. 楽である	2. やや楽である	3. 普通	4. やや苦しい	5. 苦しい
-------	---------	-----------	-------	----------	--------

**設問4** 貴事業所の、今後の従業員数、設備投資の予定について、おたずねします。

来期以降の方向について、それぞれ該当する番号を1つ選び、 をつけてください。

**設問4 - 1 正規従業員数**

今後の予定	1. 増員する	2. 変化させない	3. 減員する
-------	---------	-----------	---------

**設問4 - 2 非正規従業員数** 季節的な要因を除いてご回答ください。

今後の予定	1. 増員する	2. 変化させない	3. 減員する
-------	---------	-----------	---------

**設問4 - 3 生産・営業用設備**

今後の予定	1. 増強する	2. 変化させない	3. 縮小する
-------	---------	-----------	---------

**設問5** 貴事業所の業況について、おたずねします。

それぞれ、該当する番号を1つ選び、 をつけてください。季節的な要因を除いてご回答ください。

今期（平成22年 7月～ 9月期）の実績

**設問5 - 1 今期の事業所の業況（業況の良し悪し）**

今期の実績	1. 良い	2. 普通	3. 悪い
-------	-------	-------	-------

< 「1. 良い」とお答えの方へ > 「良い」とお答えの理由を、下の欄にご記入ください。

「良い」理由	例.) 新製品の売上が伸び、販売目標を超える売上があったため。

< 「3. 悪い」とお答えの方へ > 「悪い」とお答えの理由を、下の欄にご記入ください。

「悪い」理由	例.) 需要の減少により、製品在庫量が適正量より増加したため。



それぞれ、該当する番号を1つ選び、をつけてください。季節的な要因を除いてご回答ください。

来期（平成22年10月～12月期）の見通し

### 設問5 - 2 来期の事業所の業況（業況の良し悪し）

来期の見通し	1. 良い	2. 普通	3. 悪い
--------	-------	-------	-------

<「1.良い」とお答えの方へ>「良い」とお答えの理由を、下の欄にご記入ください。

「良い」理由	例.)新製品の売上が伸び、販売目標を超える売上有ると予想されるため。

<「3.悪い」とお答えの方へ>「悪い」とお答えの理由を、下の欄にご記入ください。

「悪い」理由	例.)需要の減少により、製品在庫量が適正量より増加すると予想されるため。

### 設問6 貴事業所の業況の変化について、おたずねします。

今期(平成22年7月～9月期)の実績 ➡ 前年同期(平成21年7月～9月期)と比べて。

#### 設問6 - 1 事業所の業況（業況の変化）

該当する番号を1つ選び、をつけてください。

今期の実績	1. 好転した	2. 変化なし	3. 悪化した
-------	---------	---------	---------

### 設問7 貴事業所の経営上の課題について、おたずねします。

#### 設問7 - 1 経営上の課題

該当する番号を3つまで選び、をつけてください。

1. 合理化・省力化不足	2. 設備・店舗等の老朽化又は狭い	3. 原材料・仕入製(商)品高
4. 設備過剰	5. 売上・受注の停滞、不振	6. 資金繰り・金融難
7. 求人・人材難	8. 人件費高騰	9. 在庫過大
10. 販売価格の値下げ	11. 競争の激化	12. 生産・販売能力の不足
13. 諸経費の増加	14. 立地条件の悪化	15. その他( )
16. 特になし		

最後に、本市の産業政策に関するご意見・ご要望等がございましたら、以下にご記入ください。


ご協力、誠にありがとうございました。

お問い合わせ先

仙台市 経済局 産業政策部 経済企画課

電話:022-214-8275 FAX:022-267-6292 E-mail:kei008010@city.sendai.jp

発行

仙台市経済局産業政策部経済企画課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3 - 7 - 1

電話 022-214-8275

FAX 022-267-6292

E-mail kei008010@city.sendai.jp

URL <http://www.city.sendai.jp/keizai/kikaku/>